
匝瑳市総合計画
後期基本計画策定のための
市民意識調査

結果報告書

平成 27 年 8 月

匝瑳市

目 次

I	調査の概要	1
I-1	調査の目的と実施概要	3
1	調査の目的	3
2	調査の概要	3
3	報告書のみかた	3
4	調査の配布・回収状況からみた調査信頼度	4
I-2	結果の概要および考察	5
	保健・医療・福祉について	5
	産業・経済について	6
	生活環境について	7
	教育・文化について	8
	行財政運営について	9
	人口減少対策について	9
II	調査結果	11
II-1	ご本人（あなた）の暮らしについて	13
問1	あなた自身について	13
問2	あなた自身、またはあなたが同居している家族	15
II-2	保健・医療・福祉について	16
問3	現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。	16
問4	あなたが「健康」のために行っているものは何ですか。	17
問5	市の健康増進への取組みで、何が重要と考えますか。	18
問6	匝瑳市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。	19
問7	市の子育て支援への取組みで、何が重要と考えますか。	20
問8	高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。	21
問9	高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか。	22
問10	お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。	23
問11	現在の医療体制をどう感じていますか。	25
問12	地域の医療環境への取組みで、何が重要と考えますか。	26
II-3	産業・経済について	27

問 13	匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。 ……	27
問 13-1	それはどのようなことですか。 ……	29
問 14	地元で採れた農水産物をすすんで食べたいと思いますか。 ……	31
問 15	市の農林水産業振興への取組みで、何が重要と考えますか。 ……	32
問 16	主にどこで日常生活の買い物をしますか。 ……	33
問 17	市の商工業振興への取組みで、何が重要と考えますか。 ……	35
問 18	市の観光資源となりうるものは何だと思えますか。 ……	36
問 19	市の観光振興への取組みで、何が重要と考えますか。 ……	36
問 20	現在の就労状況について、どのように感じていますか。 ……	37
問 21	市の雇用対策として、何が重要と考えますか。 ……	38
II-4	生活環境について ……	39
問 22	匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思えますか。 ……	39
問 23	あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。 ……	40
問 24	あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思えますか。 ……	42
問 25	市の安全なまちづくりへの取組みで、何が重要と考えますか。 ……	43
問 26	市内および周辺地域への移動が便利な地域だと思えますか。 ……	45
問 26-1	何が最も不便だと感じますか。 ……	46
問 27	ホームページを見たり、メールのやりとりをしていますか。 ……	48
問 27-1	インターネットを利用して、どのように感じていますか。 ……	49
問 28	普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。 ……	50
問 29	市の自然環境保全への取組みで、何が重要と考えますか。 ……	51
II-5	教育・文化について ……	52
問 30	学校と家庭、地域との連携がとれていると思えますか。 ……	52
問 31	学校が安心して学ぶことができる場となっていると思えますか。 ……	54
問 32	小・中学校運営において、何が重要な取組みと考えますか。 ……	55
問 33	虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思えますか。 ……	56
問 34	市の人権問題への取組みで、何が重要と考えますか。 ……	57
問 35	次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか。 ……	58
問 36	市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組みで、何が重要と考えますか。 ……	60
問 37	地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。 ……	61
II-6	行財政運営について ……	63
問 38	市の行財政運営に関心がありますか。 ……	63

問 39	市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか。 ……	64
問 40	市のホームページを見たことがありますか。 ……	65
問 41	まちづくりや地域づくりに参加したいと思いますか。 ……	66
問 42	市の手続きや問合わせ等で不都合を感じたことは何ですか。 ……	68
問 43	市の行財政改革の取組みで、何が重要と考えていますか。 ……	69
II-7	人口減少対策について ……	70
問 44	人口減少社会について、どのように考えていますか。 ……	70
問 45	これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか。 ……	71
問 45-1	住み続けたい理由は何ですか。 ……	72
問 45-2	住み続けたくない理由は何ですか。 ……	73
問 46	結婚していますか。 ……	75
問 47	子どもの数について ……	76
問 48	特に力を入れて取り組むべき人口減少対策は何だと思えますか。 ……	77
II-8	まちづくりの評価について ……	78
問 49	それぞれの施策について、満足度および重要度をお聞かせ下さい。 ……	78
III	その他・自由意見 ……	81
IV	アンケート調査票 ……	125

I 調査の概要

I-1 調査の目的と実施概要

1 調査の目的

「匠瑳市総合計画中期基本計画」が平成27年度で最終年度を迎えることから、平成28年度から平成31年度を計画年度とする「匠瑳市総合計画後期基本計画」の策定にあたり、市民の意見をうかがい、計画策定の参考とすることを目的として実施しました。

2 調査の概要

- 調査対象：市内在住 16歳以上の市民の方 2,000名（無作為抽出）
- 調査期間：平成27年5月27日～平成27年6月8日
- 調査方法：郵送配付・回収
- 配布・回収：

種別	配布数	回収数	回収率
合計	2,000票	646票	32.3%

3 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

4 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度

本調査の有効回答数（646 票）は、対象となる集団（16 歳以上の市民、34,011 人）に対し、統計学上で一般的に使用される条件（信頼度 95%、標準誤差 5%）を想定した標本数（380 票）を上回ることから、調査結果は十分に信頼できるとみなすことができる。

■社会調査信頼度 95%の計算式

$$n = \frac{N}{\left(\frac{E}{k}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

※n：サンプル数

N：全体の人数（母集団）

E：許容できる誤差の範囲

P：母比率 = 0.5 ……………（50%のときに最大のサンプル数となるため）

k：信頼度係数 = 1.96 ……………（通常、信頼度 95%を基準とするため）

I-2 結果の概要および考察

保健・医療・福祉について

○8割以上が健康的な生活を送れていると感じ、若年層の健康意識も改善

健康的な生活を送れていると感じている人は、「とても感じている」と「ある程度感じている」を合わせると8割以上となっています。前々回の調査や前回の調査でも8割以上が健康を感じており、前回も「とても感じている」人の割合は増加していましたが、今回調査では「とても感じている」人の割合がさらに増加しており、健康感がより増している結果となっています。

特に10・20歳代を中心に若い世代で「とても感じている」人の割合が高くなっています。一方で、若い世代では、健康のために「特になにもしていない」の割合が3割を超えるなど、健康に対する意識は決して高いとは言えませんが、前回調査（43.0%）と比べると改善されています。生活習慣病の予防においては、若い頃からの健全な生活習慣が重要なことから、若い世代に対する健康に対する意識の醸成が必要です。

○当事者は「経済的支援」を望む声大きい

6割以上の方が、匝瑳市が子育てしやすい地域だと思っており、そう思わない人の割合を上回っています。前回調査（62.2%）と比べ、変化はありません。しかしながら、妊産婦や乳幼児がいる世帯では「まったく思わない」の割合が1割近くとなり、保育所（園）や出産・子育てに係る経済支援の充実が求められています。

高齢者や障がいのある人にとって暮らしやすい地域だと思う人は4割程度となっており、そう思わない人を下回っています。ただし、70歳以上で暮らしやすいと思う人は6割近くに達し、高齢者本人の評価は高くなっています。

子育て支援においては妊産婦・乳幼児や小中学生がいる世帯、高齢者・障がい者施策においては介護を必要とする人や障がいのある人がいる世帯など、その当事者が重要視する取組みは、いずれも「経済的支援」の割合が最も高くなっており、経済的負担感の軽減が課題と言えます。

○市民病院の機能強化が求められている

現在の医療体制について、「とても不安を感じる」が3割近く、「多少不安を感じる」が5割超と、合わせて8割以上の方が不安を感じており、その充実が求められます。

医療環境への取組みとして、「市民病院の機能強化を図る」が7割近くと最も高く、特に50歳代では約8割に達しています。一方、妊産婦・乳幼児や小中学生がいる世帯では「救急・休日・夜間医療の充実」の割合が高くなっており、いざというときに安心して受診できる医療体制の充実が求められています。

産業・経済について

○祭りや風習・伝統文化を自慢したい人が多い

本市について、他の市町村の人に自慢したいことがある人は半数以下で、ない人の割合のほうが高くなっていますが、前回調査（37.1%）と比べて自慢したいことがある人の割合が増加しており、地域に対する誇りの醸成が図れているとみられます。中でも女性の割合が高くなっています。

自慢したい内容については、「祭りや風習、伝統文化」の割合が6割超で最も高くなっていますが、前回調査（70.8%）と比べて減少しています。一方、「自然の豊かさや風景の美しさについて」も6割近くに達し、前回調査（50.3%）と比べて7ポイント増加しています。特に若い世代では8割以上が地域の自慢としてあげており、今後も地域の強みとして産業振興に活かしていくことが重要です。

○農林漁業の後継者の育成を課題としてあげている

農林水産業振興において重要な取組みとして、6割以上の人が「担い手を育成していく」と回答しており、年代、職業問わず最も高い割合となっています。

一方、若い世代や会社員・団体職員・公務員等では、販路を拡大するの割合が他の職業と比べて高くなっています。職業として魅力ある産業に育てていくこと自体が後継者の育成にもつながるものと思われることから、関係機関や他分野との連携の中から農産物等の価値を高めつつ、積極的にPRしていくことが必要です。

○商業・観光拠点の整備が重要視されている

日常の買い物の場については、「市内の大規模店舗」が7割以上を占め、前回調査（64.3%）と比べて7ポイント以上増加した一方、「市内の商店」は1割未満となり、前回調査（14.6%）から約6ポイント減少しています。また、商工業の振興に対する取組みにおいては、「利便性の高い商業拠点をつくる」の割合が最も高くなっており、便利で品揃えの豊富な商業施設の充実が求められています。

しかしながら、地元商店の活性化は、事業者の振興のみならず、コミュニティの活性化や高齢者の買い物の場の確保、さらには商店街そのものがブランド化し、対外的な誘客にもつながることから、地域と連携した取組みについても積極的に支援していく必要があります。

また、観光振興において、観光施設や宿泊施設などハードの整備が重要と回答する人の割合が高い結果となっています。宿泊施設と連携を図り、観光客の受け入れ体制の整備を図っていく必要があります。

さらに、6割以上の人が現在の就労状況に不安を感じており、特に学生の9割近くが不安と回答し、優良企業等の進出により地元での雇用拡大や、雇用に積極的な企業に対する経済的支援を求めています。

○7割近くの人が快適に生活できる住環境であると評価している

本市が快適に生活できる住環境であると思う人は、「とても思う」と「ある程度思う」を合わせると7割近くとなっています。特に10・20歳代および60歳代では7割を超えており、評価が高くなっています。

快適な住環境の条件として、交通安全や防犯・防災など安全な環境や自然環境と調和した環境が求められています。年代や居住地区、世帯構成等によって快適な住環境の重要度も異なっていることから、地域のニーズを把握しながら、ハード・ソフト両面における計画的な整備を推進していかなければなりません。

特に、地区の安全性について、安全だと思える人が8割を超える地区がある一方、安全だと思えない人が過半数を占める地区もあるなど、地域によって温度差があります。地域の安全性確保に終わりはありませんが、安全な住環境構築のため、的確な情報提供や防災基盤の整備など、絶え間ない取り組みの推進が必要となります。

○移動において公共交通網が少ないことを不便に感じている人が多い

市内および周辺地域への移動において、便利な地域だと思える人の割合より、不便な地域だと思える人の割合のほうが高くなっています。特に、10・20歳代で不便だと感じている人の割合が高くなっているほか、吉田地区では9割以上、飯高地区と共興地区では8割以上が不便な地域だと回答しています。

不便だと感じる理由については、「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が8割以上を占めています。今後さらに進行する高齢化社会においては、公共交通は通院・通所、買い物や余暇活動への参加等における重要な社会基盤であることから、関係機関や事業者等と連携を取りながら、公共交通体系の確立を図っていくことは本市の重要課題のひとつと言えます。

○インターネットの利用においては、世代間の格差が顕著となっている

インターネットを利用してホームページを見たり、メールのやりとりをしている人は「いつも利用している」と「ときどき利用している」を合わせても5割強にとどまっています。しかしながら、10・20歳代では8割以上が利用していますが、70歳以上では8割近くが利用していない状況となっており、世代間に利用状況の格差がみられます。

今後は、インターネットをはじめ、通信技術を活用した情報発信がますます増えてくることが予想されることから、利用に向けた支援を図っていく必要があります。

40歳代以下のよく利用する世代ほど、情報流出を心配する回答の割合も高くなっており、セキュリティ対策の促進も必要になってきています。また、10・20歳代では、インターネットを活用したコミュニケーション範囲の拡大が他の年代と比べて高く、情報モラル教育の推進も必要になってきています。

○不法投棄への対策と自然環境を壊さない土地利用が求められている

普段の生活で、環境に配慮した行動を「いつも行っている」人は1割、「ある程度行っている」人は7割近くとなっており、合わせて8割近くの人が環境に配慮した行動を行っていると回答しています。

自然環境の保全に向けた取組みでは、「不法投棄をなくす」と「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」の割合が高くなっており、本市の豊かな自然環境の大切さについて意識啓発を図りながら、地域全体で見守り、保全していくための取組みに力を入れていく必要があります。

教育・文化について

○6割が学校と家庭、地域が連携していると回答、安全に対する評価も高い

子どもの教育について、学校と家庭、地域が連携していると思う人の割合は6割以上となっています。しかしながら「十分連携している」と回答した人は4%程度にとどまっており、連携に向けた一層の取組みが求められます。

子どもにとって学校が安心して学ぶことができる場となっていると思う人は8割近くへのぼり、評価が高くなっています。特に小・中学生がいる世帯では9割近くが「とても思う」もしくは「ある程度思う」と回答しており、当事者の評価が高いことがうかがえます。

学校運営において重要な取組みとして、「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」が最も高くなっているほか、子どもたちの安全を守る体制の強化や教育指導体制の強化なども求められ、地域全体で学校運営を支えるしくみづくりのさらなる推進が必要です。

○余暇活動への参加意向は横ばい

余暇活動への参加状況について、地域の各種活動に参加している人は1~2割程度となっており、他市町村や外国の人たちとの交流においては4%にとどまっています。しかしながら、前回から今回にかけて、その割合はわずかに増加しているほか、今後の参加意向も前回と同水準で推移していることから、魅力ある活動の推進と参加しやすい環境づくりが求められます。

また、生涯学習プログラムや文化・スポーツ組織の活動支援、芸術に触れる機会など、地区によって求められる取組みも様々であるため、地域のニーズに合った活動に対する支援の充実も図っていく必要があります。

○6割の人が地域の伝統や文化に愛着を感じている

地域の伝統や文化に愛着を感じている人は、「とても感じている」と「ある程度感じている」を合わせると6割が感じていると回答しています。しかしながら、30歳代や40歳代では愛着を感じない人の割合が5割近くとなっており、地域の伝統文化に対する愛着の醸成が必要です。若者が自慢だと感じている祭りを活用しながら地域の伝統・文化への理解や愛着の醸成へとつなげていく取組みが求められます。

行財政運営について

○若い世代も半数以上が行財政運営に関心がある

市の行財政運営に関心がある人は、「とてもある」と「ある程度ある」を合わせると6割以上の人が「関心がある」と回答しています。若い世代ほど関心がある人の割合は少ない傾向がありますが、10・20歳代以下でも半数以上が関心を持っています。

地域づくり活動や自然環境保全活動への参加状況は、10・20歳代の参加は他の年代と比べて低く、30歳代以上の参加割合が高くなっています。10・20歳代でも広報を見ている人は8割近くいるなど、そのような若い世代がまちづくりに参加していきたいと思える情報提供や仕組みづくりが求められます。

○行財政改革では、市民が使いやすいサービス提供体制の整備を求める声が多い

市の行財政改革において重要な取組みとして、窓口の統合化や電子化など、事務手続きの簡略化・スピード化が最も高くなっています。

行財政改革を進める中で職員数の抑制などを図り、スリム化を進めてきましたが、その一方で、市民にとって不便なサービス提供体制となっており、今後どの年代でも使いやすくするために窓口の統合や電子化など、サービス提供体制の整備を進めていくことが求められています。

人口減少対策について

○人口減少は好ましくなく、何らかの手段を講じることが求められている

市の人口減少に対して、好ましくないと考える人は9割を超え、現在と同水準あるいは増加するような施策を求める回答が過半数を占めています。人口減少に歯止めをかけるために、若者の働く場や雇用の創出を求める回答が最も多くなっています。

ヒトはまちにとって生産者でもあり消費者でもある貴重な地域資源であります。人口減少は地域の活力そのものを低下させる大きな要因となるため、地域に愛着があり、誇りを持つ人が増えてきている現状の中で、今後、地域社会の担い手となる20代および30代の転出を抑制する雇用の創出が求められています。

○今後も本市に住み続けたいという声が多い

今後も本市に住み続けたいと回答する人が7割近くとなっています。

住み続けたい理由は、両親や親戚がいたりまちに愛着があるなど、いわゆる「地縁」によるところが多く、一方、住み続けたくない理由をみると買い物や交通機関、医療・福祉サービスなど社会基盤の不足があげられています。

市の強みでもある自然環境などを生かしながら、社会基盤の整備を進め、市民にとって選ばれる地域を目指していくことが求められています。

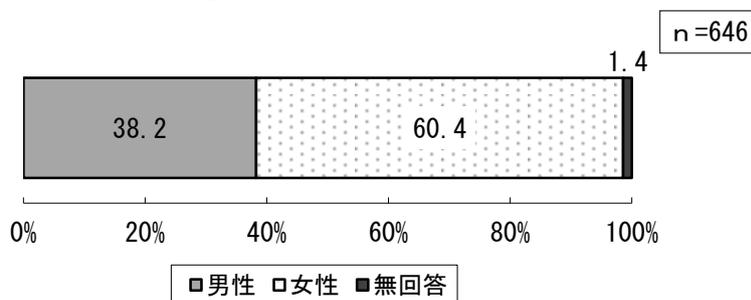
II 調査結果

Ⅱ-1 ご本人（あなた）の暮らしについて

問1 あなた自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。（それぞれ1つに○）

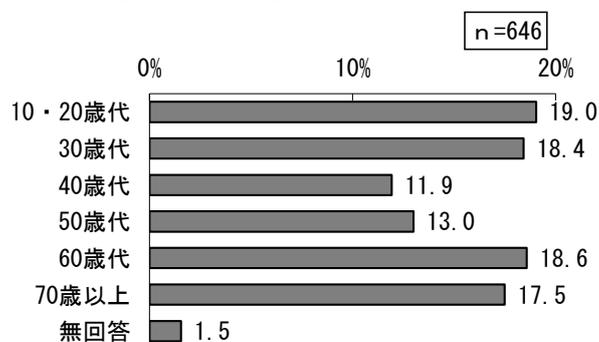
（1）性別

「男性」が38.2%、「女性」が60.4%となっています。



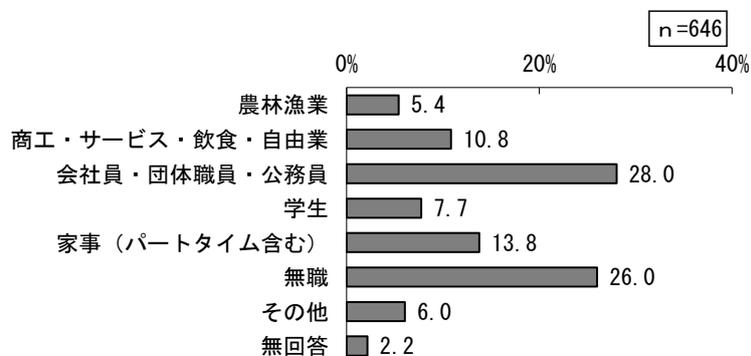
（2）年齢

「10・20歳代」の割合が19.0%で最も高く、次いで「60歳代」(18.6%)、「30歳代」(18.4%)、「70歳以上」(17.5%)と続いています。



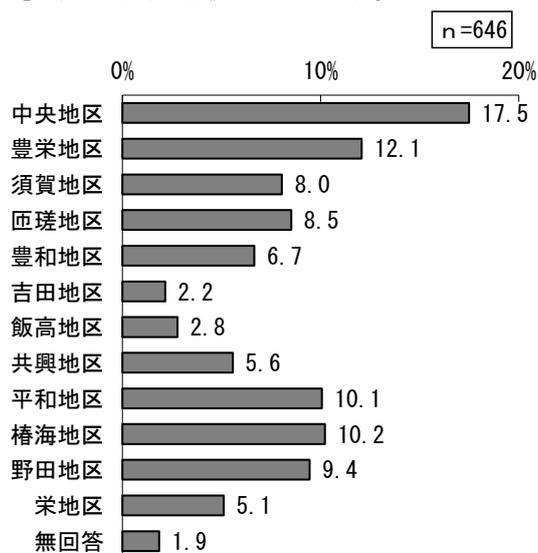
(3) 職業

「会社員・団体職員・公務員」の割合が 28.0%で最も高く、次いで「無職」(26.0%)、「家事(パートタイム含む)」(13.8%)、「商工・サービス・飲食・自由業」(10.8%)と続いています。



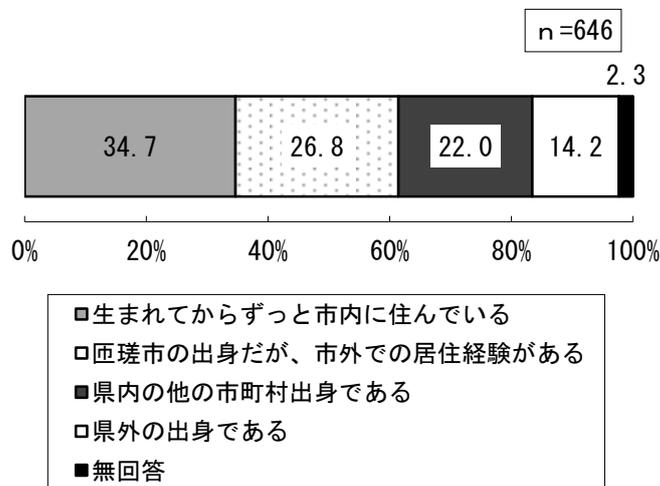
(4) 居住地区

「中央地区」の割合が 17.5%で最も高く、次いで「豊栄地区」(12.1%)、「椿海地区」(10.2%)、「平和地区」(10.1%)と続いています。



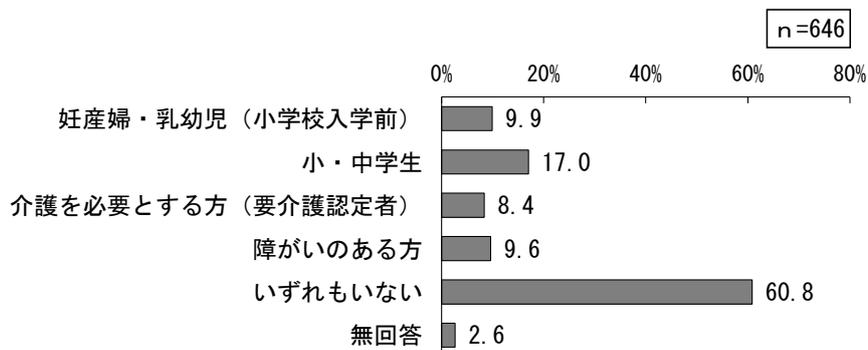
(5) 現在の地域に住んでいる状況

「生まれてからずっと市内に住んでいる」人の割合が34.7%で最も高く、次いで「匝瑳市の出身だが、市外での居住経験がある」(26.8%)、「県内の他の市町村出身である」(22.0%)、「県外の出身である」(14.2%)と続いています。



問2 あなた自身、またはあなたが同居している家族のなかに、次の方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「いずれもない」の割合が60.8%で最も高く、次いで「小・中学生」(17.0%)、「妊産婦・乳幼児(小学校入学前)」(9.9%)、「障がいのある方」(9.6%)と続いています。

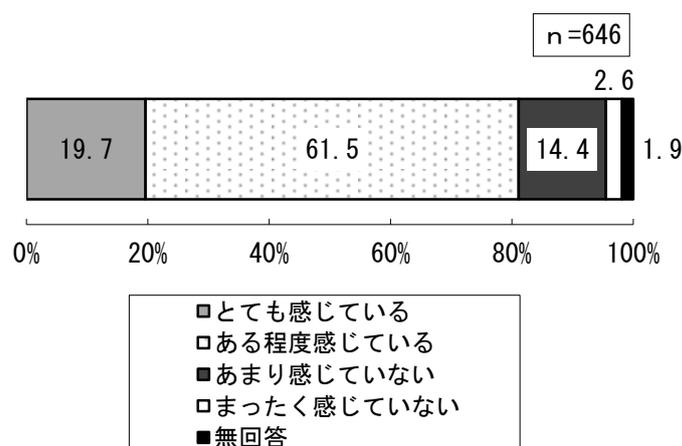


Ⅱ-2 保健・医療・福祉について

問3 あなたは、現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。(1つに○)

「ある程度感じている」と回答した人の割合が61.5%で最も高く、「とても感じている」と回答した人と合わせると、8割以上の方が健康的な生活を送れていると感じています。

前回調査と比較すると、「(とても+ある程度)感じている」と回答した人の割合が高くなっています。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
とても感じている	19.2	19.7	0.5
ある程度感じている	61.4	61.5	0.1
あまり感じていない	14.4	14.4	0.0
まったく感じていない	3.0	2.6	-0.4

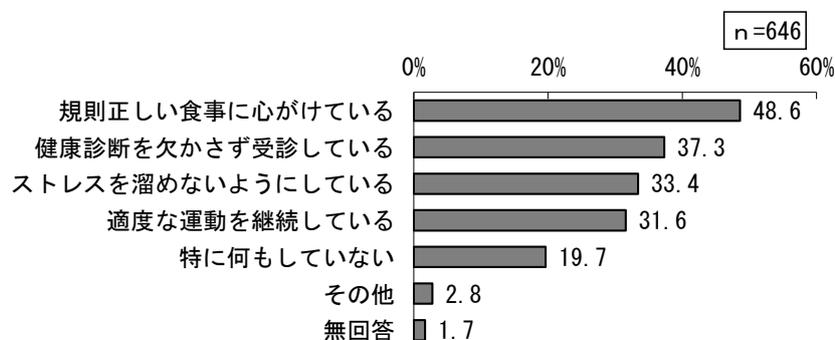
○年齢別にみると、10・20歳代の「とても感じている」と回答した人の割合が他の年代と比べて高くなっています。一方、60歳代以上では、他の年代と比べて「とても感じている」人の割合が低く、高齢者が健康的な生活をおくれるような環境が求められています。

	合計	とても感じている	ある程度感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	無回答
全体	646 100.0	127 19.7	397 61.5	93 14.4	17 2.6	12 1.9
男性	247 100.0	47 19.0	145 58.7	44 17.8	10 4.0	1 0.4
女性	390 100.0	80 20.5	252 64.6	49 12.6	7 1.8	2 0.5
10・20歳代	123 100.0	41 33.3	65 52.8	14 11.4	3 2.4	0 0.0
30歳代	119 100.0	23 19.3	77 64.7	16 13.4	3 2.5	0 0.0
40歳代	77 100.0	13 16.9	47 61.0	13 16.9	4 5.2	0 0.0
50歳代	84 100.0	17 20.2	50 59.5	15 17.9	2 2.4	0 0.0
60歳代	120 100.0	16 13.3	83 69.2	18 15.0	3 2.5	0 0.0
70歳以上	113 100.0	17 15.0	75 66.4	17 15.0	2 1.8	2 1.8

※上段が実人数、下段が割合を示しています(以下同様)。

問4 あなたが「健康」のために行っているものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「規則正しい食事に心がけている」と回答した人の割合が48.6%で最も高く、次いで「健康診断を欠かさず受診している」(37.3%)、「ストレスを溜めないようにしている」(33.4%)、「適度な運動を継続している」(31.6%)と続いています。

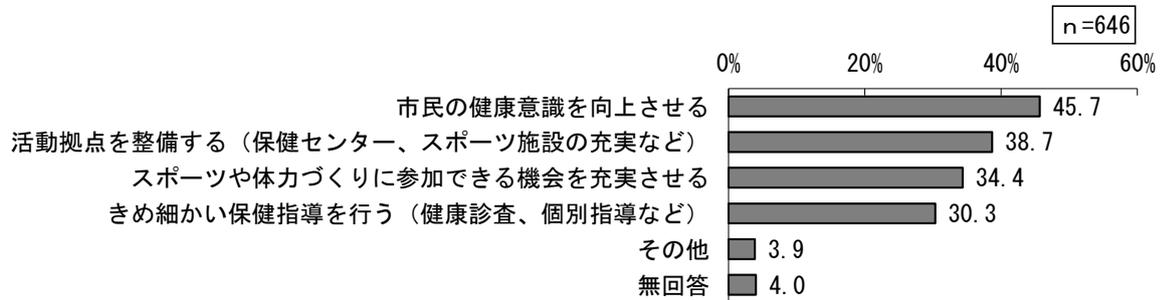


- 女性のほうが「規則正しい食事に心がけている」人の割合が高くなっています。
- 60歳代以上では、「規則正しい食事に心がけている」人や「適度な運動を継続している」人の割合が50歳代以下と比べて高くなっています。
- 30歳代以下では、「特に何もしていない」人の割合が40歳代以上と比べて高く、また10・20歳代では、「健康診断を欠かさず受診している」人は11.4%にとどまっています。

	合計	規則正しい食事に心がけている	適度な運動を継続している	ストレスを溜めないようにしている	健康診断を欠かさず受診している	特に何もしていない	その他	無回答
全体	646 100.0	314 48.6	204 31.6	216 33.4	241 37.3	127 19.7	18 2.8	11 1.7
男性	247 100.0	98 39.7	77 31.2	76 30.8	83 33.6	58 23.5	7 2.8	2 0.8
女性	390 100.0	216 55.4	127 32.6	140 35.9	158 40.5	69 17.7	11 2.8	0 0.0
10・20歳代	123 100.0	48 39.0	40 32.5	38 30.9	14 11.4	37 30.1	0 0.0	0 0.0
30歳代	119 100.0	53 44.5	23 19.3	40 33.6	34 28.6	32 26.9	3 2.5	0 0.0
40歳代	77 100.0	22 28.6	18 23.4	21 27.3	35 45.5	14 18.2	1 1.3	2 2.6
50歳代	84 100.0	43 51.2	22 26.2	32 38.1	43 51.2	16 19.0	2 2.4	0 0.0
60歳代	120 100.0	71 59.2	45 37.5	48 40.0	53 44.2	20 16.7	4 3.3	0 0.0
70歳以上	113 100.0	77 68.1	56 49.6	37 32.7	62 54.9	8 7.1	7 6.2	0 0.0

問5 市の健康増進への取組みで、何が重要と考えますか。(2つまで○)

「市民の健康意識を向上させる」が45.7%で最も高くなっています。他の取組みについても3割以上となっており、健康増進に向けて多彩なニーズがあるとみられます。



○40歳代以下では、「活動拠点を整備する」の割合が最も高くなっています。

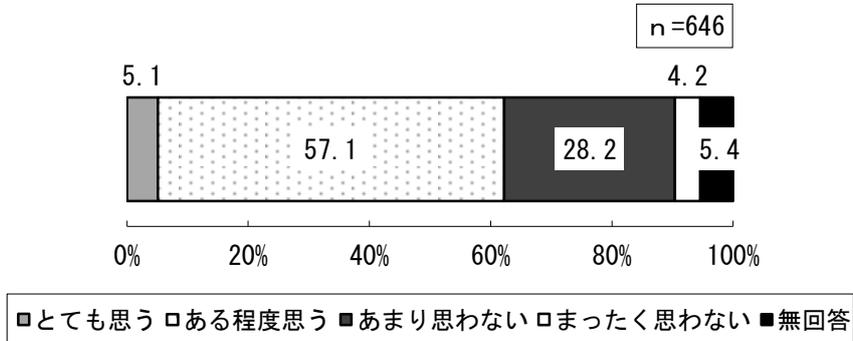
○50歳代以上では、「市民の健康意識を向上させる」の割合が他の年代と比べても高くなっています。

	合計	市民の健康意識を向上させる	きめ細かい保健指導を行う (健康診査、個別指導など)	スポーツや体力づくりに参加できる機会を充実させる	活動拠点を整備する (保健センター、スポーツ施設の充実など)	その他	無回答
全体	646 100.0	295 45.7	196 30.3	222 34.4	250 38.7	25 3.9	26 4.0
男性	247 100.0	119 48.2	71 28.7	77 31.2	98 39.7	8 3.2	10 4.0
女性	390 100.0	176 45.1	125 32.1	145 37.2	152 39.0	17 4.4	7 1.8
10・20歳代	123 100.0	52 42.3	36 29.3	46 37.4	60 48.8	2 1.6	1 0.8
30歳代	119 100.0	39 32.8	47 39.5	39 32.8	62 52.1	7 5.9	1 0.8
40歳代	77 100.0	29 37.7	18 23.4	28 36.4	39 50.6	1 1.3	3 3.9
50歳代	84 100.0	43 51.2	25 29.8	25 29.8	30 35.7	5 6.0	3 3.6
60歳代	120 100.0	71 59.2	37 30.8	48 40.0	34 28.3	4 3.3	0 0.0
70歳以上	113 100.0	61 54.0	33 29.2	36 31.9	25 22.1	6 5.3	8 7.1

問6 匝瑳市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。(1つに○)

「ある程度思う」と回答した人が 57.1%で最も高く、「とても思う」を合わせると 6 割以上が暮らしやすい地域だと思うと回答しています。

前回調査と比較しても、「とても思う」はやや減少したものの、「ある程度思う」と合わせた“思う”人の割合は変化ありません。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
とても思う	5.5	5.1	-0.4
ある程度思う	56.7	57.1	0.4
あまり思わない	27.6	28.2	0.6
まったく思わない	5.1	4.2	-0.9

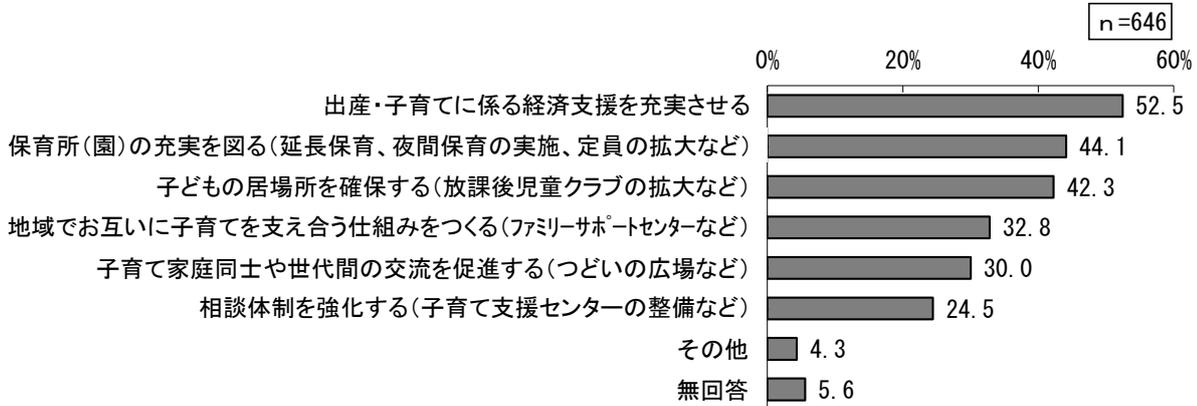
○70 歳以上では「とても思う」の割合が他の年代と比べて高く、30 歳代の「まったく思わない」の割合が高くなっています。

○どの世帯構成でも「ある程度思う」が最も高く、一方で「あまり思わない」の割合が3割前後となっています。

	合計	とても思う	ある程度思う	あまり思わ ない	まったく思 わない	無回答
全体	646 100.0	33 5.1	369 57.1	182 28.2	27 4.2	35 5.4
男性	247 100.0	12 4.9	124 50.2	86 34.8	13 5.3	12 4.9
女性	390 100.0	21 5.4	245 62.8	96 24.6	14 3.6	14 3.6
10・20歳代	123 100.0	8 6.5	71 57.7	38 30.9	5 4.1	1 0.8
30歳代	119 100.0	6 5.0	59 49.6	41 34.5	12 10.1	1 0.8
40歳代	77 100.0	1 1.3	48 62.3	23 29.9	4 5.2	1 1.3
50歳代	84 100.0	4 4.8	55 65.5	18 21.4	4 4.8	3 3.6
60歳代	120 100.0	3 2.5	70 58.3	39 32.5	1 0.8	7 5.8
70歳以上	113 100.0	11 9.7	66 58.4	23 20.4	1 0.9	12 10.6
妊産婦・乳幼児（小 学校入学前）	64 100.0	4 6.3	36 56.3	18 28.1	6 9.4	0 0.0
小・中学生	110 100.0	8 7.3	67 60.9	30 27.3	5 4.5	0 0.0
介護を必要とする方 （要介護認定者）	54 100.0	3 5.6	28 51.9	17 31.5	0 0.0	6 11.1
障がいのある方	62 100.0	1 1.6	34 54.8	19 30.6	5 8.1	3 4.8
いずれもない	393 100.0	20 5.1	229 58.3	115 29.3	13 3.3	16 4.1

問7 市の子育て支援への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「出産・子育てに係る経済的支援を充実させる」の割合が52.5%で最も高く、次いで「保育所(園)の充実を図る(延長保育、夜間保育の実施、定員の拡大など)」(44.1%)、「子どもの居場所を確保する」(42.3%)、「地域でお互いに子育てを支え合う仕組みをつくる」(32.8%)と続いています。



○40歳代以下および妊産婦・乳幼児や小・中学生がいる世帯、介護を必要とする方では、「出産・子育てにかかる経済的支援」の割合が最も高くなっています。

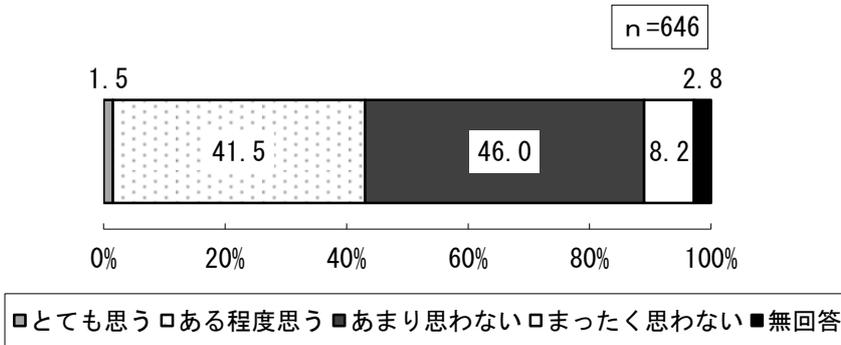
○障がいのある方では、「子どもの居場所の確保」の割合が高くなっています。

	合計	地域で互いに子育てを支え合う仕組みをつくる	保育所(園)の充実を図る	子どもの居場所を確保する	出産・子育てに係る経済的支援を充実させる	相談体制を強化する	子育て家庭同士や世代間の交流を促進する	その他	無回答
全体	646 100.0	212 32.8	285 44.1	273 42.3	339 52.5	158 24.5	194 30.0	28 4.3	36 5.6
男性	247 100.0	82 33.2	115 46.6	100 40.5	143 57.9	63 25.5	57 23.1	11 4.5	12 4.9
女性	390 100.0	130 33.3	170 43.6	173 44.4	196 50.3	95 24.4	137 35.1	17 4.4	15 3.8
10・20歳代	123 100.0	36 29.3	62 50.4	47 38.2	79 64.2	31 25.2	38 30.9	6 4.9	0 0.0
30歳代	119 100.0	36 30.3	52 43.7	50 42.0	81 68.1	35 29.4	31 26.1	14 11.8	2 1.7
40歳代	77 100.0	19 24.7	42 54.5	36 46.8	52 67.5	20 26.0	16 20.8	1 1.3	2 2.6
50歳代	84 100.0	28 33.3	39 46.4	53 63.1	34 40.5	21 25.0	23 27.4	3 3.6	4 4.8
60歳代	120 100.0	50 41.7	52 43.3	51 42.5	49 40.8	34 28.3	41 34.2	2 1.7	4 3.3
70歳以上	113 100.0	43 38.1	38 33.6	36 31.9	44 38.9	17 15.0	45 39.8	2 1.8	14 12.4
妊産婦・乳幼児(小学校入学前)	64 100.0	19 29.7	35 54.7	24 37.5	53 82.8	16 25.0	15 23.4	9 14.1	0 0.0
小・中学生	110 100.0	36 32.7	54 49.1	46 41.8	67 60.9	33 30.0	26 23.6	8 7.3	1 0.9
介護を必要とする方(要介護認定者)	54 100.0	17 31.5	20 37.0	19 35.2	22 40.7	13 24.1	15 27.8	3 5.6	5 9.3
障がいのある方	62 100.0	15 24.2	30 48.4	33 53.2	25 40.3	13 21.0	19 30.6	1 1.6	6 9.7
いずれもない	393 100.0	144 36.6	172 43.8	173 44.0	200 50.9	99 25.2	131 33.3	11 2.8	13 3.3

問8 匝瑳市は、高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。
(1つに○)

「あまり思わない」と回答した人の割合が46.0%で最も高く、「まったく思わない」と合わせると5割を超えており、「(とても+ある程度)思う」人の割合を上回っています。

前回調査と比較すると、「とても思う」人の割合がやや減少し、「思わない」人の割合がやや増加しています。



【前回調査との比較】

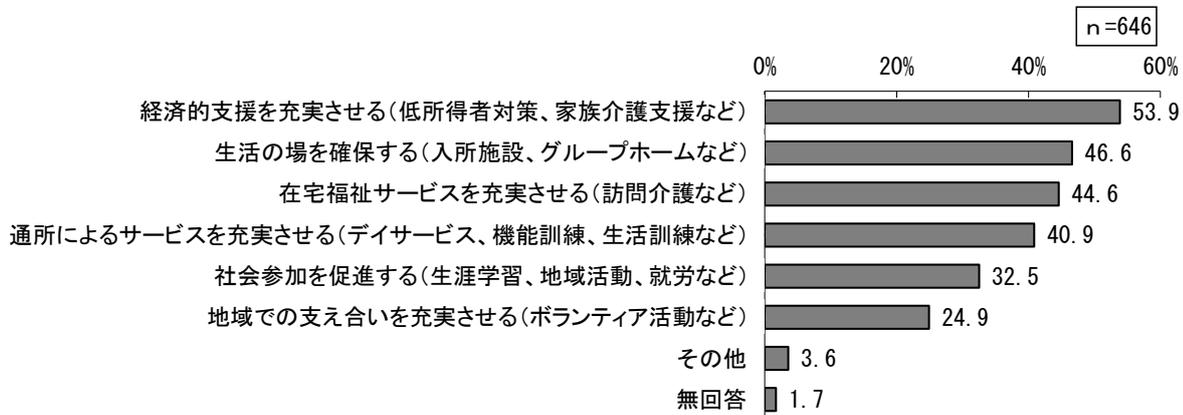
選択肢	前回	今回	変化
とても思う	3.1	1.5	-1.6
ある程度思う	41.5	41.5	0.0
あまり思わない	44.9	46.0	1.1
まったく思わない	6.6	8.2	1.6

- 60歳代以下では、半数以上が「(あまり+まったく)思わない」と回答しているのに対し、70歳以上では半数以上が暮らしやすい地域だと思うと回答しています。
- 特に40歳代では「(あまり+まったく)思わない」人の割合が約65%となっています。
- 介護を必要とする高齢者がいる世帯では「(とても+ある程度)思う」人の割合が5割となっています。

	合計	とても思う	ある程度思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
全体	646 100.0	10 1.5	268 41.5	297 46.0	53 8.2	18 2.8
男性	247 100.0	4 1.6	89 36.0	122 49.4	26 10.5	6 2.4
女性	390 100.0	6 1.5	176 45.1	169 43.3	27 6.9	12 3.1
10・20歳代	123 100.0	3 2.4	51 41.5	54 43.9	12 9.8	3 2.4
30歳代	119 100.0	0 0.0	42 35.3	60 50.4	14 11.8	3 2.5
40歳代	77 100.0	0 0.0	26 33.8	40 51.9	10 13.0	1 1.3
50歳代	84 100.0	1 1.2	30 35.7	45 53.6	6 7.1	2 2.4
60歳代	120 100.0	2 1.7	55 45.8	56 46.7	6 5.0	1 0.8
70歳以上	113 100.0	4 3.5	61 54.0	36 31.9	5 4.4	7 6.2
妊産婦・乳幼児(小学校入学前)	64 100.0	1 1.6	23 35.9	34 53.1	5 7.8	1 1.6
小・中学生	110 100.0	1 0.9	44 40.0	56 50.9	7 6.4	2 1.8
介護を必要とする方(要介護認定者)	54 100.0	2 3.7	25 46.3	22 40.7	3 5.6	2 3.7
障がいのある方	62 100.0	1 1.6	23 37.1	28 45.2	7 11.3	3 4.8
いずれもない	393 100.0	6 1.5	163 41.5	178 45.3	34 8.7	12 3.1

問9 高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「経済的支援を充実させる」が53.9%と最も高く、「生活の場を確保する」(46.6%)、「在宅福祉サービスを充実させる」(44.6%)、「通所によるサービスを充実させる」(40.9%)も4割を超えています。



○障がいのある方がいる世帯では、他の世帯と比べて「地域での支え合いを充実させる」「経済的支援を充実させる」の割合がやや高くなっています。

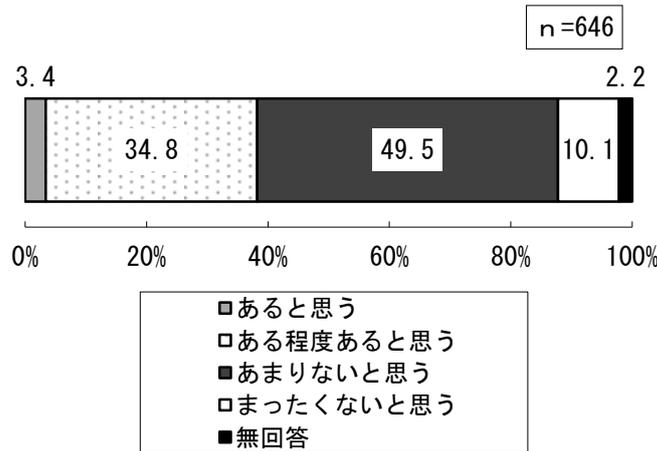
○60歳代では「生活の場を確保する」が、他の年代と比べてやや高くなっています。

	合計	社会参加を促進する	在宅福祉サービスを充実させる	通所によるサービスを充実させる	生活の場を確保する	地域での支え合いを充実させる	経済的支援を充実させる	その他	無回答
全体	646 100.0	210 32.5	288 44.6	264 40.9	301 46.6	161 24.9	348 53.9	23 3.6	11 1.7
男性	247 100.0	70 28.3	110 44.5	94 38.1	110 44.5	63 25.5	145 58.7	9 3.6	5 2.0
女性	390 100.0	140 35.9	172 44.1	167 42.8	184 47.2	96 24.6	198 50.8	14 3.6	6 1.5
10・20歳代	123 100.0	38 30.9	54 43.9	58 47.2	66 53.7	32 26.0	67 54.5	5 4.1	0 0.0
30歳代	119 100.0	37 31.1	53 44.5	60 50.4	52 43.7	22 18.5	68 57.1	7 5.9	1 0.8
40歳代	77 100.0	28 36.4	38 49.4	26 33.8	40 51.9	16 20.8	43 55.8	3 3.9	0 0.0
50歳代	84 100.0	30 35.7	39 46.4	39 46.4	32 38.1	20 23.8	52 61.9	3 3.6	0 0.0
60歳代	120 100.0	39 32.5	53 44.2	39 32.5	71 59.2	24 20.0	62 51.7	5 4.2	2 1.7
70歳以上	113 100.0	38 33.6	45 39.8	39 34.5	33 29.2	45 39.8	51 45.1	0 0.0	7 6.2
妊産婦・乳幼児(小学校入学前)	64 100.0	19 29.7	32 50.0	34 53.1	30 46.9	13 20.3	34 53.1	3 4.7	0 0.0
小・中学生	110 100.0	37 33.6	53 48.2	50 45.5	56 50.9	24 21.8	55 50.0	5 4.5	0 0.0
介護を必要とする方(要介護認定者)	54 100.0	14 25.9	30 55.6	23 42.6	29 53.7	5 9.3	29 53.7	0 0.0	2 3.7
障がいのある方	62 100.0	21 33.9	25 40.3	29 46.8	21 33.9	18 29.0	37 59.7	2 3.2	4 6.5
いずれもない	393 100.0	129 32.8	168 42.7	155 39.4	186 47.3	103 26.2	217 55.2	13 3.3	5 1.3

問10 あなたの暮らす地区は、高齢者や障がいのある方、子育て家庭などを、お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。(1つに○)

「あまりないと思う」が49.5%でほぼ半数を占め、「まったくないと思う」も1割以上となっています。

前回調査と比較すると、「ある程度あると思う」の割合が増加し、「あまりないと思う」の割合がやや減少しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前 回	今 回	変 化
あると思う	4.0	3.4	-0.6
ある程度あると思う	31.1	34.8	3.7
あまりないと思う	50.9	49.5	-1.4
まったくないと思う	10.2	10.1	-0.1

○10・20歳代を除いた年代、いずれの世帯において、「(ある+ある程度ある)と思う」人の割合より、「(あまり+まったく)ないと思う」人の割合が高くなっています。

○40歳代から60歳代の「(あまり+まったく)ないと思う」人は6割以上となっています。

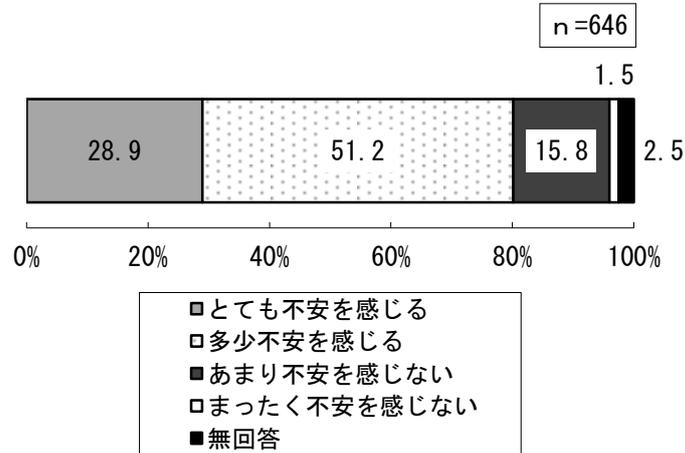
○地区別にみると、吉田地区は「(ある+ある程度ある)と思う」人の割合のほうが、「(あまり+まったく)ないと思う」人の割合を上回っています。一方、共興地区、豊栄地区、椿海地区などでは、「(あまり+まったく)ないと思う」人の割合が比較的高くなっています。

	合計	あると思う	ある程度ある と思う	あまりないと 思う	まったくない と思う	無回答
全体	646 100.0	22 3.4	225 34.8	320 49.5	65 10.1	14 2.2
男性	247 100.0	4 1.6	70 28.3	139 56.3	28 11.3	6 2.4
女性	390 100.0	18 4.6	151 38.7	177 45.4	36 9.2	8 2.1
10・20歳代	123 100.0	8 6.5	56 45.5	45 36.6	13 10.6	1 0.8
30歳代	119 100.0	3 2.5	46 38.7	55 46.2	13 10.9	2 1.7
40歳代	77 100.0	1 1.3	25 32.5	45 58.4	6 7.8	0 0.0
50歳代	84 100.0	2 2.4	21 25.0	48 57.1	12 14.3	1 1.2
60歳代	120 100.0	2 1.7	36 30.0	65 54.2	14 11.7	3 2.5
70歳以上	113 100.0	6 5.3	37 32.7	58 51.3	6 5.3	6 5.3
中央地区	113 100.0	3 2.7	38 33.6	56 49.6	13 11.5	3 2.7
豊栄地区	78 100.0	0 0.0	26 33.3	40 51.3	10 12.8	2 2.6
須賀地区	52 100.0	3 5.8	17 32.7	27 51.9	4 7.7	1 1.9
匠瑳地区	55 100.0	2 3.6	18 32.7	26 47.3	7 12.7	2 3.6
豊和地区	43 100.0	0 0.0	18 41.9	22 51.2	3 7.0	0 0.0
吉田地区	14 100.0	1 7.1	8 57.1	5 35.7	0 0.0	0 0.0
飯高地区	18 100.0	3 16.7	6 33.3	6 33.3	3 16.7	0 0.0
共興地区	36 100.0	0 0.0	5 13.9	29 80.6	2 5.6	0 0.0
平和地区	65 100.0	3 4.6	24 36.9	31 47.7	6 9.2	1 1.5
椿海地区	66 100.0	4 6.1	20 30.3	35 53.0	7 10.6	0 0.0
野田地区	61 100.0	1 1.6	27 44.3	24 39.3	7 11.5	2 3.3
栄地区	33 100.0	2 6.1	14 42.4	14 42.4	2 6.1	1 3.0
妊産婦・乳幼児（小 学校入学前）	64 100.0	3 4.7	26 40.6	30 46.9	5 7.8	0 0.0
小・中学生	110 100.0	2 1.8	42 38.2	57 51.8	9 8.2	0 0.0
介護を必要とする方 （要介護認定者）	54 100.0	1 1.9	20 37.0	30 55.6	2 3.7	1 1.9
障がいのある方	62 100.0	2 3.2	17 27.4	33 53.2	6 9.7	4 6.5
いずれもない	393 100.0	13 3.3	131 33.3	195 49.6	45 11.5	9 2.3

問11 あなたは、現在の医療体制をどう感じていますか。(1つに○)

「多少不安を感じる」と回答した人の割合が51.2%と最も高く、「とても不安を感じる」も3割近くで、8割以上の方が医療体制に不安を感じています。

前回調査と比較すると、「とても不安を感じる」の割合が減少しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
とても不安を感じる	32.8	28.9	-3.9
多少不安を感じる	50.7	51.2	0.5
あまり不安を感じない	11.8	15.8	4.0
まったく不安を感じない	1.6	1.5	-0.1

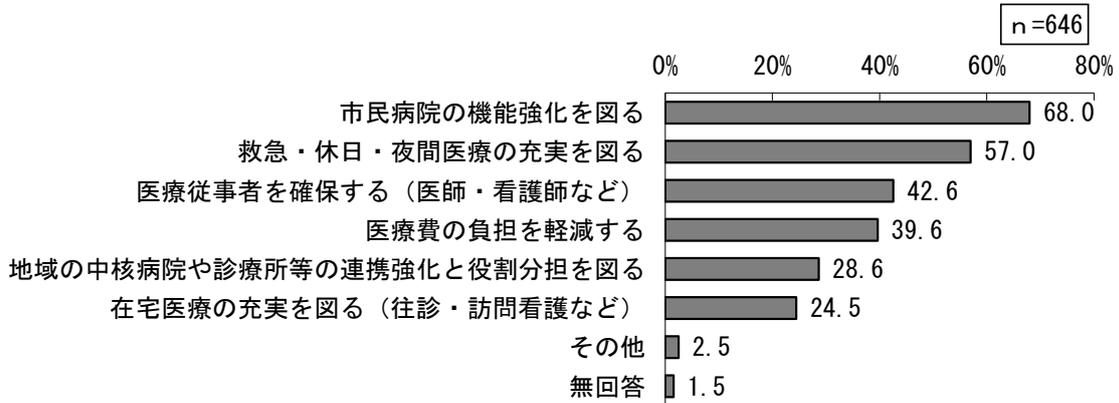
○30歳代から60歳代にかけて「(とても+多少)不安を感じる」人の割合は8割を超えています。

○妊産婦・乳幼児のいる世帯、および小・中学生がいる世帯でも「(とても+多少)不安を感じる」割合は8割を超えており、小児科医療に対する不安があるとみられます。

	合計	とても不安を感じる	多少不安を感じる	あまり不安を感じない	まったく不安を感じない	無回答
全体	646	187	331	102	10	16
	100.0	28.9	51.2	15.8	1.5	2.5
男性	247	68	129	41	5	4
	100.0	27.5	52.2	16.6	2.0	1.6
女性	390	116	198	59	5	12
	100.0	29.7	50.8	15.1	1.3	3.1
10・20歳代	123	21	64	32	3	3
	100.0	17.1	52.0	26.0	2.4	2.4
30歳代	119	41	59	17	1	1
	100.0	34.5	49.6	14.3	0.8	0.8
40歳代	77	32	37	8	0	0
	100.0	41.6	48.1	10.4	0.0	0.0
50歳代	84	28	43	10	1	2
	100.0	33.3	51.2	11.9	1.2	2.4
60歳代	120	40	58	16	2	4
	100.0	33.3	48.3	13.3	1.7	3.3
70歳以上	113	22	66	17	3	5
	100.0	19.5	58.4	15.0	2.7	4.4
妊産婦・乳幼児(小学校入学前)	64	20	32	10	2	0
	100.0	31.3	50.0	15.6	3.1	0.0
小・中学生	110	40	53	15	0	2
	100.0	36.4	48.2	13.6	0.0	1.8
介護を必要とする方(要介護認定者)	54	15	26	10	2	1
	100.0	27.8	48.1	18.5	3.7	1.9
障がいのある方	62	20	29	10	0	3
	100.0	32.3	46.8	16.1	0.0	4.8
いずれもない	393	110	209	59	5	10
	100.0	28.0	53.2	15.0	1.3	2.5

問12 地域の医療環境への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「市民病院の機能強化を図る」が68.0%で最も高く、次いで「救急・休日・夜間医療の充実を図る」(57.0%)、「医療従事者を確保する」(42.6%)、「医療費の負担を軽減する」(39.6%)と続いています。



○40歳代以上では、「市民病院の機能強化」の割合が高く、30歳代以下では「救急・休日・夜間医療の充実を図る」が他の年代と比べて高くなっています。

○妊産婦・乳幼児のいる世帯では、「救急・休日・夜間医療の充実」の割合が最も高くなっています。

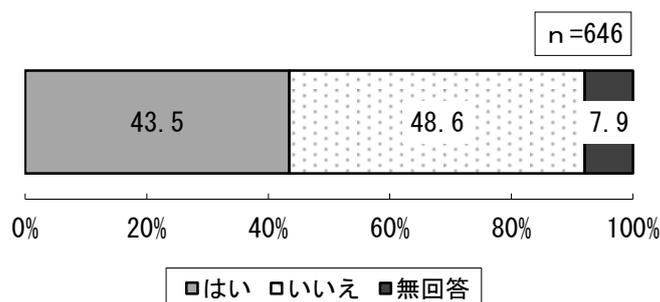
	合計	市民病院の機能強化を図る	救急・休日・夜間医療の充実を図る	在宅医療の充実を図る(往診・訪問看護など)	医療従事者を確保する(医師・看護師など)	地域の中核病院や診療所等の連携強化と役割分担を図る	医療費の負担を軽減する	その他	無回答
全体	646 100.0	439 68.0	368 57.0	158 24.5	275 42.6	185 28.6	256 39.6	16 2.5	10 1.5
男性	247 100.0	163 66.0	138 55.9	52 21.1	97 39.3	67 27.1	111 44.9	7 2.8	5 2.0
女性	390 100.0	270 69.2	226 57.9	102 26.2	172 44.1	116 29.7	142 36.4	9 2.3	5 1.3
10・20歳代	123 100.0	72 58.5	76 61.8	18 14.6	60 48.8	43 35.0	48 39.0	4 3.3	0 0.0
30歳代	119 100.0	78 65.5	82 68.9	14 11.8	52 43.7	38 31.9	52 43.7	3 2.5	2 1.7
40歳代	77 100.0	54 70.1	51 66.2	20 26.0	31 40.3	22 28.6	33 42.9	3 3.9	0 0.0
50歳代	84 100.0	67 79.8	45 53.6	23 27.4	35 41.7	23 27.4	34 40.5	2 2.4	0 0.0
60歳代	120 100.0	79 65.8	54 45.0	43 35.8	45 37.5	32 26.7	52 43.3	3 2.5	3 2.5
70歳以上	113 100.0	83 73.5	56 49.6	36 31.9	46 40.7	25 22.1	34 30.1	1 0.9	4 3.5
妊産婦・乳幼児(小学校入学前)	64 100.0	46 71.9	51 79.7	13 20.3	23 35.9	19 29.7	27 42.2	1 1.6	0 0.0
小・中学生	110 100.0	78 70.9	78 70.9	25 22.7	42 38.2	32 29.1	47 42.7	3 2.7	0 0.0
介護を必要とする方(要介護認定者)	54 100.0	35 64.8	28 51.9	18 33.3	16 29.6	13 24.1	20 37.0	1 1.9	3 5.6
障がいのある方	62 100.0	40 64.5	35 56.5	19 30.6	19 30.6	16 25.8	24 38.7	0 0.0	5 8.1
いずれもない	393 100.0	268 68.2	212 53.9	96 24.4	187 47.6	113 28.8	153 38.9	11 2.8	2 0.5

Ⅱ-3 産業・経済について

問13 あなたは、匠瑛市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。
(1つに○)

「はい」が43.5%、「いいえ」が48.6%で、自慢したいことがない人の割合のほうが、ある人の割合を上回っています。

前回調査と比較すると、「はい」、「いいえ」のどちらも増加していますが、「はい」がより大きく増加しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前 回	今 回	変 化
はい	37.1	43.5	6.4
いいえ	47.8	48.6	0.8

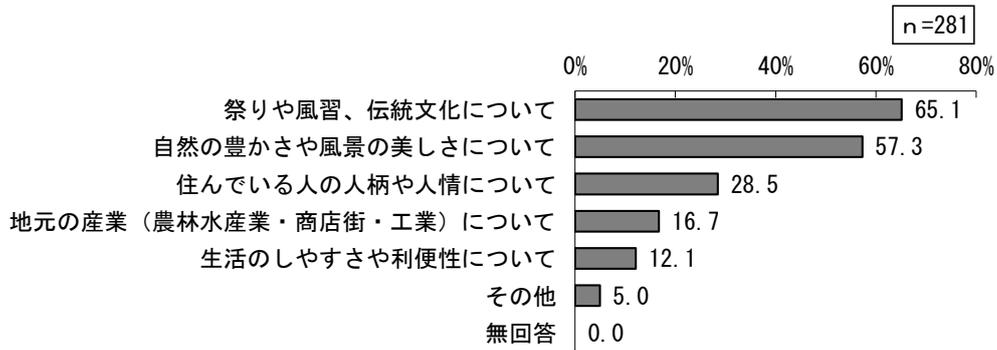
- 男性より女性のほうが「はい」の割合が高くなっています。
- 10・20歳代では、「はい」が過半数となり、学生も過半数が「はい」と回答するなど、若い年代ほど自慢したいことがある人の割合が高くなっています。
- 県内の他の市町村出身者では、過半数以上の人「いいえ」と回答しています。
- 豊和地区および飯高地区では「はい」の割合が他の地区と比べて高くなっています。椿海地区および豊栄地区では「いいえ」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	646 100.0	281 43.5	314 48.6	51 7.9
男性	247 100.0	90 36.4	138 55.9	19 7.7
女性	390 100.0	187 47.9	171 43.8	32 8.2
10・20歳代	123 100.0	68 55.3	55 44.7	0 0.0
30歳代	119 100.0	53 44.5	62 52.1	4 3.4
40歳代	77 100.0	26 33.8	48 62.3	3 3.9
50歳代	84 100.0	35 41.7	44 52.4	5 6.0
60歳代	120 100.0	51 42.5	60 50.0	9 7.5
70歳以上	113 100.0	44 38.9	40 35.4	29 25.7
農林漁業	35 100.0	13 37.1	19 54.3	3 8.6
商工・サービス・飲 食・自由業	70 100.0	36 51.4	28 40.0	6 8.6
会社員・団体職員・公 務員	181 100.0	71 39.2	105 58.0	5 2.8
学生	50 100.0	28 56.0	22 44.0	0 0.0
家事（パートタイム含 む）	89 100.0	45 50.6	36 40.4	8 9.0
無職	168 100.0	72 42.9	73 43.5	23 13.7
その他	39 100.0	11 28.2	23 59.0	5 12.8
中央地区	113 100.0	55 48.7	50 44.2	8 7.1
豊栄地区	78 100.0	30 38.5	46 59.0	2 2.6
須賀地区	52 100.0	23 44.2	22 42.3	7 13.5
匝瑳地区	55 100.0	23 41.8	27 49.1	5 9.1
豊和地区	43 100.0	22 51.2	19 44.2	2 4.7
吉田地区	14 100.0	5 35.7	7 50.0	2 14.3
飯高地区	18 100.0	11 61.1	6 33.3	1 5.6
共興地区	36 100.0	15 41.7	19 52.8	2 5.6
平和地区	65 100.0	28 43.1	27 41.5	10 15.4
椿海地区	66 100.0	23 34.8	41 62.1	2 3.0
野田地区	61 100.0	27 44.3	27 44.3	7 11.5
栄地区	33 100.0	15 45.5	15 45.5	3 9.1
生まれてからずっと市 内に住んでいる	224 100.0	103 46.0	102 45.5	19 8.5
匝瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	173 100.0	80 46.2	83 48.0	10 5.8
県内の他の市町村出身 である	142 100.0	53 37.3	77 54.2	12 8.5
県外の出身である	92 100.0	38 41.3	44 47.8	10 10.9

問 13-1 それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

「祭りや風習、伝統文化について」が 65.1%で最も高く、「自然の豊かさや風景の美しさについて」も 5 割を超えています。

前回調査で最も高かった「祭りや風習、伝統文化について」は今回減少し、「自然の豊かさや風景の美しさについて」が大きく伸びています。また、「生活のしやすさや利便性について」も増加しています。



【前回調査との比較】

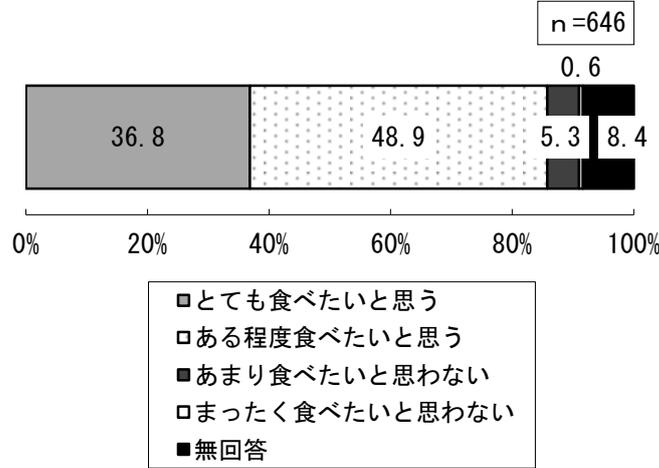
選択肢	前 回	今 回	変 化
自然の豊かさや風景の美しさ	50.3	57.3	7.0
住んでいる人の人柄や人情	26.3	28.5	2.2
祭りや風習、伝統文化	70.8	65.1	-5.7
地元の産業	13.1	16.7	3.6
生活のしやすさや利便性	6.4	12.1	5.7
その他	4.0	5.0	1.0

- 10・20 歳代の約 8 割の人が「祭りや風習、伝統文化」を自慢したいと回答しています。
- 70 歳以上では、「生活のしやすさや利便性」の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- 豊和地区、共興地区、野田地区では、「自然の豊かさや風景の美しさ」の割合が最も高くなっています。

	合計	自然の豊かさ や風景の美し さについて	住んでいる人 の人柄や人情 について	祭りや風習、 伝統文化につ いて	地元の産業 (農林水産 業・商店街・ 工業)につい て	生活のしやす さや利便性につ いて	その他	無回答
全体	281 100.0	161 57.3	80 28.5	183 65.1	47 16.7	34 12.1	14 5.0	0 0.0
男性	90 100.0	53 58.9	27 30.0	63 70.0	20 22.2	12 13.3	2 2.2	0 0.0
女性	187 100.0	107 57.2	52 27.8	117 62.6	26 13.9	21 11.2	12 6.4	0 0.0
10・20歳代	68 100.0	37 54.4	14 20.6	55 80.9	10 14.7	3 4.4	2 2.9	0 0.0
30歳代	53 100.0	28 52.8	11 20.8	38 71.7	11 20.8	3 5.7	6 11.3	0 0.0
40歳代	26 100.0	15 57.7	7 26.9	14 53.8	2 7.7	3 11.5	0 0.0	0 0.0
50歳代	35 100.0	20 57.1	13 37.1	21 60.0	8 22.9	5 14.3	1 2.9	0 0.0
60歳代	51 100.0	30 58.8	16 31.4	27 52.9	7 13.7	8 15.7	3 5.9	0 0.0
70歳以上	44 100.0	30 68.2	18 40.9	25 56.8	8 18.2	11 25.0	2 4.5	0 0.0
農林漁業	13 100.0	10 76.9	2 15.4	4 30.8	4 30.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0
商工・サービス・飲 食・自由業	36 100.0	18 50.0	8 22.2	25 69.4	4 11.1	6 16.7	0 0.0	0 0.0
会社員・団体職員・公 務員	71 100.0	40 56.3	19 26.8	51 71.8	10 14.1	4 5.6	2 2.8	0 0.0
学生	28 100.0	16 57.1	6 21.4	21 75.0	4 14.3	0 0.0	2 7.1	0 0.0
家事（パートタイム含 む）	45 100.0	22 48.9	13 28.9	30 66.7	9 20.0	5 11.1	4 8.9	0 0.0
無職	72 100.0	47 65.3	28 38.9	40 55.6	13 18.1	15 20.8	6 8.3	0 0.0
その他	11 100.0	6 54.5	3 27.3	8 72.7	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0
中央地区	55 100.0	30 54.5	17 30.9	43 78.2	8 14.5	10 18.2	2 3.6	0 0.0
豊栄地区	30 100.0	18 60.0	7 23.3	20 66.7	8 26.7	4 13.3	0 0.0	0 0.0
須賀地区	23 100.0	9 39.1	6 26.1	14 60.9	8 34.8	1 4.3	4 17.4	0 0.0
匠瑳地区	23 100.0	15 65.2	2 8.7	18 78.3	2 8.7	3 13.0	0 0.0	0 0.0
豊和地区	22 100.0	15 68.2	8 36.4	10 45.5	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
吉田地区	5 100.0	3 60.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
飯高地区	11 100.0	7 63.6	3 27.3	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
共興地区	15 100.0	9 60.0	4 26.7	7 46.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0
平和地区	28 100.0	18 64.3	10 35.7	21 75.0	4 14.3	4 14.3	0 0.0	0 0.0
樺海地区	23 100.0	12 52.2	6 26.1	16 69.6	1 4.3	4 17.4	2 8.7	0 0.0
野田地区	27 100.0	17 63.0	11 40.7	9 33.3	5 18.5	4 14.8	3 11.1	0 0.0
栄地区	15 100.0	7 46.7	4 26.7	9 60.0	5 33.3	1 6.7	2 13.3	0 0.0
生まれてからずっと市 内に住んでいる	103 100.0	58 56.3	26 25.2	76 73.8	18 17.5	9 8.7	2 1.9	0 0.0
匠瑳市の出身だが、市 外での居住経験がある	80 100.0	46 57.5	24 30.0	49 61.3	12 15.0	10 12.5	4 5.0	0 0.0
県内の他の市町村出身 である	53 100.0	31 58.5	14 26.4	32 60.4	6 11.3	10 18.9	5 9.4	0 0.0
県外の出身である	38 100.0	24 63.2	15 39.5	21 55.3	10 26.3	4 10.5	3 7.9	0 0.0

問14 あなたは、地元で採れた農水産物をすすんで食べたいと思いますか。(1つに○)

8割以上の方が「(とても+ある程度) 食べたいと思う」と回答している一方、前回調査と比較すると、「とても食べたいと思う」の割合が減少しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
とても食べたいと思う	40.5	36.8	-3.7
ある程度食べたいと思う	43.7	48.9	5.2
あまり食べたいと思わない	4.7	5.3	0.6
まったく食べたいと思わない	0.9	0.6	-0.3

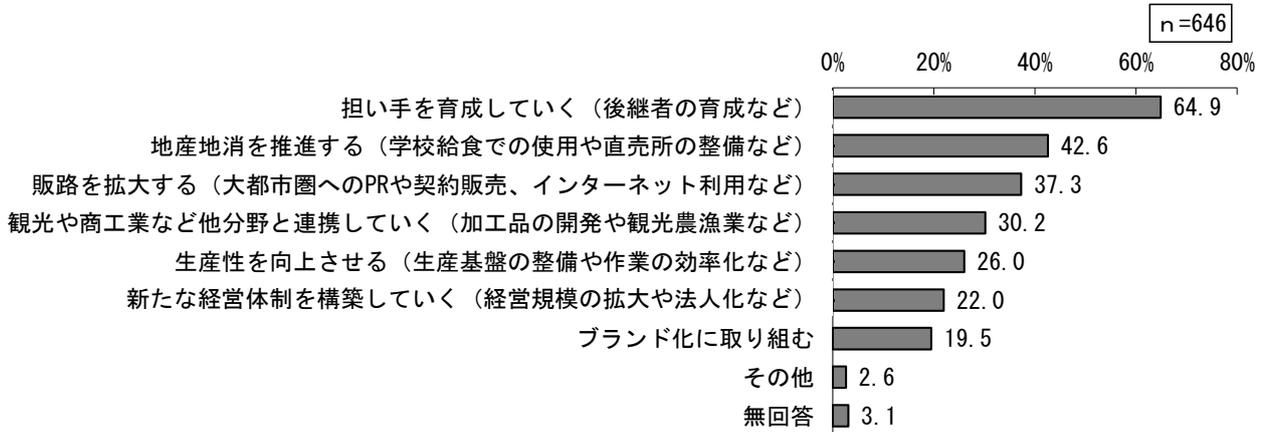
○女性と比べて男性のほうが「とても食べたいと思う」人の割合が低くなっています。

○農林漁業従事者においても、全体の傾向と大きな差はみられません。

	合計	とても食べたいと思う	ある程度食べたいと思う	あまり食べたいと思わない	まったく食べたいと思わない	無回答
全体	646 100.0	238 36.8	316 48.9	34 5.3	4 0.6	54 8.4
男性	247 100.0	69 27.9	132 53.4	24 9.7	0 0.0	22 8.9
女性	390 100.0	168 43.1	179 45.9	10 2.6	4 1.0	29 7.4
10・20歳代	123 100.0	42 34.1	58 47.2	10 8.1	2 1.6	11 8.9
30歳代	119 100.0	47 39.5	56 47.1	5 4.2	2 1.7	9 7.6
40歳代	77 100.0	21 27.3	48 62.3	4 5.2	0 0.0	4 5.2
50歳代	84 100.0	36 42.9	42 50.0	4 4.8	0 0.0	2 2.4
60歳代	120 100.0	41 34.2	57 47.5	8 6.7	0 0.0	14 11.7
70歳以上	113 100.0	50 44.2	50 44.2	3 2.7	0 0.0	10 8.8
農林漁業	35 100.0	12 34.3	17 48.6	3 8.6	0 0.0	3 8.6
商工・サービス・飲食・自由業	70 100.0	35 50.0	29 41.4	2 2.9	0 0.0	4 5.7
会社員・団体職員・公務員	181 100.0	56 30.9	99 54.7	7 3.9	0 0.0	19 10.5
学生	50 100.0	18 36.0	21 42.0	4 8.0	2 4.0	5 10.0
家事(パートタイム含む)	89 100.0	40 44.9	42 47.2	1 1.1	1 1.1	5 5.6
無職	168 100.0	70 41.7	80 47.6	7 4.2	1 0.6	10 6.0
その他	39 100.0	5 12.8	19 48.7	10 25.6	0 0.0	5 12.8

問15 市の農林水産業振興への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「担い手を育成していく」の割合が64.9%で最も高く、次いで「地産地消を推進する」(42.6%)、「販路を拡大する」(37.3%)、「観光や商工業など他分野と連携していく」(30.2%)と続いています。



○10・20歳代や学生の「担い手を育成していく」の割合が他の年代や職業と比較して高くなっています。

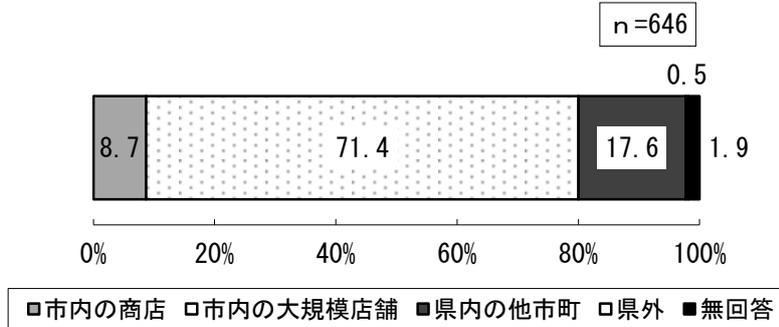
○商工・サービス・飲食・自由業従事者では、「ブランド化に取り組む」の割合が、他の職業の人と比べて高くなっています。

	合計	生産性を向上させる (生産基盤の整備や作業の効率化など)	担い手を育成していく (後継者の育成など)	新たな経営体制を構築していく (経営規模の拡大や法人化など)	販路を拡大する (大都市圏へのPRや契約販売、インターネット利用など)	観光や商工業など他分野と連携していく (加工品の開発や観光農漁業など)	地産地消を推進する (学校給食での使用や直売所の整備など)	ブランド化に取り組む	その他	無回答
全体	646	168	419	142	241	195	275	126	17	20
	100.0	26.0	64.9	22.0	37.3	30.2	42.6	19.5	2.6	3.1
男性	247	78	144	64	99	78	86	58	10	8
	100.0	31.6	58.3	25.9	40.1	31.6	34.8	23.5	4.0	3.2
女性	390	89	267	77	140	112	185	68	7	12
	100.0	22.8	68.5	19.7	35.9	28.7	47.4	17.4	1.8	3.1
10・20歳代	123	26	86	26	56	36	48	31	2	0
	100.0	21.1	69.9	21.1	45.5	29.3	39.0	25.2	1.6	0.0
30歳代	119	33	73	24	55	37	52	26	7	1
	100.0	27.7	61.3	20.2	46.2	31.1	43.7	21.8	5.9	0.8
40歳代	77	10	50	18	30	31	34	18	1	1
	100.0	13.0	64.9	23.4	39.0	40.3	44.2	23.4	1.3	1.3
50歳代	84	25	52	22	25	27	34	19	2	1
	100.0	29.8	61.9	26.2	29.8	32.1	40.5	22.6	2.4	1.2
60歳代	120	35	77	30	41	36	55	19	4	5
	100.0	29.2	64.2	25.0	34.2	30.0	45.8	15.8	3.3	4.2
70歳以上	113	38	73	21	32	23	48	13	1	11
	100.0	33.6	64.6	18.6	28.3	20.4	42.5	11.5	0.9	9.7
農林漁業	35	9	20	9	10	9	7	7	0	5
	100.0	25.7	57.1	25.7	28.6	25.7	20.0	20.0	0.0	14.3
商工・サービス・飲食・自由業	70	12	44	12	25	17	26	22	5	2
	100.0	17.1	62.9	17.1	35.7	24.3	37.1	31.4	7.1	2.9
会社員・団体職員・公務員	181	43	122	59	74	63	77	33	1	1
	100.0	23.8	67.4	32.6	40.9	34.8	42.5	18.2	0.6	0.6
学生	50	8	35	8	22	16	22	11	1	0
	100.0	16.0	70.0	16.0	44.0	32.0	44.0	22.0	2.0	0.0
家事(パートタイム含む)	89	25	52	16	34	33	37	18	3	2
	100.0	28.1	58.4	18.0	38.2	37.1	41.6	20.2	3.4	2.2
無職	168	55	112	31	58	38	82	27	5	7
	100.0	32.7	66.7	18.5	34.5	22.6	48.8	16.1	3.0	4.2
その他	39	11	23	4	15	13	16	8	2	3
	100.0	28.2	59.0	10.3	38.5	33.3	41.0	20.5	5.1	7.7

問16 あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか。(1つに○)

「市内の大規模店舗」が71.4%で最も高く、7割以上を占めており、「市内の商店」は8.7%にとどまっています。

前回調査と比較すると、「市内の商店」の割合が減少し、「市内の大規模店舗」が増加しています。消費行動が大規模店舗へ移行しているものとみられます。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
市内の商店	14.6	8.7	-5.9
市内の大規模店舗	64.3	71.4	7.1
県内の他市町	16.4	17.6	1.2
県外	0.1	0.5	0.4

○10・20歳代と60歳代の「市内の大規模店舗」の割合がほぼ同じ値となり、年代を問わず大半が「市内の大規模店舗」を利用していることがみられます。30歳代では「県内の他市町」の割合が、70歳以上では「市内の商店」の割合が、それぞれ他の年代と比べて高くなっています。

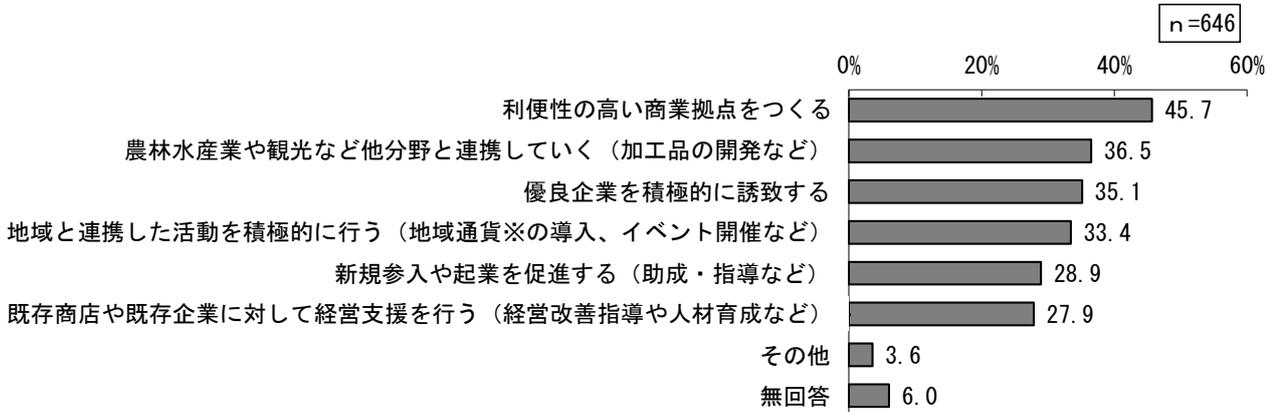
○地区別では、豊和地区、飯高地区、匠瑳地区では「市内の商店」の割合が、豊栄地区、平和地区では「市内の大規模店舗」の割合が、椿海地区、栄地区、共興地区、吉田地区では「県内の他市町」の割合が、それぞれ他の地区と比べて高くなっています。

	合計	市内の商店	市内の大規模店舗	県内の他市町	県外	無回答
全体	646 100.0	56 8.7	461 71.4	114 17.6	3 0.5	12 1.9
男性	247 100.0	21 8.5	177 71.7	42 17.0	1 0.4	6 2.4
女性	390 100.0	35 9.0	275 70.5	72 18.5	2 0.5	6 1.5
10・20歳代	123 100.0	14 11.4	90 73.2	18 14.6	1 0.8	0 0.0
30歳代	119 100.0	5 4.2	81 68.1	31 26.1	0 0.0	2 1.7
40歳代	77 100.0	5 6.5	56 72.7	14 18.2	0 0.0	2 2.6
50歳代	84 100.0	9 10.7	56 66.7	17 20.2	2 2.4	0 0.0
60歳代	120 100.0	5 4.2	88 73.3	24 20.0	0 0.0	3 2.5
70歳以上	113 100.0	18 15.9	81 71.7	10 8.8	0 0.0	4 3.5

	合計	市内の商店	市内の大規模店舗	県内の他市町	県外	無回答
農林漁業	35 100.0	4 11.4	25 71.4	5 14.3	1 2.9	0 0.0
商工・サービス・飲食・自由業	70 100.0	7 10.0	54 77.1	9 12.9	0 0.0	0 0.0
会社員・団体職員・公務員	181 100.0	6 3.3	132 72.9	38 21.0	2 1.1	3 1.7
学生	50 100.0	7 14.0	36 72.0	7 14.0	0 0.0	0 0.0
家事（パートタイム含む）	89 100.0	9 10.1	60 67.4	19 21.3	0 0.0	1 1.1
無職	168 100.0	18 10.7	119 70.8	25 14.9	0 0.0	6 3.6
その他	39 100.0	4 10.3	24 61.5	9 23.1	0 0.0	2 5.1
中央地区	113 100.0	10 8.8	83 73.5	17 15.0	0 0.0	3 2.7
豊栄地区	78 100.0	2 2.6	65 83.3	9 11.5	0 0.0	2 2.6
須賀地区	52 100.0	6 11.5	38 73.1	7 13.5	0 0.0	1 1.9
匠瑛地区	55 100.0	7 12.7	32 58.2	10 18.2	3 5.5	3 5.5
豊和地区	43 100.0	8 18.6	26 60.5	7 16.3	0 0.0	2 4.7
吉田地区	14 100.0	1 7.1	10 71.4	3 21.4	0 0.0	0 0.0
飯高地区	18 100.0	3 16.7	12 66.7	3 16.7	0 0.0	0 0.0
共興地区	36 100.0	2 5.6	26 72.2	8 22.2	0 0.0	0 0.0
平和地区	65 100.0	6 9.2	50 76.9	9 13.8	0 0.0	0 0.0
椿海地区	66 100.0	3 4.5	44 66.7	19 28.8	0 0.0	0 0.0
野田地区	61 100.0	5 8.2	44 72.1	12 19.7	0 0.0	0 0.0
栄地区	33 100.0	3 9.1	20 60.6	9 27.3	0 0.0	1 3.0
生まれてからずっと市内に住んでいる	224 100.0	23 10.3	160 71.4	38 17.0	0 0.0	3 1.3
匠瑛市の出身だが、市外での居住経験がある	173 100.0	14 8.1	114 65.9	39 22.5	2 1.2	4 2.3
県内の他の市町村出身である	142 100.0	8 5.6	106 74.6	26 18.3	0 0.0	2 1.4
県外の出身である	92 100.0	10 10.9	69 75.0	9 9.8	1 1.1	3 3.3
妊産婦・乳幼児（小学校入学前）	64 100.0	3 4.7	49 76.6	12 18.8	0 0.0	0 0.0
小・中学生	110 100.0	8 7.3	71 64.5	31 28.2	0 0.0	0 0.0
介護を必要とする方（要介護認定者）	54 100.0	5 9.3	35 64.8	13 24.1	0 0.0	1 1.9
障がいのある方	62 100.0	9 14.5	44 71.0	4 6.5	0 0.0	5 8.1
いずれもない	393 100.0	31 7.9	288 73.3	65 16.5	3 0.8	6 1.5

問17 あなたは、市の商工業振興への取組みで、何が重要と考えますか。（3つまで○）

「利便性の高い商業拠点をつくる」が45.7%で最も高く、次いで「農林水産業や観光など他分野と連携していく」（36.5%）、「優良企業を積極的に誘致する」（35.1%）、「地域と連携した活動を積極的に行う」（33.4%）と続いています。



○40歳代では、「優良企業を積極的に誘致する」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

○農林漁業従事者では、「農林水産業や観光など他分野と連携していく」の割合が他の職業と比べて高くなっています。

○商工・サービス・飲食・自由業従事者では、「新規参入や起業を促進する」がやや他の職業と比べて高くなっています。

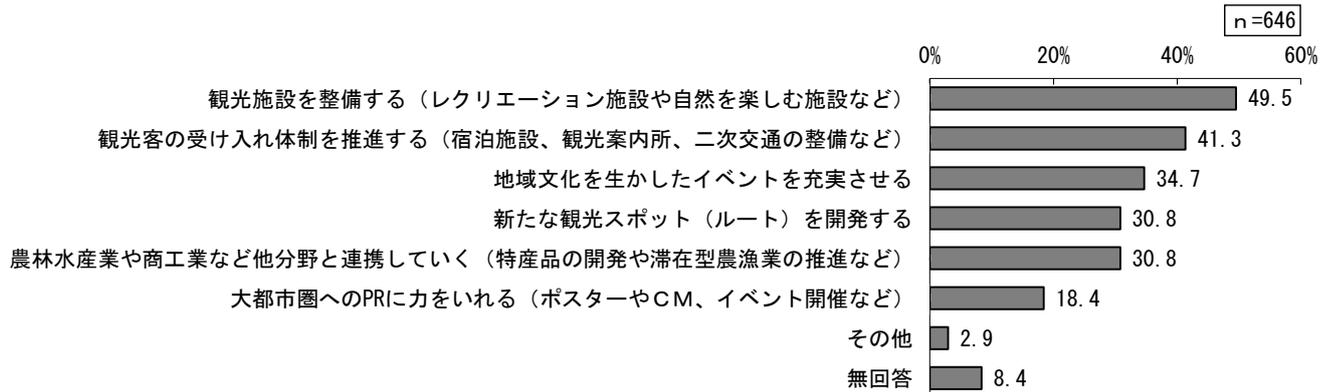
	合計	利便性の高い商業拠点をつくる	既存商店や既存企業に対して経営支援を行う（経営改善指導や人材育成など）	地域と連携した活動を積極的に行う（地域通貨※の導入、イベント開催など）	新規参入や起業を促進する（助成・指導など）	優良企業を積極的に誘致する	農林水産業や観光など他分野と連携していく（加工品の開発など）	その他	無回答
全体	646	295	180	216	187	227	236	23	39
	100.0	45.7	27.9	33.4	28.9	35.1	36.5	3.6	6.0
男性	247	117	65	77	90	107	84	11	12
	100.0	47.4	26.3	31.2	36.4	43.3	34.0	4.5	4.9
女性	390	177	114	136	94	118	148	12	25
	100.0	45.4	29.2	34.9	24.1	30.3	37.9	3.1	6.4
10・20歳代	123	53	41	47	34	34	41	6	5
	100.0	43.1	33.3	38.2	27.6	27.6	33.3	4.9	4.1
30歳代	119	54	40	40	35	39	42	6	5
	100.0	45.4	33.6	33.6	29.4	32.8	35.3	5.0	4.2
40歳代	77	35	15	24	31	39	28	2	2
	100.0	45.5	19.5	31.2	40.3	50.6	36.4	2.6	2.6
50歳代	84	42	22	30	24	31	34	3	6
	100.0	50.0	26.2	35.7	28.6	36.9	40.5	3.6	7.1
60歳代	120	56	31	36	35	40	46	6	9
	100.0	46.7	25.8	30.0	29.2	33.3	38.3	5.0	7.5
70歳以上	113	54	30	36	25	42	41	0	9
	100.0	47.8	26.5	31.9	22.1	37.2	36.3	0.0	8.0
農林漁業	35	16	2	9	10	14	18	0	4
	100.0	45.7	5.7	25.7	28.6	40.0	51.4	0.0	11.4
商工・サービス・飲食・自由業	70	21	18	20	26	25	20	5	7
	100.0	30.0	25.7	28.6	37.1	35.7	28.6	7.1	10.0
会社員・団体職員・公務員	181	92	54	59	53	72	62	5	9
	100.0	50.8	29.8	32.6	29.3	39.8	34.3	2.8	5.0
学生	50	22	21	19	15	13	13	4	0
	100.0	44.0	42.0	38.0	30.0	26.0	26.0	8.0	0.0
家事（パートタイム含む）	89	41	22	32	30	28	38	1	6
	100.0	46.1	24.7	36.0	33.7	31.5	42.7	1.1	6.7
無職	168	81	46	54	39	61	64	7	10
	100.0	48.2	27.4	32.1	23.2	36.3	38.1	4.2	6.0
その他	39	18	14	17	10	10	14	1	1
	100.0	46.2	35.9	43.6	25.6	25.6	35.9	2.6	2.6

問18 あなたは、市の観光資源となりうるものは何だと思いますか。(自由記入)

※自由記入(その他・自由意見参照)

問19 市の観光振興への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「観光施設を整備する」が49.5%で約半数を占めています。「観光客の受け入れ体制を推進する」(41.3%)、「地域文化を生かしたイベントを充実させる」(34.7%)と続き、市内の環境整備を求める声が多くなっています。



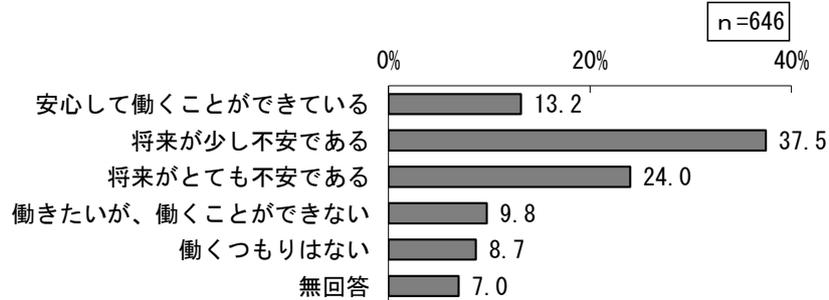
○どの年代も「観光施設を整備する」の割合が高く、40歳代が最も高くなっています。

○商工・サービス・飲食・自由業従事者では、「観光客の受け入れ体制を推進する」の割合が最も高くなっています。

	合計	観光施設を整備する(レクリエーション施設や自然を楽しむ施設など)	地域文化を生かしたイベントを充実させる	新たな観光スポット(ルート)を開発する	観光客の受け入れ体制を推進する(宿泊施設、観光案内所、二次交通の整備など)	大都市圏へのPRIに力をいれる(ポスターやCM、イベント開催など)	農林水産業や商工業など他分野と連携していく(特産品の開発や滞在型農漁業の推進など)	その他	無回答
全体	646	320	224	199	267	119	199	19	54
	100.0	49.5	34.7	30.8	41.3	18.4	30.8	2.9	8.4
男性	247	130	75	94	101	44	72	8	21
	100.0	52.6	30.4	38.1	40.9	17.8	29.1	3.2	8.5
女性	390	186	148	103	163	74	125	10	30
	100.0	47.7	37.9	26.4	41.8	19.0	32.1	2.6	7.7
10・20歳代	123	61	47	32	59	31	25	7	7
	100.0	49.6	38.2	26.0	48.0	25.2	20.3	5.7	5.7
30歳代	119	54	46	39	58	23	30	5	7
	100.0	45.4	38.7	32.8	48.7	19.3	25.2	4.2	5.9
40歳代	77	46	20	28	36	12	29	1	3
	100.0	59.7	26.0	36.4	46.8	15.6	37.7	1.3	3.9
50歳代	84	48	33	22	28	20	28	4	6
	100.0	57.1	39.3	26.2	33.3	23.8	33.3	4.8	7.1
60歳代	120	61	40	44	49	16	41	0	8
	100.0	50.8	33.3	36.7	40.8	13.3	34.2	0.0	6.7
70歳以上	113	46	37	32	34	16	44	1	19
	100.0	40.7	32.7	28.3	30.1	14.2	38.9	0.9	16.8
農林漁業	35	15	7	8	9	6	13	1	8
	100.0	42.9	20.0	22.9	25.7	17.1	37.1	2.9	22.9
商工・サービス・飲食・自由業	70	28	25	18	34	8	19	3	7
	100.0	40.0	35.7	25.7	48.6	11.4	27.1	4.3	10.0
会社員・団体職員・公務員	181	105	54	53	79	34	60	5	12
	100.0	58.0	29.8	29.3	43.6	18.8	33.1	2.8	6.6
学生	50	26	18	10	25	16	5	3	1
	100.0	52.0	36.0	20.0	50.0	32.0	10.0	6.0	2.0
家事(パートタイム含む)	89	46	36	29	37	17	31	3	6
	100.0	51.7	40.4	32.6	41.6	19.1	34.8	3.4	6.7
無職	168	73	62	60	61	32	57	2	15
	100.0	43.5	36.9	35.7	36.3	19.0	33.9	1.2	8.9
その他	39	19	18	17	17	5	10	1	2
	100.0	48.7	46.2	43.6	43.6	12.8	25.6	2.6	5.1

問20 あなたは、現在の就労状況について、どのように感じていますか。(1つに○)

「将来が少し不安である」が 37.5%で最も高く、「将来がとても不安である」も 2 割を超えており、6 割以上の人々が就労状況に不安を感じています。

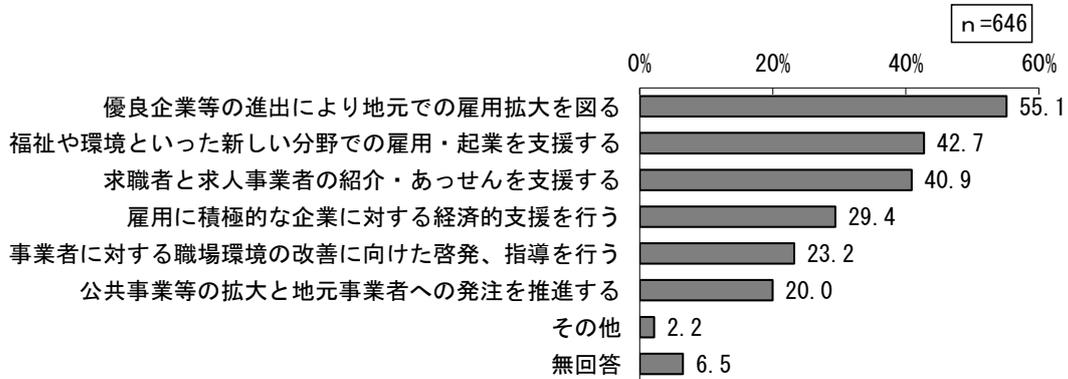


- 「将来が少し不安である」は若い年代ほど高く、10・20 歳代では半数近くとなっています。また、30 歳代、40 歳代では「将来がとても不安である」が 3 割を超えています。
- 50 歳代以上で「働きたいが、働くことができない」と回答した人は 1 割以上となっています。
- 「安心して働くことができている」は会社員・団体職員・公務員が 3 割以上と最も高くなっていますが、それでも 6 割以上は将来に不安を感じています。
- 商工・サービス・飲食・自由業従事者と学生においては、9 割近くが「(少し+とても) 不安である」と回答しています。

	合計	安心して働く ことができている	将来が少し不 安である	将来がとても 不安である	働きたいが、 働くことがで きない	働くつもりは ない	無回答
全体	646 100.0	85 13.2	242 37.5	155 24.0	63 9.8	56 8.7	45 7.0
男性	247 100.0	35 14.2	92 37.2	68 27.5	21 8.5	16 6.5	15 6.1
女性	390 100.0	49 12.6	148 37.9	82 21.0	42 10.8	40 10.3	29 7.4
10・20歳代	123 100.0	20 16.3	60 48.8	29 23.6	5 4.1	3 2.4	6 4.9
30歳代	119 100.0	18 15.1	51 42.9	39 32.8	7 5.9	0 0.0	4 3.4
40歳代	77 100.0	13 16.9	31 40.3	29 37.7	4 5.2	0 0.0	0 0.0
50歳代	84 100.0	18 21.4	31 36.9	15 17.9	13 15.5	4 4.8	3 3.6
60歳代	120 100.0	9 7.5	36 30.0	21 17.5	14 11.7	31 25.8	9 7.5
70歳以上	113 100.0	6 5.3	31 27.4	17 15.0	20 17.7	18 15.9	21 18.6
農林漁業	35 100.0	7 20.0	11 31.4	10 28.6	2 5.7	0 0.0	5 14.3
商工・サービス・ 飲食・自由業	70 100.0	3 4.3	37 52.9	24 34.3	3 4.3	0 0.0	3 4.3
会社員・団体職 員・公務員	181 100.0	56 30.9	75 41.4	43 23.8	1 0.6	0 0.0	6 3.3
学生	50 100.0	2 4.0	33 66.0	11 22.0	1 2.0	3 6.0	0 0.0
家事（パートタイ ム含む）	89 100.0	11 12.4	33 37.1	23 25.8	12 13.5	6 6.7	4 4.5
無職	168 100.0	1 0.6	38 22.6	20 11.9	38 22.6	47 28.0	24 14.3
その他	39 100.0	4 10.3	11 28.2	17 43.6	5 12.8	0 0.0	2 5.1

問21 市の雇用対策として、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「優良企業等の進出により、地元での雇用拡大を図る」が55.1%と最も高く、次いで「福祉や環境といった新しい分野での雇用・起業を支援する」(42.7%)、「求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する」(40.9%)と続いています。



○40歳代では、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が7割を超えています。

○会社員・団体職員・公務員のひと農林漁業従事者では、「優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る」が6割以上となり、家事従事者と商工・サービス・飲食・自由業従事者では、「求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する」の割合が他の職業と比べて高くなっています。

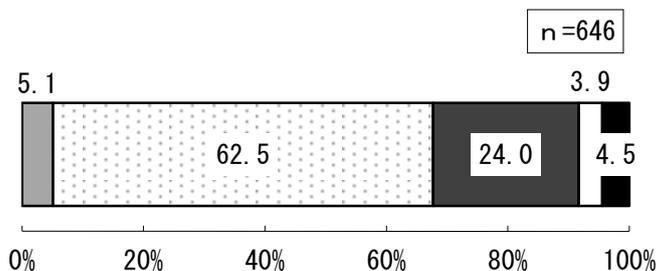
	合計	優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る	福祉や環境といった新しい分野での雇用・起業を支援する	公共事業等の拡大と地元事業者への発注を推進する	雇用に積極的な企業に対する経済的支援を行う	事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発、指導を行う	求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する	その他	無回答
全体	646	356	276	129	190	150	264	14	42
	100.0	55.1	42.7	20.0	29.4	23.2	40.9	2.2	6.5
男性	247	153	99	51	89	55	90	5	15
	100.0	61.9	40.1	20.6	36.0	22.3	36.4	2.0	6.1
女性	390	199	173	77	100	94	170	9	25
	100.0	51.0	44.4	19.7	25.6	24.1	43.6	2.3	6.4
10・20歳代	123	57	49	24	44	30	49	2	5
	100.0	46.3	39.8	19.5	35.8	24.4	39.8	1.6	4.1
30歳代	119	58	49	23	36	32	55	4	5
	100.0	48.7	41.2	19.3	30.3	26.9	46.2	3.4	4.2
40歳代	77	54	29	21	25	16	32	1	1
	100.0	70.1	37.7	27.3	32.5	20.8	41.6	1.3	1.3
50歳代	84	47	38	23	20	20	37	0	4
	100.0	56.0	45.2	27.4	23.8	23.8	44.0	0.0	4.8
60歳代	120	76	57	18	36	28	42	6	7
	100.0	63.3	47.5	15.0	30.0	23.3	35.0	5.0	5.8
70歳以上	113	60	50	19	28	23	45	1	17
	100.0	53.1	44.2	16.8	24.8	20.4	39.8	0.9	15.0
農林漁業	35	21	13	5	8	6	6	0	5
	100.0	60.0	37.1	14.3	22.9	17.1	17.1	0.0	14.3
商工・サービス・飲食・自由業	70	32	32	10	16	13	33	2	5
	100.0	45.7	45.7	14.3	22.9	18.6	47.1	2.9	7.1
会社員・団体職員・公務員	181	114	70	48	60	46	74	2	6
	100.0	63.0	38.7	26.5	33.1	25.4	40.9	1.1	3.3
学生	50	27	20	16	19	11	13	1	0
	100.0	54.0	40.0	32.0	38.0	22.0	26.0	2.0	0.0
家事(パートタイム含む)	89	48	38	13	23	20	43	2	6
	100.0	53.9	42.7	14.6	25.8	22.5	48.3	2.2	6.7
無職	168	88	77	29	51	42	70	4	16
	100.0	52.4	45.8	17.3	30.4	25.0	41.7	2.4	9.5
その他	39	19	19	5	9	11	18	3	2
	100.0	48.7	48.7	12.8	23.1	28.2	46.2	7.7	5.1

Ⅱ-4 生活環境について

問22 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。(1つに○)

「(とても+ある程度) 思う」と回答した人が 67.6%で、「(あまり+まったく) 思わない」(27.9%) と回答した人の割合を上回っています。

前回調査と比べて住み良い環境になっていると感じている様子がみられます。



□とても思う □ある程度思う ■あまり思わない □まったく思わない ■無回答

【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
とても思う	5.3	5.1	-0.2
ある程度思う	56.8	62.5	5.7
あまり思わない	31.1	24.0	-7.1
まったく思わない	4.1	3.9	-0.2

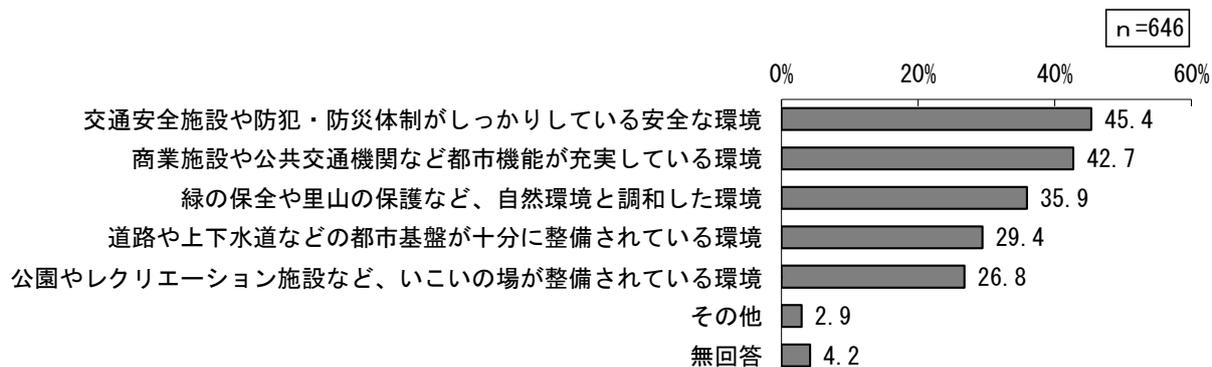
- 10・20歳代と60歳代では、「(とても+ある程度) 思う」人の割合が7割を超えています。また、中央地区、豊和地区、飯高地区、平和地区では7割超の人が、栄地区では9割近くの人が快適な住環境だと回答しています。
- 一方、共興地区では、他の地区と比べて快適な住環境だと思わない人の割合が高くなっています。

	合計	とても思う	ある程度思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
全体	646	33	404	155	25	29
	100.0	5.1	62.5	24.0	3.9	4.5
男性	247	14	141	73	7	12
	100.0	5.7	57.1	29.6	2.8	4.9
女性	390	19	257	80	18	16
	100.0	4.9	65.9	20.5	4.6	4.1
10・20歳代	123	8	82	22	5	6
	100.0	6.5	66.7	17.9	4.1	4.9
30歳代	119	7	71	31	8	2
	100.0	5.9	59.7	26.1	6.7	1.7
40歳代	77	1	47	25	3	1
	100.0	1.3	61.0	32.5	3.9	1.3
50歳代	84	4	49	23	5	3
	100.0	4.8	58.3	27.4	6.0	3.6
60歳代	120	7	81	28	0	4
	100.0	5.8	67.5	23.3	0.0	3.3
70歳以上	113	6	68	24	4	11
	100.0	5.3	60.2	21.2	3.5	9.7

	合計	とても思う	ある程度思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
中央地区	113 100.0	2 1.8	82 72.6	21 18.6	4 3.5	4 3.5
豊栄地区	78 100.0	4 5.1	46 59.0	18 23.1	5 6.4	5 6.4
須賀地区	52 100.0	2 3.8	32 61.5	10 19.2	3 5.8	5 9.6
匠塚地区	55 100.0	3 5.5	29 52.7	18 32.7	3 5.5	2 3.6
豊和地区	43 100.0	2 4.7	29 67.4	10 23.3	1 2.3	1 2.3
吉田地区	14 100.0	1 7.1	7 50.0	5 35.7	0 0.0	1 7.1
飯高地区	18 100.0	1 5.6	12 66.7	4 22.2	1 5.6	0 0.0
共興地区	36 100.0	1 2.8	15 41.7	16 44.4	2 5.6	2 5.6
平和地区	65 100.0	3 4.6	45 69.2	11 16.9	5 7.7	1 1.5
樺海地区	66 100.0	5 7.6	41 62.1	16 24.2	1 1.5	3 4.5
野田地区	61 100.0	4 6.6	35 57.4	18 29.5	0 0.0	4 6.6
栄地区	33 100.0	5 15.2	24 72.7	4 12.1	0 0.0	0 0.0

問23 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。(2つまで○)

「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」の割合が45.4%で最も高く、次いで「商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境」(42.7%)、「緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境」(35.9%)、「道路や上下水道など都市基盤が十分に整備されている環境」(29.4%)と続いています。



○30歳代と50歳代では、「防犯体制の整備」の割合が、70歳以上は、「自然環境と調和した環境」の割合が過半数を占めています。

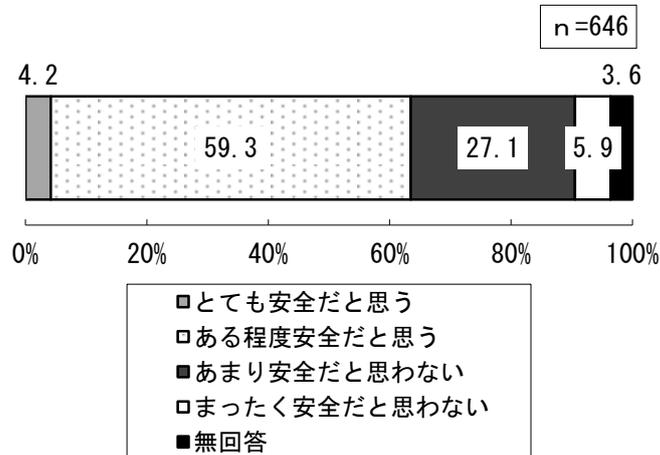
○豊栄地区では、「防犯体制の整備」の割合が6割を超え、他の地区より高くなっています。

○妊産婦や乳幼児がいる世帯では、「いきいのが整備」と「防犯体制の整備」の割合が、小・中学生の世帯では、「防犯体制の整備」の割合半数以上を占めています。

	合計	緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境	公園やレクリエーション施設など、いい場が整備されている環境	商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境	交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境	道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境	その他	無回答
全体	646 100.0	232 35.9	173 26.8	276 42.7	293 45.4	190 29.4	19 2.9	27 4.2
男性	247 100.0	82 33.2	63 25.5	103 41.7	98 39.7	87 35.2	9 3.6	15 6.1
女性	390 100.0	146 37.4	109 27.9	169 43.3	191 49.0	101 25.9	10 2.6	11 2.8
10・20歳代	123 100.0	37 30.1	33 26.8	61 49.6	57 46.3	34 27.6	3 2.4	5 4.1
30歳代	119 100.0	31 26.1	36 30.3	54 45.4	69 58.0	33 27.7	6 5.0	2 1.7
40歳代	77 100.0	17 22.1	23 29.9	38 49.4	36 46.8	29 37.7	2 2.6	3 3.9
50歳代	84 100.0	25 29.8	27 32.1	38 45.2	44 52.4	20 23.8	2 2.4	2 2.4
60歳代	120 100.0	56 46.7	25 20.8	47 39.2	49 40.8	38 31.7	4 3.3	5 4.2
70歳以上	113 100.0	62 54.9	28 24.8	34 30.1	34 30.1	34 30.1	2 1.8	8 7.1
中央地区	113 100.0	45 39.8	33 29.2	48 42.5	53 46.9	29 25.7	2 1.8	4 3.5
豊栄地区	78 100.0	21 26.9	17 21.8	31 39.7	47 60.3	21 26.9	1 1.3	5 6.4
須賀地区	52 100.0	13 25.0	13 25.0	17 32.7	23 44.2	20 38.5	2 3.8	3 5.8
匠瑳地区	55 100.0	20 36.4	15 27.3	22 40.0	23 41.8	16 29.1	1 1.8	5 9.1
豊和地区	43 100.0	19 44.2	11 25.6	22 51.2	18 41.9	12 27.9	0 0.0	1 2.3
吉田地区	14 100.0	5 35.7	2 14.3	7 50.0	7 50.0	4 28.6	1 7.1	0 0.0
飯高地区	18 100.0	7 38.9	6 33.3	9 50.0	7 38.9	6 33.3	0 0.0	0 0.0
共興地区	36 100.0	15 41.7	9 25.0	16 44.4	14 38.9	11 30.6	1 2.8	2 5.6
平和地区	65 100.0	24 36.9	15 23.1	28 43.1	29 44.6	22 33.8	4 6.2	1 1.5
椿海地区	66 100.0	22 33.3	22 33.3	33 50.0	25 37.9	19 28.8	3 4.5	2 3.0
野田地区	61 100.0	26 42.6	18 29.5	23 37.7	26 42.6	13 21.3	3 4.9	3 4.9
栄地区	33 100.0	10 30.3	10 30.3	14 42.4	15 45.5	15 45.5	1 3.0	0 0.0
妊産婦・乳幼児（小学校入学前）	64 100.0	12 18.8	32 50.0	27 42.2	33 51.6	17 26.6	5 7.8	1 1.6
小・中学生	110 100.0	32 29.1	45 40.9	41 37.3	57 51.8	24 21.8	4 3.6	4 3.6
介護を必要とする方（要介護認定者）	54 100.0	16 29.6	18 33.3	18 33.3	25 46.3	16 29.6	1 1.9	3 5.6
障がいのある方	62 100.0	22 35.5	19 30.6	27 43.5	28 45.2	16 25.8	0 0.0	4 6.5
いずれもない	393 100.0	155 39.4	83 21.1	178 45.3	175 44.5	123 31.3	10 2.5	13 3.3

問24 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思いますか。(1つに○)

「ある程度安全だと思う」と回答した人の割合が 59.3%で最も高く、「とても安全だと思う」(4.2%)と合わせると、6割以上の人々が“安全な地域だと思う”と回答しています。前回調査と比較すると、「安全だと思う」の割合がやや減少しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
とても安全だと思う	5.8	4.2	-1.6
ある程度安全だと思う	60.7	59.3	-1.4
あまり安全だと思わない	26.5	27.1	0.6
まったく安全だと思わない	4.7	5.9	1.2

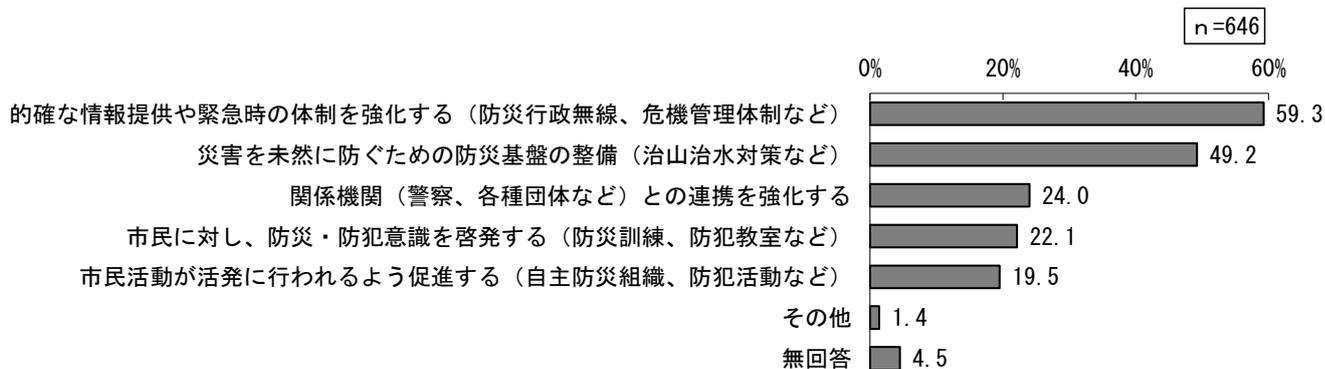
○中央地区では、「(とても+ある程度)安全だと思う」人の割合は8割を超える一方、共興地区と栄地区は4割以下となり、地域により差がみられます。また、吉田地区では「まったく安全だと思わない」が2割を超えています。

	合計	とても安全だ と思う	ある程度安全 だと思う	あまり安全だ と思わない	まったく安全 だと思わない	無回答
全体	646 100.0	27 4.2	383 59.3	175 27.1	38 5.9	23 3.6
男性	247 100.0	7 2.8	140 56.7	72 29.1	17 6.9	11 4.5
女性	390 100.0	20 5.1	237 60.8	101 25.9	21 5.4	11 2.8
10・20歳代	123 100.0	3 2.4	63 51.2	40 32.5	11 8.9	6 4.9
30歳代	119 100.0	5 4.2	69 58.0	38 31.9	5 4.2	2 1.7
40歳代	77 100.0	3 3.9	43 55.8	23 29.9	7 9.1	1 1.3
50歳代	84 100.0	3 3.6	51 60.7	21 25.0	7 8.3	2 2.4
60歳代	120 100.0	5 4.2	78 65.0	29 24.2	5 4.2	3 2.5
70歳以上	113 100.0	8 7.1	73 64.6	22 19.5	3 2.7	7 6.2

	合計	とても安全だ と思う	ある程度安全 だと思う	あまり安全だ と思わない	まったく安全 と思わない	無回答
中央地区	113 100.0	11 9.7	81 71.7	16 14.2	4 3.5	1 0.9
豊栄地区	78 100.0	2 2.6	50 64.1	17 21.8	4 5.1	5 6.4
須賀地区	52 100.0	3 5.8	33 63.5	12 23.1	2 3.8	2 3.8
匠磋地区	55 100.0	4 7.3	27 49.1	19 34.5	2 3.6	3 5.5
豊和地区	43 100.0	0 0.0	29 67.4	13 30.2	0 0.0	1 2.3
吉田地区	14 100.0	1 7.1	6 42.9	4 28.6	3 21.4	0 0.0
飯高地区	18 100.0	0 0.0	13 72.2	5 27.8	0 0.0	0 0.0
共興地区	36 100.0	0 0.0	14 38.9	14 38.9	6 16.7	2 5.6
平和地区	65 100.0	4 6.2	41 63.1	15 23.1	4 6.2	1 1.5
椿海地区	66 100.0	1 1.5	44 66.7	16 24.2	2 3.0	3 4.5
野田地区	61 100.0	1 1.6	25 41.0	25 41.0	6 9.8	4 6.6
栄地区	33 100.0	0 0.0	13 39.4	16 48.5	4 12.1	0 0.0

問25 市の安全なまちづくりへの取組みで、何が重要と考えますか。(2つまで○)

「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」が59.3%で過半数を占め、次いで「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」(49.2%)、「関係機関との連携を強化する」(24.0%)、「市民に対し、防災・防犯意識を啓発する」(22.1%)と続いています。



○30歳代から50歳代では「的確な情報提供や緊急時の体制強化」の割合が他の年代と比べて高くなっています。また、40歳代では「防災基盤の整備」が他の年代と比べて高くなっています。

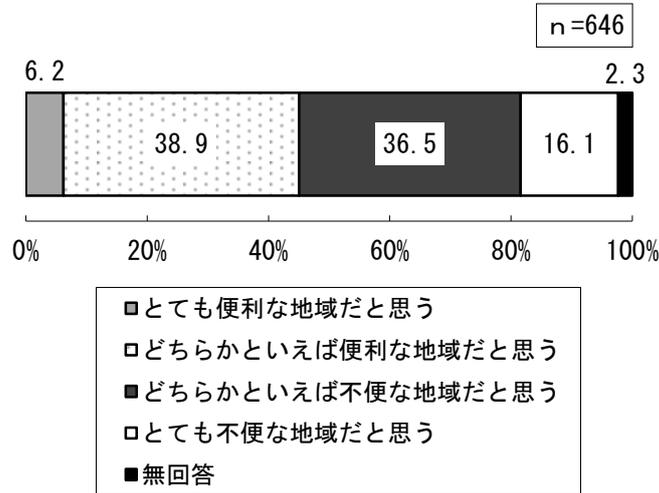
○吉田地区、飯高地区では「防災基盤の整備」の割合が6割を超え他の地区と比べて高くなっています。

○妊産婦・乳幼児のいる世帯では「的確な情報提供や緊急時の体制を強化する」の割合が7割近くとなっております。

	合計	災害を未然に防 ぐための防災基盤の整備 (治山治水対策など)	市民活動が活 発に行われるよう促進する (自主防災組織、防犯活動 など)	的確な情報提 供や緊急時の体制を強化す る(防災行政無線、危機管 理体制など)	市民に対し、 防災・防犯意 識を啓発する (防災訓練、 防犯教室な ど)	関係機関(警 察、各種団体 など)との連 携を強化する	その他	無回答
全体	646 100.0	318 49.2	126 19.5	383 59.3	143 22.1	155 24.0	9 1.4	29 4.5
男性	247 100.0	120 48.6	56 22.7	138 55.9	60 24.3	54 21.9	4 1.6	13 5.3
女性	390 100.0	196 50.3	69 17.7	238 61.0	81 20.8	97 24.9	5 1.3	15 3.8
10・20歳代	123 100.0	58 47.2	24 19.5	71 57.7	31 25.2	28 22.8	2 1.6	5 4.1
30歳代	119 100.0	55 46.2	25 21.0	79 66.4	33 27.7	29 24.4	1 0.8	3 2.5
40歳代	77 100.0	47 61.0	11 14.3	51 66.2	16 20.8	15 19.5	1 1.3	1 1.3
50歳代	84 100.0	40 47.6	16 19.0	52 61.9	17 20.2	19 22.6	1 1.2	3 3.6
60歳代	120 100.0	63 52.5	23 19.2	69 57.5	23 19.2	30 25.0	3 2.5	4 3.3
70歳以上	113 100.0	53 46.9	26 23.0	54 47.8	21 18.6	30 26.5	1 0.9	11 9.7
中央地区	113 100.0	51 45.1	26 23.0	72 63.7	26 23.0	27 23.9	2 1.8	4 3.5
豊栄地区	78 100.0	37 47.4	14 17.9	45 57.7	12 15.4	20 25.6	2 2.6	5 6.4
須賀地区	52 100.0	21 40.4	11 21.2	30 57.7	13 25.0	13 25.0	0 0.0	4 7.7
匠塙地区	55 100.0	24 43.6	11 20.0	31 56.4	13 23.6	13 23.6	0 0.0	4 7.3
豊和地区	43 100.0	23 53.5	10 23.3	25 58.1	10 23.3	6 14.0	0 0.0	1 2.3
吉田地区	14 100.0	10 71.4	0 0.0	6 42.9	2 14.3	8 57.1	0 0.0	0 0.0
飯高地区	18 100.0	12 66.7	3 16.7	11 61.1	3 16.7	3 16.7	0 0.0	1 5.6
共興地区	36 100.0	18 50.0	9 25.0	21 58.3	8 22.2	6 16.7	1 2.8	1 2.8
平和地区	65 100.0	32 49.2	13 20.0	39 60.0	18 27.7	16 24.6	0 0.0	1 1.5
樺海地区	66 100.0	31 47.0	15 22.7	41 62.1	15 22.7	19 28.8	2 3.0	1 1.5
野田地区	61 100.0	36 59.0	8 13.1	34 55.7	11 18.0	11 18.0	1 1.6	6 9.8
栄地区	33 100.0	19 57.6	5 15.2	19 57.6	10 30.3	8 24.2	0 0.0	0 0.0
妊産婦・乳幼児(小 学校入学前)	64 100.0	34 53.1	13 20.3	43 67.2	16 25.0	17 26.6	0 0.0	2 3.1
小・中学生	110 100.0	50 45.5	20 18.2	70 63.6	30 27.3	28 25.5	1 0.9	3 2.7
介護を必要とする方 (要介護認定者)	54 100.0	33 61.1	7 13.0	31 57.4	13 24.1	8 14.8	0 0.0	3 5.6
障がいのある方	62 100.0	33 53.2	12 19.4	40 64.5	10 16.1	9 14.5	0 0.0	5 8.1
いずれもない	393 100.0	190 48.3	81 20.6	224 57.0	90 22.9	97 24.7	8 2.0	16 4.1

問26 あなたが住んでいる地区は、市内および周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか。(1つに○)

「どちらかといえば便利な地域だと思う」と回答した人の割合が 38.9%で最も高いものの、「とても不便な地域だと思う」と回答した人も 16.1%おり、便利な地域だと思う人より、不便な地域だと思う人の割合のほうが高くなっています。



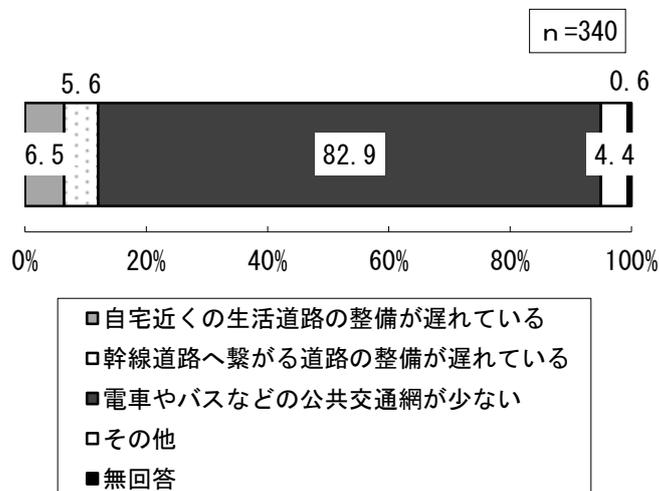
- 30歳代と40歳代では、「とても不便な地域だと思う」人の割合が他の年代と比べて高くなっています。
- 中央地区では「(とても+どちらかといえば) 便利な地域だと思う」人の割合が8割近くに達しているほか、豊栄地区、平和地区、椿海地区でも5割を超えています。
- 一方、吉田地区では「とても+どちらかといえば」不便な地域だと思う」人の割合が9割以上に達しており、飯高地区や共興地区でも8割以上となっています。

	合計	とても便利な地域だと思う	どちらかといえば便利な地域だと思う	どちらかといえば不便な地域だと思う	とても不便な地域だと思う	無回答
全体	646 100.0	40 6.2	251 38.9	236 36.5	104 16.1	15 2.3
男性	247 100.0	12 4.9	91 36.8	99 40.1	37 15.0	8 3.2
女性	390 100.0	28 7.2	153 39.2	136 34.9	66 16.9	7 1.8
10・20歳代	123 100.0	4 3.3	40 32.5	55 44.7	22 17.9	2 1.6
30歳代	119 100.0	9 7.6	46 38.7	36 30.3	27 22.7	1 0.8
40歳代	77 100.0	3 3.9	27 35.1	28 36.4	17 22.1	2 2.6
50歳代	84 100.0	7 8.3	38 45.2	26 31.0	11 13.1	2 2.4
60歳代	120 100.0	8 6.7	48 40.0	49 40.8	13 10.8	2 1.7
70歳以上	113 100.0	9 8.0	45 39.8	41 36.3	13 11.5	5 4.4

	合計	とても便利な地域だと思う	どちらかといえば便利な地域だと思う	どちらかといえば不便な地域だと思う	とても不便な地域だと思う	無回答
中央地区	113 100.0	21 18.6	67 59.3	18 15.9	6 5.3	1 0.9
豊栄地区	78 100.0	5 6.4	36 46.2	25 32.1	9 11.5	3 3.8
須賀地区	52 100.0	1 1.9	23 44.2	17 32.7	8 15.4	3 5.8
匠瑛地区	55 100.0	3 5.5	17 30.9	21 38.2	10 18.2	4 7.3
豊和地区	43 100.0	0 0.0	11 25.6	22 51.2	9 20.9	1 2.3
吉田地区	14 100.0	0 0.0	1 7.1	9 64.3	4 28.6	0 0.0
飯高地区	18 100.0	0 0.0	1 5.6	9 50.0	7 38.9	1 5.6
共興地区	36 100.0	1 2.8	4 11.1	16 44.4	15 41.7	0 0.0
平和地区	65 100.0	4 6.2	30 46.2	26 40.0	5 7.7	0 0.0
椿海地区	66 100.0	4 6.1	33 50.0	24 36.4	4 6.1	1 1.5
野田地区	61 100.0	0 0.0	12 19.7	31 50.8	17 27.9	1 1.6
栄地区	33 100.0	1 3.0	8 24.2	15 45.5	9 27.3	0 0.0

問 26-1 何が最も不便だと感じますか。(1つに○)

「電車やバスなどの公共交通網が少ない」が82.9%と圧倒的多数となっています。

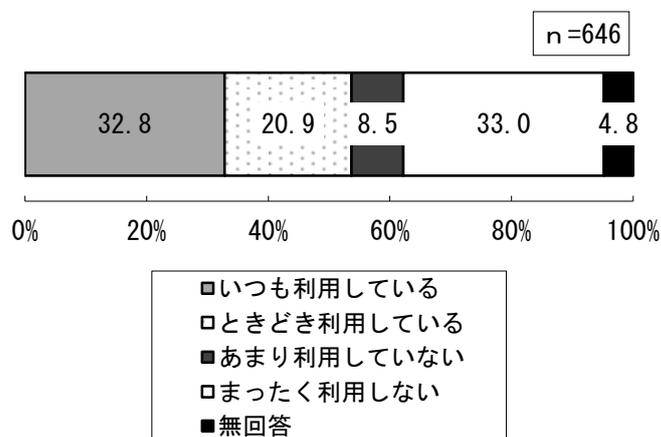


- 特に、中央地区、野田地区、豊栄地区、平和地区で「電車やバスなどの公共交通網が少ない」の割合が高くなっています。
- 吉田地区、須賀地区、椿海地区では「自宅近くの生活道路の整備が遅れている」の割合が1割超と、他の地区と比べて高くなっています。
- 共興地区、飯高地区では、「幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている」の割合が1割超と、他の地区と比べて高くなっています。

	合計	自宅近くの生活道路の整備が遅れている	幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている	電車やバスなどの公共交通網が少ない	その他	無回答
全体	340 100.0	22 6.5	19 5.6	282 82.9	15 4.4	2 0.6
男性	136 100.0	15 11.0	9 6.6	106 77.9	4 2.9	2 1.5
女性	202 100.0	7 3.5	10 5.0	174 86.1	11 5.4	0 0.0
10・20歳代	77 100.0	1 1.3	6 7.8	68 88.3	2 2.6	0 0.0
30歳代	63 100.0	2 3.2	5 7.9	52 82.5	4 6.3	0 0.0
40歳代	45 100.0	3 6.7	3 6.7	38 84.4	1 2.2	0 0.0
50歳代	37 100.0	2 5.4	2 5.4	32 86.5	1 2.7	0 0.0
60歳代	62 100.0	10 16.1	2 3.2	49 79.0	0 0.0	1 1.6
70歳以上	54 100.0	4 7.4	1 1.9	41 75.9	7 13.0	1 1.9
中央地区	24 100.0	2 8.3	0 0.0	22 91.7	0 0.0	0 0.0
豊栄地区	34 100.0	1 2.9	3 8.8	30 88.2	0 0.0	0 0.0
須賀地区	25 100.0	3 12.0	1 4.0	19 76.0	2 8.0	0 0.0
匠瑳地区	31 100.0	3 9.7	1 3.2	25 80.6	1 3.2	1 3.2
豊和地区	31 100.0	3 9.7	0 0.0	25 80.6	3 9.7	0 0.0
吉田地区	13 100.0	2 15.4	0 0.0	11 84.6	0 0.0	0 0.0
飯高地区	16 100.0	0 0.0	2 12.5	13 81.3	1 6.3	0 0.0
共興地区	31 100.0	3 9.7	4 12.9	23 74.2	1 3.2	0 0.0
平和地区	31 100.0	1 3.2	1 3.2	27 87.1	1 3.2	1 3.2
椿海地区	28 100.0	3 10.7	2 7.1	20 71.4	3 10.7	0 0.0
野田地区	48 100.0	0 0.0	3 6.3	43 89.6	2 4.2	0 0.0
栄地区	24 100.0	1 4.2	2 8.3	20 83.3	1 4.2	0 0.0

問27 あなたは、インターネットを利用してホームページを見たり、メールのやりとりをしていますか。(1つに○)

「まったく利用しない」と回答した人の割合が 33.0%で最も高くなっていますが、「いつも利用している」人も 32.8%でほぼ同じ割合になっています。「(いつも+ときどき) 利用している」と回答した人は 53.7%で過半数となっています。

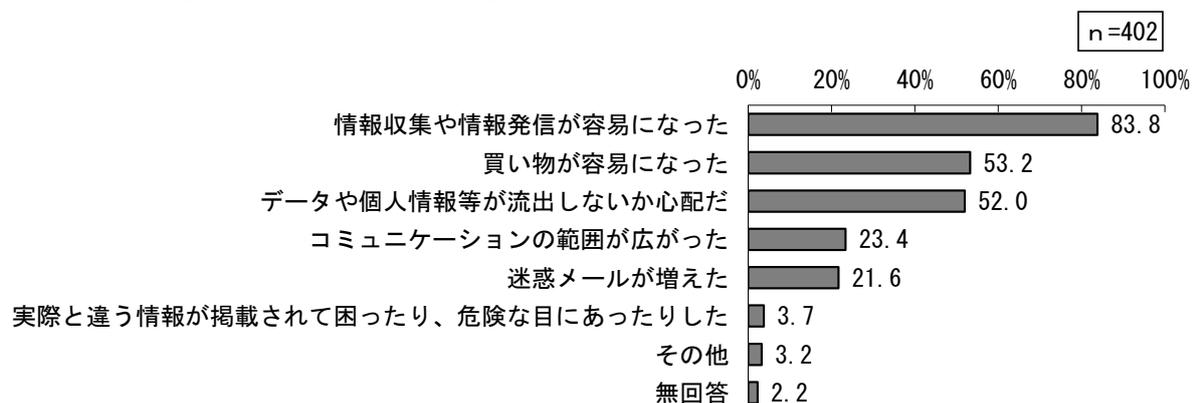


- 男性のほうが女性と比べて利用している人の割合が高くなっています。
- 若い年代ほど利用している人の割合が高く、30歳代以下では半数以上が「いつも利用している」と回答しています。
- 一方、70歳以上では「まったく利用しない」人の割合が約7割となっており、60歳代でも6割がまったく利用しないと回答しています。

	合計	いつも利用している	ときどき利用している	あまり利用していない	まったく利用しない	無回答
全体	646 100.0	212 32.8	135 20.9	55 8.5	213 33.0	31 4.8
男性	247 100.0	94 38.1	49 19.8	18 7.3	73 29.6	13 5.3
女性	390 100.0	118 30.3	83 21.3	36 9.2	135 34.6	18 4.6
10・20歳代	123 100.0	74 60.2	25 20.3	8 6.5	12 9.8	4 3.3
30歳代	119 100.0	60 50.4	35 29.4	8 6.7	13 10.9	3 2.5
40歳代	77 100.0	31 40.3	25 32.5	8 10.4	11 14.3	2 2.6
50歳代	84 100.0	28 33.3	23 27.4	6 7.1	21 25.0	6 7.1
60歳代	120 100.0	15 12.5	17 14.2	14 11.7	72 60.0	2 1.7
70歳以上	113 100.0	4 3.5	7 6.2	10 8.8	79 69.9	13 11.5

問 27-1 インターネットを利用して、どのように感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

「情報収集や情報発信が容易になった」(83.8%)や「買い物が容易になった」(53.2%)など肯定的な意見が多い一方、「データや個人情報等が流出しないか心配だ」と回答した人も半数以上となり、前回調査(38.5%)より大きく上昇しています。情報セキュリティに対する不安の高まりがみられます。



○50歳代以下では「情報収集や情報発信が容易になった」と回答した人が8割を越え、10・20歳代では9割以上が回答しています。

○40歳代以下では「データや個人情報等が流出しないか心配」している人が5割以上と高くなっています。

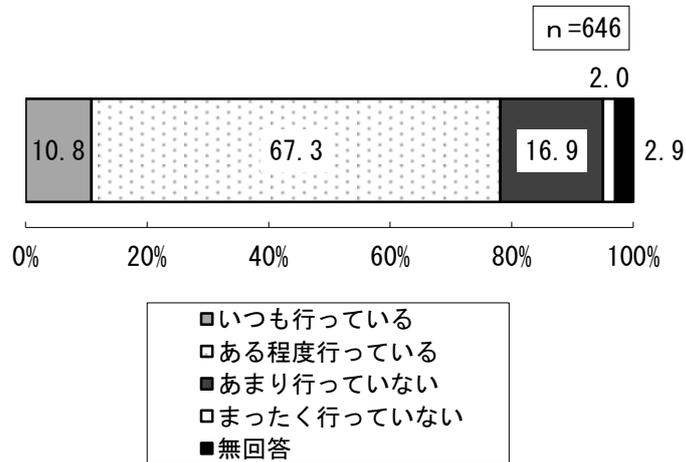
○10・20歳代では、「コミュニケーションの範囲が広がった」、30歳代では「買い物が容易になった」の割合が他の世代と比べて高くなっています。

	合計	情報収集や情報発信が容易になった	買い物が容易になった	コミュニケーションの範囲が広がった	迷惑メールが増えた	実際と違う情報が掲載されて困ったり、危険な目にあったりした	データや個人情報等が流出しないか心配だ	その他	無回答
全体	402 100.0	337 83.8	214 53.2	94 23.4	87 21.6	15 3.7	209 52.0	13 3.2	9 2.2
男性	161 100.0	137 85.1	86 53.4	39 24.2	39 24.2	7 4.3	74 46.0	5 3.1	3 1.9
女性	237 100.0	199 84.0	126 53.2	55 23.2	47 19.8	8 3.4	132 55.7	8 3.4	6 2.5
10・20歳代	107 100.0	97 90.7	63 58.9	38 35.5	28 26.2	6 5.6	55 51.4	4 3.7	1 0.9
30歳代	103 100.0	89 86.4	70 68.0	20 19.4	24 23.3	6 5.8	59 57.3	4 3.9	1 1.0
40歳代	64 100.0	55 85.9	38 59.4	15 23.4	15 23.4	1 1.6	37 57.8	2 3.1	0 0.0
50歳代	57 100.0	47 82.5	25 43.9	11 19.3	7 12.3	0 0.0	24 42.1	0 0.0	3 5.3
60歳代	46 100.0	36 78.3	8 17.4	7 15.2	8 17.4	2 4.3	22 47.8	3 6.5	1 2.2
70歳以上	21 100.0	12 57.1	8 38.1	3 14.3	4 19.0	0 0.0	9 42.9	0 0.0	3 14.3

問28 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。(1つに○)

「ある程度行っている」と回答した人の割合が67.3%で最も高く、6割以上を占めています。

前回調査と比較すると、「ある程度行っている」と回答した人の割合が増加し、「まったく行っていない」と回答した人の割合が減少しています。



【前回調査との比較】

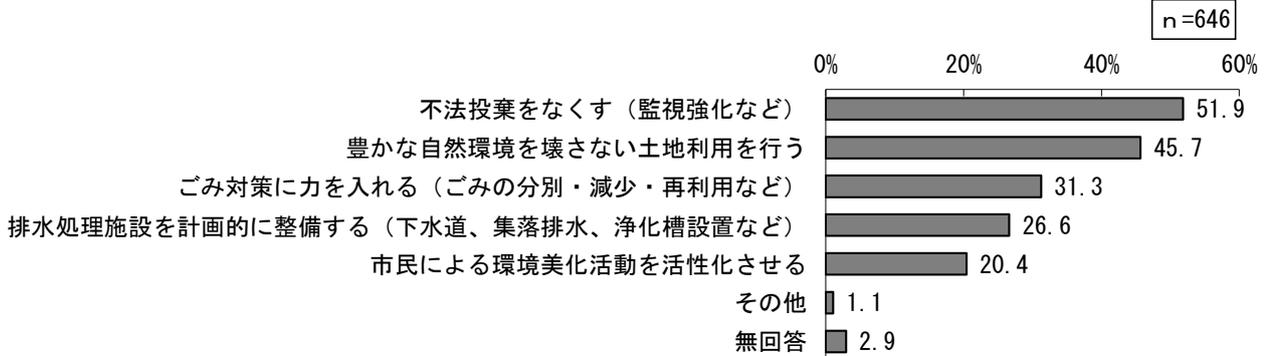
選択肢	前回	今回	変化
いつも行っている	10.2	10.8	0.6
ある程度行っている	64.1	67.3	3.2
あまり行っていない	16.8	16.9	0.1
まったく行っていない	4.5	2.0	-2.5

○総じて年代が若いほど「(いつも+ある程度) 行っている」人の割合は低いものの、年代に大きな傾向はみられず、60歳代が最も高く8割以上となっています。

	合計	いつも行っている	ある程度行っている	あまり行っていない	まったく行っていない	無回答
全体	646 100.0	70 10.8	435 67.3	109 16.9	13 2.0	19 2.9
男性	247 100.0	27 10.9	155 62.8	47 19.0	7 2.8	11 4.5
女性	390 100.0	42 10.8	274 70.3	60 15.4	6 1.5	8 2.1
10・20歳代	123 100.0	11 8.9	80 65.0	25 20.3	0 0.0	7 5.7
30歳代	119 100.0	5 4.2	82 68.9	26 21.8	5 4.2	1 0.8
40歳代	77 100.0	3 3.9	59 76.6	14 18.2	1 1.3	0 0.0
50歳代	84 100.0	8 9.5	56 66.7	15 17.9	2 2.4	3 3.6
60歳代	120 100.0	22 18.3	82 68.3	12 10.0	2 1.7	2 1.7
70歳以上	113 100.0	20 17.7	70 61.9	15 13.3	3 2.7	5 4.4

問29 市の自然環境保全への取組みで、何が重要と考えますか。(2つまで○)

「不法投棄をなくす」が51.9%で最も高く、次いで「豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う」(45.7%)、「ごみ対策に力を入れる」(31.3%)と続いています。



- 10・20歳代では、「豊かな自然環境を壊さない土地利用」と「不法投棄をなくす」で5割を超えています。
- 飯高地区、平和地区で「不法投棄をなくす」の割合が、栄地区では「豊かな自然環境を壊さない土地利用」の割合が比較的高く、6割を超えています。
- 吉田地区と椿海地区では「ごみ対策に力を入れる」の割合が、須賀地区では「排水処理施設を計画的に整備する」の割合が他の地区と比べて高くなっています。

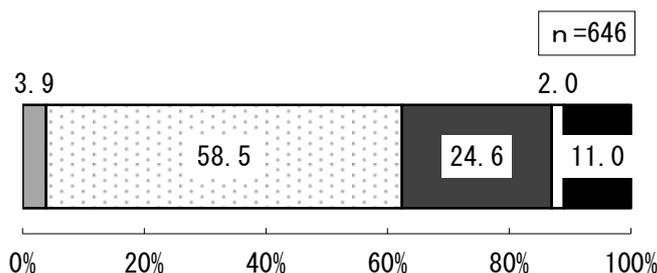
	合計	豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う	市民による環境美化活動を活性化させる	ごみ対策に力を入れる (ごみの分別・減少・再利用など)	不法投棄をなくす (監視強化など)	排水処理施設を計画的に整備する (下水道、集落排水、浄化槽設置など)	その他	無回答
全体	646	295	132	202	335	172	7	19
	100.0	45.7	20.4	31.3	51.9	26.6	1.1	2.9
男性	247	104	50	72	128	72	2	10
	100.0	42.1	20.2	29.1	51.8	29.1	0.8	4.0
女性	390	184	81	129	201	99	5	9
	100.0	47.2	20.8	33.1	51.5	25.4	1.3	2.3
10・20歳代	123	64	20	51	63	18	2	2
	100.0	52.0	16.3	41.5	51.2	14.6	1.6	1.6
30歳代	119	45	27	42	54	39	3	3
	100.0	37.8	22.7	35.3	45.4	32.8	2.5	2.5
40歳代	77	31	11	27	42	25	0	1
	100.0	40.3	14.3	35.1	54.5	32.5	0.0	1.3
50歳代	84	41	16	24	41	26	0	3
	100.0	48.8	19.0	28.6	48.8	31.0	0.0	3.6
60歳代	120	59	31	29	64	36	1	2
	100.0	49.2	25.8	24.2	53.3	30.0	0.8	1.7
70歳以上	113	48	26	28	65	27	1	7
	100.0	42.5	23.0	24.8	57.5	23.9	0.9	6.2
中央地区	113	57	27	34	53	37	0	1
	100.0	50.4	23.9	30.1	46.9	32.7	0.0	0.9
豊栄地区	78	32	14	27	42	21	0	2
	100.0	41.0	17.9	34.6	53.8	26.9	0.0	2.6
須賀地区	52	19	9	11	22	21	1	3
	100.0	36.5	17.3	21.2	42.3	40.4	1.9	5.8
匝瑳地区	55	21	7	16	32	12	1	6
	100.0	38.2	12.7	29.1	58.2	21.8	1.8	10.9
豊和地区	43	25	8	13	22	6	0	1
	100.0	58.1	18.6	30.2	51.2	14.0	0.0	2.3
吉田地区	14	6	1	6	7	5	0	0
	100.0	42.9	7.1	42.9	50.0	35.7	0.0	0.0
飯高地区	18	9	2	6	12	5	0	0
	100.0	50.0	11.1	33.3	66.7	27.8	0.0	0.0
共興地区	36	17	7	14	19	5	0	1
	100.0	47.2	19.4	38.9	52.8	13.9	0.0	2.8
平和地区	65	23	21	21	42	18	1	0
	100.0	35.4	32.3	32.3	64.6	27.7	1.5	0.0
椿海地区	66	24	13	27	37	14	3	2
	100.0	36.4	19.7	40.9	56.1	21.2	4.5	3.0
野田地区	61	33	13	18	24	18	1	3
	100.0	54.1	21.3	29.5	39.3	29.5	1.6	4.9
栄地区	33	20	8	8	15	9	0	0
	100.0	60.6	24.2	24.2	45.5	27.3	0.0	0.0

Ⅱ-5 教育・文化について

問30 あなたは、子どもの教育について、学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか。(1つに○)

「ある程度連携していると思う」と回答した人の割合が 58.5%で最も高く、「十分連携している」と合わせた6割以上の人々が“連携していると思う”と回答しています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



- 十分連携していると思う
- ある程度連携していると思う
- あまり連携していないと思う
- まったく連携していないと思う
- 無回答

【前回調査との比較】

選択肢	前回	今回	変化
十分連携していると思う	2.9	3.9	1.0
ある程度連携していると思う	59.5	58.5	-1.0
あまり連携していないと思う	23.9	24.6	0.7
まったく連携していないと思う	2.2	2.0	-0.2

○30歳代での「あまり連携していない」と思う人の割合が他の年代と比べてなっています。

○栄地区では、「ある程度連携している」と思う割合が8割を超え、他の地区と比べて高くなっています。

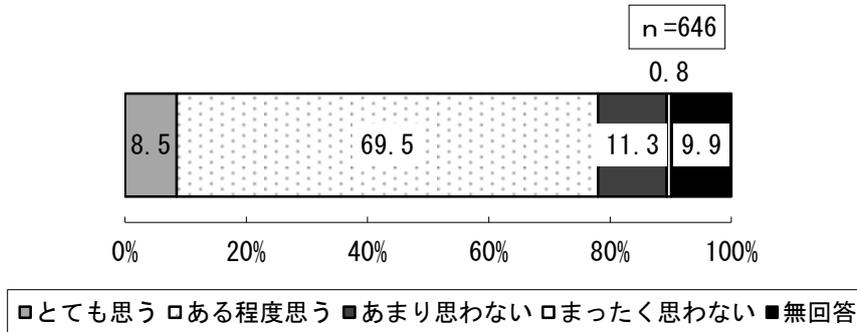
○匝瑳地区と飯高地区では「あまり連携していない」と思う人の割合が他の地区と比べて高くなっています。

	合計	十分連携していると思う	ある程度連携していると思う	あまり連携していないと思う	まったく連携していないと思う	無回答
全体	646 100.0	25 3.9	378 58.5	159 24.6	13 2.0	71 11.0
男性	247 100.0	9 3.6	133 53.8	76 30.8	6 2.4	23 9.3
女性	390 100.0	16 4.1	240 61.5	81 20.8	7 1.8	46 11.8

	合計	十分連携していると思う	ある程度連携していると思う	あまり連携していないと思う	まったく連携していないと思う	無回答
10・20歳代	123 100.0	5 4.1	81 65.9	29 23.6	3 2.4	5 4.1
30歳代	119 100.0	7 5.9	57 47.9	46 38.7	3 2.5	6 5.0
40歳代	77 100.0	1 1.3	47 61.0	25 32.5	2 2.6	2 2.6
50歳代	84 100.0	1 1.2	49 58.3	20 23.8	2 2.4	12 14.3
60歳代	120 100.0	3 2.5	78 65.0	22 18.3	2 1.7	15 12.5
70歳以上	113 100.0	8 7.1	61 54.0	15 13.3	1 0.9	28 24.8
中央地区	113 100.0	3 2.7	75 66.4	21 18.6	3 2.7	11 9.7
豊栄地区	78 100.0	5 6.4	43 55.1	18 23.1	3 3.8	9 11.5
須賀地区	52 100.0	2 3.8	28 53.8	14 26.9	1 1.9	7 13.5
匝瑳地区	55 100.0	2 3.6	23 41.8	21 38.2	1 1.8	8 14.5
豊和地区	43 100.0	0 0.0	27 62.8	12 27.9	0 0.0	4 9.3
吉田地区	14 100.0	0 0.0	10 71.4	2 14.3	1 7.1	1 7.1
飯高地区	18 100.0	1 5.6	6 33.3	10 55.6	0 0.0	1 5.6
共興地区	36 100.0	1 2.8	27 75.0	5 13.9	0 0.0	3 8.3
平和地区	65 100.0	5 7.7	39 60.0	15 23.1	1 1.5	5 7.7
椿海地区	66 100.0	3 4.5	37 56.1	21 31.8	0 0.0	5 7.6
野田地区	61 100.0	1 1.6	30 49.2	17 27.9	1 1.6	12 19.7
栄地区	33 100.0	2 6.1	27 81.8	1 3.0	1 3.0	2 6.1

問31 学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっていると思いますか。(1つに○)

「ある程度思う」と回答した人の割合が 69.5%で、「とても思う」(8.5%) を合わせると 8 割近くの人が安心して学ぶことができる場になっていると思うと回答しています。



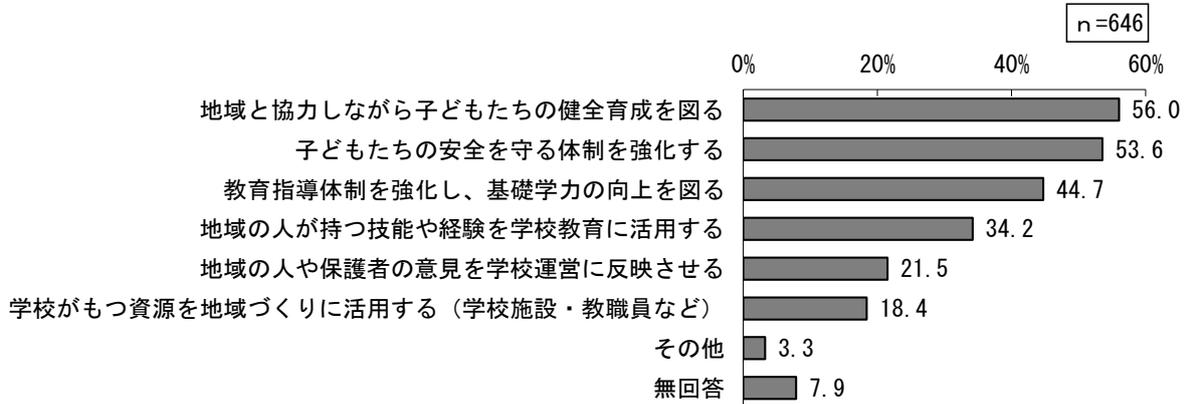
○特に 10・20 歳代と 40 歳代では、「(とても+ある程度) 思う」と回答した人の割合が高く、8 割を超えています。また、小・中学生がいる世帯では「とても思う」の割合が他の世帯と比べて高くなっています。

○一方、30 歳代および障がいがある方がいる世帯では、「(あまり+まったく) 思わない」と回答した人の割合が他の年代と比べて高く、2 割を超えています。

	合計	とても思う	ある程度思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
全体	646 100.0	55 8.5	449 69.5	73 11.3	5 0.8	64 9.9
男性	247 100.0	20 8.1	169 68.4	33 13.4	4 1.6	21 8.5
女性	390 100.0	35 9.0	275 70.5	38 9.7	1 0.3	41 10.5
10・20歳代	123 100.0	14 11.4	90 73.2	13 10.6	2 1.6	4 3.3
30歳代	119 100.0	9 7.6	80 67.2	23 19.3	2 1.7	5 4.2
40歳代	77 100.0	5 6.5	60 77.9	10 13.0	0 0.0	2 2.6
50歳代	84 100.0	5 6.0	58 69.0	8 9.5	1 1.2	12 14.3
60歳代	120 100.0	8 6.7	87 72.5	13 10.8	0 0.0	12 10.0
70歳以上	113 100.0	14 12.4	69 61.1	4 3.5	0 0.0	26 23.0
妊産婦・乳幼児(小学校入学前)	64 100.0	8 12.5	43 67.2	11 17.2	1 1.6	1 1.6
小・中学生	110 100.0	19 17.3	76 69.1	13 11.8	0 0.0	2 1.8
介護を必要とする方(要介護認定者)	54 100.0	2 3.7	40 74.1	6 11.1	0 0.0	6 11.1
障がいのある方	62 100.0	3 4.8	38 61.3	13 21.0	0 0.0	8 12.9
いずれもない	393 100.0	32 8.1	278 70.7	36 9.2	4 1.0	43 10.9

問32 小・中学校運営において、何が重要な取組みと考えますか。(3つまで○)

「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」が56.0%と最も高く、次いで「子どもたちの安全を守る体制を強化する」(53.6%)、「教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る」(44.7%)、「地域の人を持つ技能や経験を学校教育に活用する」(34.2%)と続いています。



○50歳代や60歳代では「地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

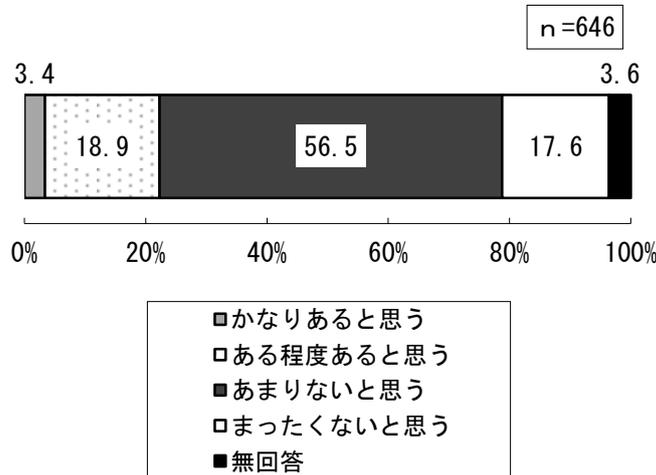
○妊産婦・乳幼児や小・中学生がいる世帯では、「子どもたちの安全を守る体制を強化する」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

	合計	地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る	地域の人や保護者の意見を学校運営に反映させる	学校がもつ資源を地域づくりに活用する (学校施設・教職員など)	地域の人を持つ技能や経験を学校教育に活用する	教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る	子どもたちの安全を守る体制を強化する	その他	無回答
全体	646 100.0	362 56.0	139 21.5	119 18.4	221 34.2	289 44.7	346 53.6	21 3.3	51 7.9
男性	247 100.0	134 54.3	64 25.9	43 17.4	89 36.0	110 44.5	124 50.2	13 5.3	18 7.3
女性	390 100.0	222 56.9	75 19.2	75 19.2	129 33.1	174 44.6	218 55.9	7 1.8	31 7.9
10・20歳代	123 100.0	66 53.7	23 18.7	31 25.2	49 39.8	51 41.5	69 56.1	3 2.4	3 2.4
30歳代	119 100.0	62 52.1	31 26.1	19 16.0	40 33.6	60 50.4	66 55.5	8 6.7	3 2.5
40歳代	77 100.0	38 49.4	17 22.1	12 15.6	30 39.0	40 51.9	45 58.4	5 6.5	2 2.6
50歳代	84 100.0	52 61.9	17 20.2	17 20.2	23 27.4	44 52.4	39 46.4	0 0.0	10 11.9
60歳代	120 100.0	73 60.8	27 22.5	26 21.7	42 35.0	47 39.2	69 57.5	3 2.5	7 5.8
70歳以上	113 100.0	65 57.5	24 21.2	13 11.5	34 30.1	42 37.2	54 47.8	1 0.9	23 20.4
妊産婦・乳幼児 (小学校入学前)	64 100.0	38 59.4	11 17.2	8 12.5	24 37.5	28 43.8	46 71.9	5 7.8	2 3.1
小・中学生	110 100.0	59 53.6	27 24.5	20 18.2	27 24.5	59 53.6	71 64.5	6 5.5	3 2.7
介護を必要とする方 (要介護認定者)	54 100.0	24 44.4	8 14.8	9 16.7	19 35.2	26 48.1	30 55.6	1 1.9	5 9.3
障がいのある方	62 100.0	27 43.5	17 27.4	9 14.5	22 35.5	32 51.6	33 53.2	1 1.6	6 9.7
いずれもない	393 100.0	230 58.5	88 22.4	78 19.8	139 35.4	166 42.2	199 50.6	9 2.3	33 8.4

問33 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか。(1つに○)

「あまりないと思う」と回答した人の割合が53.2%で最も高くなっています。「(かなり+ある程度) あると思う」と回答した人は21.6%となっています。

前回調査と比較すると、「あまりないと思う」の割合が増加しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前 回	今 回	変 化
かなりあると思う	3.1	3.4	0.3
ある程度あると思う	18.5	18.9	0.4
あまりないと思う	53.2	56.5	3.3
まったくないと思う	18.2	17.6	-0.6

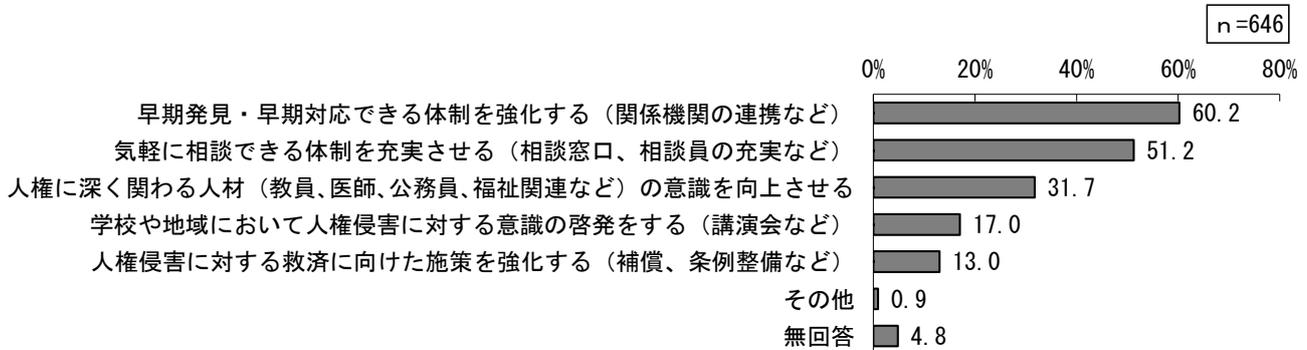
○10・20歳代の「(かなり+ある程度) あると思う」と回答した人の割合は3割を超え、他の年代と比べて高くなっています。

○70歳以上では、「まったくないと思う」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

	合計	かなりある と思う	ある程度あ ると思う	あまりない と思う	まったくな いと思う	無回答
全体	646 100.0	22 3.4	122 18.9	365 56.5	114 17.6	23 3.6
男性	247 100.0	13 5.3	47 19.0	138 55.9	37 15.0	12 4.9
女性	390 100.0	9 2.3	72 18.5	223 57.2	75 19.2	11 2.8
10・20歳代	123 100.0	8 6.5	30 24.4	65 52.8	18 14.6	2 1.6
30歳代	119 100.0	4 3.4	29 24.4	63 52.9	22 18.5	1 0.8
40歳代	77 100.0	5 6.5	15 19.5	45 58.4	12 15.6	0 0.0
50歳代	84 100.0	3 3.6	20 23.8	45 53.6	12 14.3	4 4.8
60歳代	120 100.0	2 1.7	17 14.2	78 65.0	20 16.7	3 2.5
70歳以上	113 100.0	0 0.0	8 7.1	65 57.5	28 24.8	12 10.6

問34 市の人権問題への取組みで、何が重要と考えますか。(2つまで○)

「早期発見・早期対応できる体制を強化する」が60.2%で最も高く、次いで「気軽に相談できる体制を充実させる」(51.2%)、「人権に深く関わる人材(教員、医師、公務員、福祉関連など)の意識を向上させる」(31.7%)、と続いています。



○10・20歳代では「早期発見・早期対応できる体制を強化する」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

○30歳代では「学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする」の割合が、40歳代では「人権に深く関わる人材(教員、医師、公務員、福祉関連など)の意識を向上させる」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

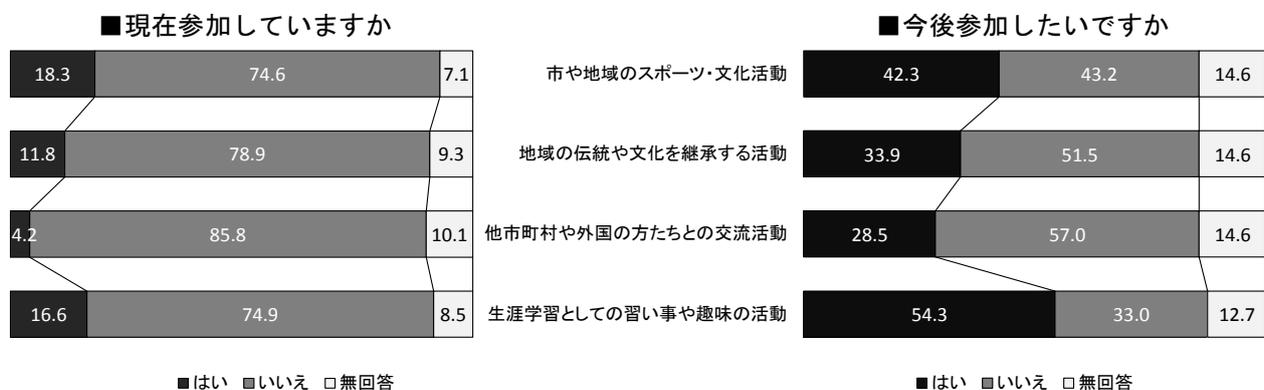
	合計	早期発見・早期対応できる体制を強化する(関係機関の連携など)	学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする(講演会など)	気軽に相談できる体制を充実させる(相談窓口、相談員の充実など)	人権に深く関わる人材(教員、医師、公務員、福祉関連など)の意識を向上させる	人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する(補償、条例整備など)	その他	無回答
全体	646 100.0	389 60.2	110 17.0	331 51.2	205 31.7	84 13.0	6 0.9	31 4.8
男性	247 100.0	145 58.7	48 19.4	125 50.6	68 27.5	42 17.0	3 1.2	13 5.3
女性	390 100.0	241 61.8	60 15.4	200 51.3	133 34.1	42 10.8	3 0.8	17 4.4
10・20歳代	123 100.0	82 66.7	19 15.4	65 52.8	35 28.5	23 18.7	2 1.6	1 0.8
30歳代	119 100.0	66 55.5	26 21.8	54 45.4	47 39.5	16 13.4	1 0.8	4 3.4
40歳代	77 100.0	49 63.6	13 16.9	35 45.5	33 42.9	15 19.5	1 1.3	1 1.3
50歳代	84 100.0	49 58.3	12 14.3	48 57.1	25 29.8	6 7.1	2 2.4	6 7.1
60歳代	120 100.0	74 61.7	23 19.2	59 49.2	41 34.2	17 14.2	0 0.0	5 4.2
70歳以上	113 100.0	66 58.4	15 13.3	64 56.6	20 17.7	7 6.2	0 0.0	12 10.6

問35 あなたは、次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか。
 (①～④の (1)、(2) について、それぞれ1つずつに○)

現在、参加している活動では、「市や地域のスポーツ・文化活動」に参加している人の割合が 18.3%で最も高く、次いで「生涯学習としての習い事や趣味の活動」(16.6%)、「地域の伝統や文化を継承する活動」(11.8%)、「他市町村や外国の方たちとの交流活動」(4.2%)と続いています。

今後、参加したい活動では、「生涯学習としての習い事や趣味の活動」が 54.3%で最も高く、次いで「市や地域のスポーツ・文化活動」(42.3%)、「地域の伝統や文化を継承する活動」(33.9%)、「他市町村や外国の方たちとの交流活動」(28.5%)と続いています。

前回調査と比較すると、現在参加している活動では、全体的に増加しています。今後参加したい活動では、「他市町村や外国の方たちとの交流活動」が増加しています。



【前回調査との比較】

■現在、参加している活動

選択肢	前回	今回	変化
市や地域のスポーツ・文化活動	16.0	18.3	2.3
地域の伝統や文化を継承する活動	11.2	11.8	0.6
他市町村や外国の方たちとの交流活動	3.9	4.2	0.3
生涯学習としての習い事や趣味の活動	14.6	16.6	2.0

■今後、参加したい活動

選択肢	前回	今回	変化
市や地域のスポーツ・文化活動	43.2	42.3	-0.9
地域の伝統や文化を継承する活動	33.3	33.9	0.6
他市町村や外国の方たちとの交流活動	25.7	28.5	2.8
生涯学習としての習い事や趣味の活動	54.4	54.3	-0.1

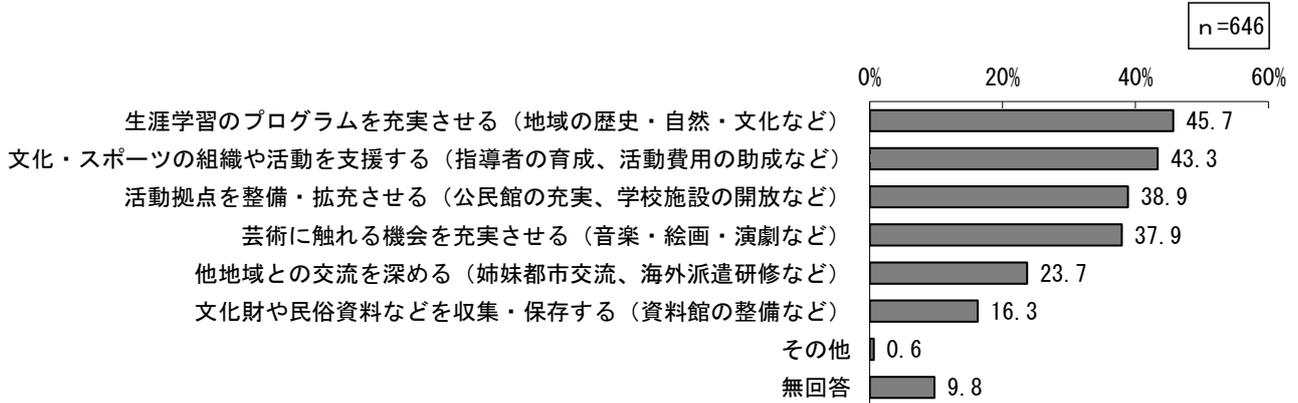
○特に30歳代や40歳代では「生涯学習としての習い事や趣味の活動」への参加意向が他の年代と比べて高くなっています。また、10・20歳代と30歳代で「市や地域のスポーツ・文化活動」、「地域の伝統や文化を継承する活動」、「他市町村や外国の方たちとの交流活動」などへの参加意向が他の年代と比べて高くなっています。

○豊和地区では、「市や地域のスポーツ・文化活動」、中央地区と飯高地区では、「地域の伝統や文化を継承する活動」、栄地区では「生涯学習としての習い事や趣味の活動」への参加割合が、他の地区と比べて高くなっています。

	【現在】					【今後】				
	合計	市や地域のスポーツ・文化活動	地域の伝統や文化を継承する活動	他市町村や外国の方たちとの交流活動	生涯学習としての習い事や趣味の活動	市や地域のスポーツ・文化活動	地域の伝統や文化を継承する活動	他市町村や外国の方たちとの交流活動	生涯学習としての習い事や趣味の活動	
全体	646 100.0	118 18.3	76 11.8	27 4.2	107 16.6	273 42.3	219 33.9	184 28.5	351 54.3	
男性	247 100.0	43 17.4	29 11.7	10 4.0	32 13.0	99 40.1	84 34.0	65 26.3	118 47.8	
女性	390 100.0	73 18.7	47 12.1	17 4.4	75 19.2	172 44.1	134 34.4	118 30.3	230 59.0	
10・20歳代	123 100.0	18 14.6	15 12.2	7 5.7	19 15.4	63 51.2	55 44.7	48 39.0	69 56.1	
30歳代	119 100.0	20 16.8	15 12.6	6 5.0	15 12.6	63 52.9	46 38.7	46 38.7	76 63.9	
40歳代	77 100.0	7 9.1	8 10.4	2 2.6	6 7.8	31 40.3	24 31.2	25 32.5	52 67.5	
50歳代	84 100.0	16 19.0	9 10.7	3 3.6	13 15.5	33 39.3	25 29.8	22 26.2	45 53.6	
60歳代	120 100.0	27 22.5	16 13.3	3 2.5	28 23.3	44 36.7	36 30.0	20 16.7	58 48.3	
70歳以上	113 100.0	28 24.8	13 11.5	6 5.3	26 23.0	37 32.7	32 28.3	22 19.5	48 42.5	
中央地区	113 100.0	23 20.4	25 22.1	7 6.2	24 21.2	48 42.5	49 43.4	34 30.1	62 54.9	
豊栄地区	78 100.0	13 16.7	4 5.1	2 2.6	16 20.5	34 43.6	20 25.6	21 26.9	53 67.9	
須賀地区	52 100.0	6 11.5	4 7.7	2 3.8	7 13.5	27 51.9	18 34.6	16 30.8	29 55.8	
匠瑳地区	55 100.0	11 20.0	4 7.3	1 1.8	7 12.7	16 29.1	11 20.0	14 25.5	19 34.5	
豊和地区	43 100.0	12 27.9	4 9.3	4 9.3	5 11.6	18 41.9	15 34.9	11 25.6	20 46.5	
吉田地区	14 100.0	3 21.4	2 14.3	0 0.0	1 7.1	8 57.1	8 57.1	5 35.7	8 57.1	
飯高地区	18 100.0	3 16.7	4 22.2	0 0.0	3 16.7	6 33.3	8 44.4	5 27.8	7 38.9	
共興地区	36 100.0	3 8.3	2 5.6	1 2.8	6 16.7	15 41.7	8 22.2	9 25.0	15 41.7	
平和地区	65 100.0	9 13.8	7 10.8	4 6.2	11 16.9	21 32.3	20 30.8	21 32.3	39 60.0	
椿海地区	66 100.0	9 13.6	6 9.1	2 3.0	5 7.6	29 43.9	21 31.8	19 28.8	36 54.5	
野田地区	61 100.0	15 24.6	7 11.5	3 4.9	12 19.7	29 47.5	20 32.8	19 31.1	36 59.0	
栄地区	33 100.0	7 21.2	6 18.2	1 3.0	8 24.2	18 54.5	19 57.6	8 24.2	22 66.7	

問36 市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

「生涯学習のプログラムを充実させる」が 45.7%で最も高くなっています。「文化・スポーツの組織や活動を支援する」(43.3%)、「活動拠点を整備・拡充させる」(38.9%)、「芸術に触れる機会を充実させる」(37.9%)についても4割前後と高くなっています。



○50歳代と60歳代で「生涯学習のプログラムを充実させる」の割合が高くなっています。

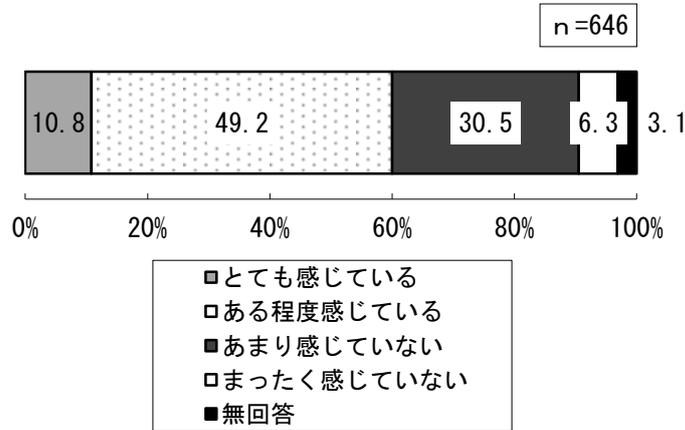
○10・20歳代では、「活動拠点を整備・拡充させる」の割合が、40歳代では「文化・スポーツの組織や活動を支援する」の割合が最も高くなっています。

	合計	生涯学習のプログラムを充実させる	芸術に触れる機会を充実させる	活動拠点を整備・拡充させる	文化財や民俗資料などを収集・保存する	他地域との交流を深める	文化・スポーツの組織や活動を支援する	その他	無回答
全体	646 100.0	295 45.7	245 37.9	251 38.9	105 16.3	153 23.7	280 43.3	4 0.6	63 9.8
男性	247 100.0	118 47.8	85 34.4	93 37.7	47 19.0	70 28.3	118 47.8	3 1.2	17 6.9
女性	390 100.0	171 43.8	158 40.5	155 39.7	56 14.4	82 21.0	159 40.8	1 0.3	45 11.5
10・20歳代	123 100.0	51 41.5	37 30.1	63 51.2	23 18.7	36 29.3	52 42.3	1 0.8	4 3.3
30歳代	119 100.0	56 47.1	46 38.7	45 37.8	16 13.4	34 28.6	61 51.3	0 0.0	4 3.4
40歳代	77 100.0	26 33.8	40 51.9	30 39.0	9 11.7	27 35.1	47 61.0	1 1.3	4 5.2
50歳代	84 100.0	43 51.2	29 34.5	33 39.3	11 13.1	18 21.4	38 45.2	1 1.2	9 10.7
60歳代	120 100.0	62 51.7	53 44.2	43 35.8	24 20.0	21 17.5	45 37.5	0 0.0	13 10.8
70歳以上	113 100.0	51 45.1	38 33.6	34 30.1	20 17.7	16 14.2	34 30.1	1 0.9	27 23.9
中央地区	113 100.0	49 43.4	39 34.5	41 36.3	23 20.4	23 20.4	46 40.7	0 0.0	13 11.5
豊栄地区	78 100.0	42 53.8	31 39.7	33 42.3	11 14.1	22 28.2	27 34.6	0 0.0	5 6.4
須賀地区	52 100.0	22 42.3	21 40.4	16 30.8	5 9.6	16 30.8	26 50.0	0 0.0	7 13.5
匠塚地区	55 100.0	21 38.2	19 34.5	23 41.8	9 16.4	13 23.6	24 43.6	1 1.8	6 10.9
豊和地区	43 100.0	15 34.9	18 41.9	21 48.8	9 20.9	12 27.9	16 37.2	0 0.0	5 11.6
吉田地区	14 100.0	7 50.0	8 57.1	6 42.9	1 7.1	1 7.1	9 64.3	0 0.0	1 7.1
飯高地区	18 100.0	13 72.2	7 38.9	8 44.4	5 27.8	2 11.1	8 44.4	0 0.0	5 5.6
共興地区	36 100.0	15 41.7	11 30.6	16 44.4	6 16.7	10 27.8	16 44.4	1 2.8	3 8.3
平和地区	65 100.0	31 47.7	26 40.0	26 40.0	13 20.0	16 24.6	30 46.2	2 3.1	5 7.7
檜海地区	66 100.0	25 37.9	24 36.4	31 47.0	10 15.2	20 30.3	29 43.9	0 0.0	4 6.1
野田地区	61 100.0	35 57.4	22 36.1	17 27.9	5 8.2	13 21.3	30 49.2	0 0.0	10 16.4
栄地区	33 100.0	12 36.4	16 48.5	10 30.3	6 18.2	3 9.1	15 45.5	0 0.0	1 3.0

問37 あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。(1つに○)

「ある程度感じている」と回答した人の割合が49.2%で最も高く、「とても感じている」(10.8%)と合わせると6割の人が愛着を感じていると回答しています。

前回調査と比較すると、「あまり感じていない」の割合が増加しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前 回	今 回	変 化
とても感じている	13.4	10.8	-2.6
ある程度感じている	48.9	49.2	0.3
あまり感じていない	26.5	30.5	4.0
まったく感じていない	6.6	6.3	-0.3

○30歳代と40歳代を除いたその他の世代では過半数以上が愛着を感じていると回答しています。特に60歳代以上では7割近くとなっています。

○中央地区、飯高地区では、愛着を感じている人の割合が他の地区と比べて高くなっています。

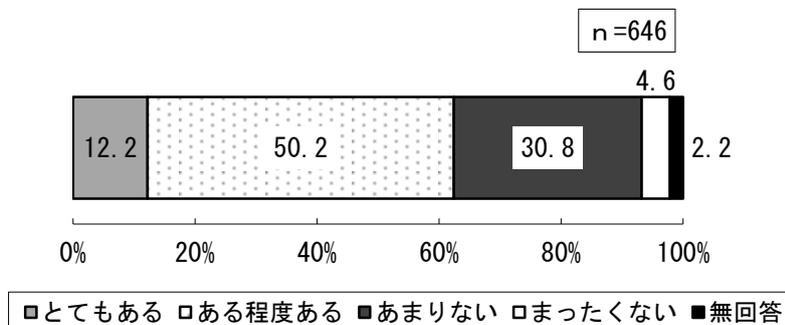
	合計	とても感じて いる	ある程度感じ ている	あまり感じて いない	まったく感じ ていない	無回答
全体	646 100.0	70 10.8	318 49.2	197 30.5	41 6.3	20 3.1
男性	247 100.0	30 12.1	123 49.8	72 29.1	17 6.9	5 2.0
女性	390 100.0	40 10.3	190 48.7	122 31.3	23 5.9	15 3.8
10・20歳代	123 100.0	21 17.1	52 42.3	40 32.5	9 7.3	1 0.8
30歳代	119 100.0	9 7.6	50 42.0	42 35.3	16 13.4	2 1.7
40歳代	77 100.0	3 3.9	34 44.2	33 42.9	5 6.5	2 2.6
50歳代	84 100.0	9 10.7	42 50.0	27 32.1	4 4.8	2 2.4
60歳代	120 100.0	12 10.0	73 60.8	28 23.3	3 2.5	4 3.3
70歳以上	113 100.0	16 14.2	62 54.9	24 21.2	3 2.7	8 7.1

	合計	とても感じて いる	ある程度感じ ている	あまり感じて いない	まったく感じ ていない	無回答
中央地区	113 100.0	22 19.5	57 50.4	28 24.8	5 4.4	1 0.9
豊栄地区	78 100.0	8 10.3	33 42.3	30 38.5	5 6.4	2 2.6
須賀地区	52 100.0	2 3.8	24 46.2	21 40.4	2 3.8	3 5.8
匝瑳地区	55 100.0	7 12.7	27 49.1	16 29.1	3 5.5	2 3.6
豊和地区	43 100.0	3 7.0	23 53.5	12 27.9	2 4.7	3 7.0
吉田地区	14 100.0	0 0.0	9 64.3	4 28.6	1 7.1	0 0.0
飯高地区	18 100.0	4 22.2	8 44.4	4 22.2	1 5.6	1 5.6
共興地区	36 100.0	3 8.3	15 41.7	15 41.7	2 5.6	1 2.8
平和地区	65 100.0	7 10.8	32 49.2	15 23.1	8 12.3	3 4.6
樺海地区	66 100.0	5 7.6	35 53.0	19 28.8	7 10.6	0 0.0
野田地区	61 100.0	4 6.6	32 52.5	18 29.5	3 4.9	4 6.6
栄地区	33 100.0	4 12.1	17 51.5	11 33.3	1 3.0	0 0.0

Ⅱ-6 行財政運営について

問38 あなたは、市の行財政運営に関心がありますか。(1つに○)

「ある程度ある」と回答した人の割合が50.2%で最も高く、「とてもある」(12.2%)と合わせると、6割以上の方が行財政運営に関心があると回答しています。



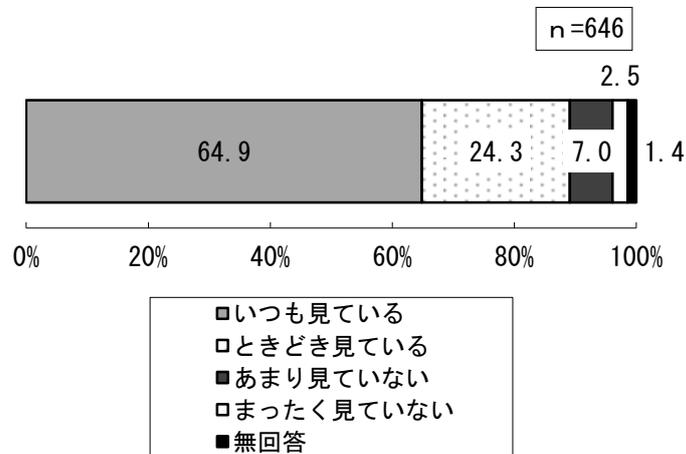
○男性のほうが女性と比べて関心がある人の割合が高くなっています。

○60歳代をピークに年代が下がるほど「(とても+ある程度)ある」人の割合は減少していきますが、10・20歳代でも半数以上が関心があると回答しています。

	合計	とてもある	ある程度ある	あまりない	まったくない	無回答
全体	646 100.0	79 12.2	324 50.2	199 30.8	30 4.6	14 2.2
男性	247 100.0	44 17.8	120 48.6	65 26.3	14 5.7	4 1.6
女性	390 100.0	35 9.0	198 50.8	132 33.8	16 4.1	9 2.3
10・20歳代	123 100.0	11 8.9	52 42.3	48 39.0	10 8.1	2 1.6
30歳代	119 100.0	12 10.1	55 46.2	38 31.9	12 10.1	2 1.7
40歳代	77 100.0	9 11.7	37 48.1	30 39.0	0 0.0	1 1.3
50歳代	84 100.0	10 11.9	45 53.6	25 29.8	2 2.4	2 2.4
60歳代	120 100.0	18 15.0	69 57.5	28 23.3	4 3.3	1 0.8
70歳以上	113 100.0	19 16.8	60 53.1	28 24.8	2 1.8	4 3.5

問39 あなたは、市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか。（1つに○）

「いつも見ている」と回答した人の割合が 64.9%で 6 割を超え、「ときどき見ている」と合わせると 9 割近くの人が“見ている”と回答しています。



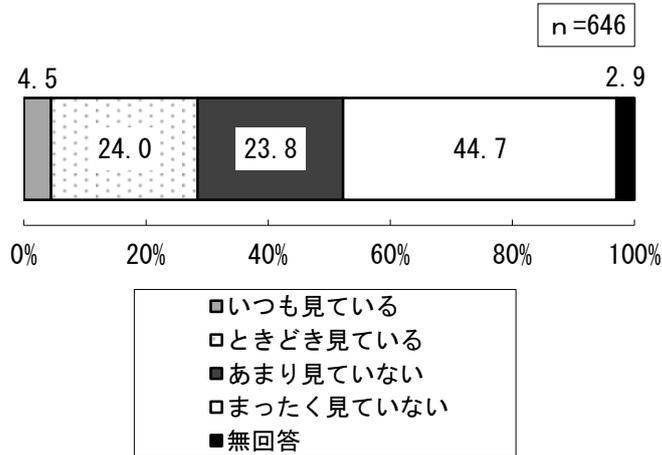
- 女性のほうが男性に比べて、「いつも見ている」人の割合が高くなっています。
- 年代が高いほど、「(いつも+ときどき) 見ている」人の割合は高い傾向にあり、50 歳代以上では 9 割以上が「(いつも+ときどき) 見ている」と回答しています。
- 10・20 歳代では、「いつも見ている」人は 4 割程度にとどまっていますが、「ときどき見ている」人の割合も 3 割を超えており、合わせて 8 割近くの人が広報を見えています。

	合計	いつも見ている	ときどき見ている	あまり見ていない	まったく見ていない	無回答
全体	646 100.0	419 64.9	157 24.3	45 7.0	16 2.5	9 1.4
男性	247 100.0	137 55.5	69 27.9	29 11.7	9 3.6	3 1.2
女性	390 100.0	277 71.0	85 21.8	15 3.8	7 1.8	6 1.5
10・20歳代	123 100.0	52 42.3	44 35.8	20 16.3	6 4.9	1 0.8
30歳代	119 100.0	68 57.1	36 30.3	8 6.7	5 4.2	2 1.7
40歳代	77 100.0	48 62.3	21 27.3	6 7.8	1 1.3	1 1.3
50歳代	84 100.0	69 82.1	12 14.3	1 1.2	1 1.2	1 1.2
60歳代	120 100.0	84 70.0	27 22.5	6 5.0	2 1.7	1 0.8
70歳以上	113 100.0	93 82.3	14 12.4	3 2.7	1 0.9	2 1.8

問40 あなたは、市のホームページを見たことがありますか。(1つに○)

「まったく見ていない」と回答した人の割合が44.7%で、4割以上を占め、「あまり見ていない」と合わせて7割近くが“見ていない”と回答しています。

前回調査と比較すると、「あまり見ていない」人の割合が増加し、「いつも見ている」と「まったく見ていない」人の割合が減少しています。



【前回調査との比較】

選択肢	前 回	今 回	変 化
いつも見ている	9.0	4.5	-4.5
ときどき見ている	21.1	24.0	2.9
あまり見ていない	16.4	23.8	7.4
まったく見ていない	49.8	44.7	-5.1

○60歳代以上では、「まったく見ていない」人の割合が5割以上と高くなっています。

○一方、30歳代から50歳代は、ときどき見ている割合が3割を超えており、他の年代と比較して高くなっています。

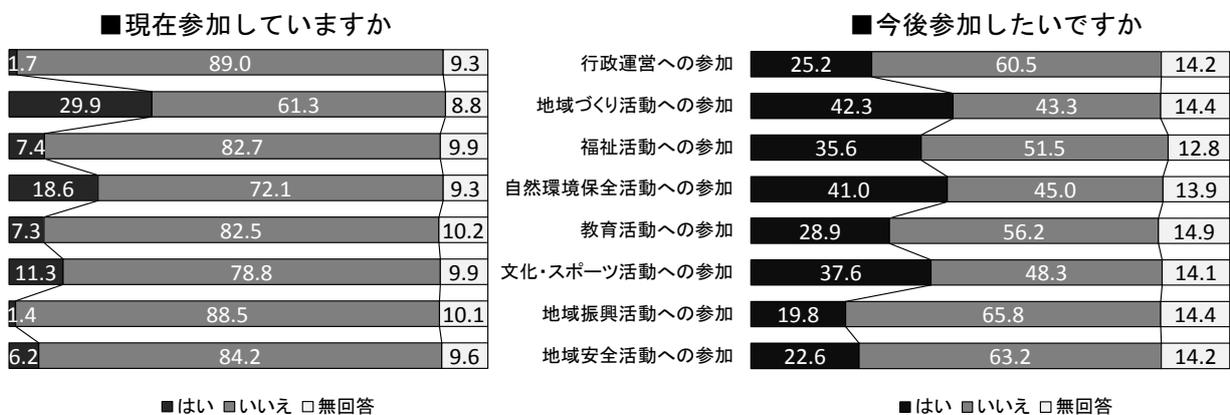
	合計	いつも見て いる	ときどき見 ている	あまり見て いない	まったく見 ていない	無回答
全体	646 100.0	29 4.5	155 24.0	154 23.8	289 44.7	19 2.9
男性	247 100.0	9 3.6	60 24.3	58 23.5	116 47.0	4 1.6
女性	390 100.0	19 4.9	95 24.4	95 24.4	166 42.6	15 3.8
10・20歳代	123 100.0	2 1.6	28 22.8	45 36.6	47 38.2	1 0.8
30歳代	119 100.0	8 6.7	41 34.5	30 25.2	38 31.9	2 1.7
40歳代	77 100.0	1 1.3	26 33.8	25 32.5	24 31.2	1 1.3
50歳代	84 100.0	3 3.6	31 36.9	14 16.7	35 41.7	1 1.2
60歳代	120 100.0	2 1.7	15 12.5	23 19.2	78 65.0	2 1.7
70歳以上	113 100.0	12 10.6	14 12.4	16 14.2	60 53.1	11 9.7

問41 あなたは、まちづくりや地域づくりに参加したいと思いますか。(①～⑧の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○)

現在、参加している活動では、「地域づくり活動」に参加している人の割合が 29.9%で最も高く、次いで「自然環境保全活動」(18.6%)、「文化・スポーツ活動」(11.3%)、「福祉活動」(7.4%)と続いています。

今後、参加したい活動では、「地域づくり活動」が 42.3%で最も高く、次いで「自然環境保全活動」(41.0%)、「文化・スポーツ活動」(37.6%)と続いています。

前回調査と比較すると、現在参加している活動と今後参加したい活動ともに、多くの活動で減少し、今後参加したい活動では、「地域づくり活動」と「文化・スポーツ活動」が増加しています。



【前回調査との比較】

■ 現在、参加している

選択肢	前回	今回	変化
行政運営	4.1	1.7	-2.4
地域づくり活動	32.6	29.9	-2.7
福祉活動	7.7	7.4	-0.3
自然環境保全活動	18.2	18.6	0.4
教育活動	8.6	7.3	-1.3
文化・スポーツ活動	11.2	11.3	0.1
地域振興活動	2.0	1.4	-0.6
地域安全活動	9.3	6.2	-3.1

■ 今後、参加したい

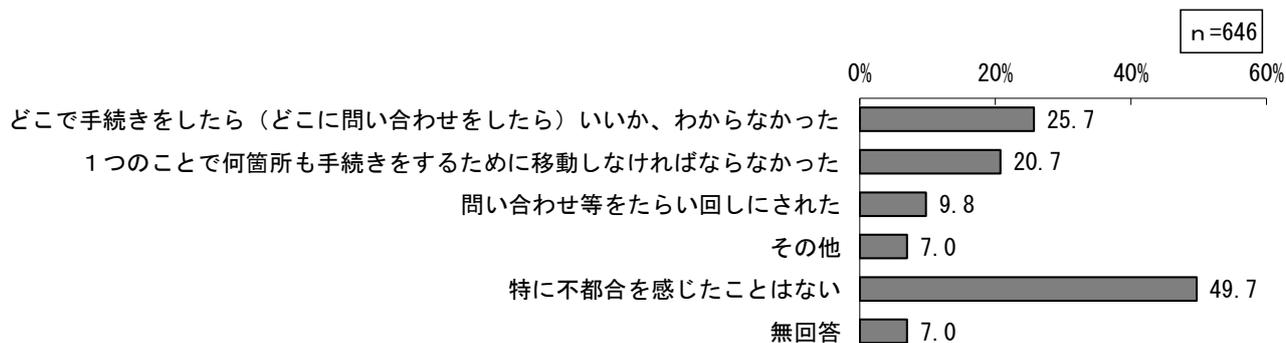
選択肢	前回	今回	変化
行政運営	28.1	25.2	-2.9
地域づくり活動	39.4	42.3	2.9
福祉活動	36.3	35.6	-0.7
自然環境保全活動	41.5	41.0	-0.5
教育活動	29.2	28.9	-0.3
文化・スポーツ活動	34.6	37.6	3.0
地域振興活動	23.9	19.8	-4.1
地域安全活動	22.9	22.6	-0.3

- 「福祉活動」「自然環境保全活動」「教育活動」「地域振興活動」では、女性の男性より参加している割合が高くなっています。
- 40歳代と60歳代で、現在「地域づくり活動」に参加している人の割合は4割を超えています。
- 吉田地区では各活動への参加および今後の参加意向の割合が、他の地区と比べて高くなっています。

	合計	現在								今後							
		行政運営	地域づくり活動	福祉活動	自然環境保全活動	教育活動	文化・スポーツ活動	地域振興活動	地域安全活動	行政運営	地域づくり活動	福祉活動	自然環境保全活動	教育活動	文化・スポーツ活動	地域振興活動	地域安全活動
全体	646 100.0	11 1.7	193 29.9	48 7.4	120 18.6	47 7.3	73 11.3	9 1.4	40 6.2	163 25.2	273 42.3	230 35.6	265 41.0	187 28.9	243 37.6	128 19.8	146 22.6
男性	247 100.0	5 2.0	79 32.0	9 3.6	39 15.8	11 4.5	30 12.1	3 1.2	26 10.5	62 25.1	103 41.7	71 28.7	95 38.5	60 24.3	91 36.8	48 19.4	71 28.7
女性	390 100.0	6 1.5	113 29.0	39 10.0	79 20.3	36 9.2	41 10.5	6 1.5	14 3.6	100 25.6	169 43.3	158 40.5	165 42.3	127 32.6	150 38.5	79 20.3	74 19.0
10・20歳代	123 100.0	1 0.8	14 11.4	5 4.1	10 8.1	3 2.4	15 12.2	1 0.8	2 1.6	32 26.0	51 41.5	51 41.5	55 44.7	46 37.4	57 46.3	37 30.1	35 28.5
30歳代	119 100.0	3 2.5	36 30.3	14 11.8	24 20.2	16 13.4	12 10.1	1 0.8	9 7.6	39 32.8	53 44.5	51 42.9	59 49.6	51 42.9	56 47.1	26 21.8	34 28.6
40歳代	77 100.0	1 1.3	32 41.6	4 5.2	20 26.0	9 11.7	7 9.1	2 2.6	6 7.8	20 26.0	35 45.5	22 28.6	32 41.6	25 32.5	30 39.0	13 16.9	12 15.6
50歳代	84 100.0	1 1.2	31 36.9	6 7.1	12 14.3	7 8.3	10 11.9	0 0.0	4 4.8	24 28.6	37 44.0	33 39.3	32 38.1	22 26.2	34 40.5	17 20.2	19 22.6
60歳代	120 100.0	2 1.7	49 40.8	8 6.7	30 25.0	4 3.3	16 13.3	0 0.0	15 12.5	23 19.2	52 43.3	39 32.5	50 41.7	26 21.7	39 32.5	18 15.0	25 20.8
70歳以上	113 100.0	3 2.7	30 26.5	11 9.7	22 19.5	8 7.1	11 9.7	5 4.4	4 3.5	24 21.2	44 38.9	33 29.2	32 28.3	17 15.0	25 22.1	16 14.2	20 17.7
中央地区	113 100.0	1 0.9	49 43.4	8 7.1	26 23.0	11 9.7	13 11.5	1 0.9	7 6.2	38 33.6	61 54.0	45 39.8	47 41.6	38 33.6	43 38.1	26 23.0	24 21.2
豊栄地区	78 100.0	1 1.3	22 28.2	6 7.7	11 14.1	6 7.7	7 9.0	3 3.8	7 9.0	19 24.4	36 46.2	31 39.7	30 38.5	28 35.9	29 37.2	11 14.1	22 28.2
須賀地区	52 100.0	4 7.7	16 30.8	3 5.8	9 17.3	4 7.7	3 5.8	0 0.0	3 5.8	14 26.9	24 46.2	19 36.5	20 38.5	11 21.2	20 38.5	12 23.1	15 28.8
匝瑳地区	55 100.0	0 0.0	9 16.4	4 7.3	7 12.7	2 3.6	8 14.5	0 0.0	0 0.0	8 14.5	15 27.3	15 27.3	18 32.7	8 14.5	12 21.8	3 5.5	5 9.1
豊和地区	43 100.0	1 2.3	9 20.9	2 4.7	9 20.9	1 2.3	7 16.3	2 4.7	5 11.6	11 25.6	18 41.9	12 27.9	15 34.9	13 30.2	16 37.2	9 20.9	10 23.3
吉田地区	14 100.0	1 7.1	7 50.0	3 21.4	4 28.6	1 7.1	3 21.4	0 0.0	2 14.3	6 42.9	10 71.4	7 50.0	9 64.3	6 42.9	8 57.1	3 21.4	4 28.6
飯高地区	18 100.0	0 0.0	6 33.3	1 5.6	2 11.1	1 5.6	2 11.1	0 0.0	3 16.7	3 16.7	11 61.1	6 33.3	7 38.9	7 38.9	10 55.6	6 33.3	6 33.3
共興地区	36 100.0	1 2.8	14 38.9	3 8.3	6 16.7	2 5.6	2 5.6	0 0.0	2 5.6	12 33.3	15 41.7	13 36.1	13 33.3	11 30.6	14 38.9	8 22.2	8 22.2
平和地区	65 100.0	2 3.1	13 20.0	4 6.2	13 20.0	8 12.3	5 7.7	2 3.1	3 4.6	18 27.7	18 27.7	23 35.4	29 44.6	14 21.5	23 35.4	17 26.2	15 23.1
樺海地区	66 100.0	0 0.0	23 34.8	8 12.1	10 15.2	3 4.5	4 6.1	1 1.5	3 4.5	14 21.2	29 43.9	25 37.9	30 45.5	22 33.3	23 34.8	13 19.7	12 18.2
野田地区	61 100.0	0 0.0	11 18.0	5 8.2	9 14.8	5 8.2	9 14.8	0 0.0	0 0.0	11 18.0	18 29.5	18 29.5	25 41.0	18 29.5	25 41.0	13 21.3	16 26.2
栄地区	33 100.0	0 0.0	12 36.4	1 3.0	11 33.3	2 6.1	8 24.2	0 0.0	4 12.1	7 21.2	16 48.5	13 39.4	17 51.5	10 30.3	17 51.5	5 15.2	7 21.2

問42 市の手続きや問合わせ等で不都合を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「特に不都合を感じたことはない」と回答した人の割合が49.7%と最も高くなっています。次いで「どこで手続きしたら（どこに問い合わせしたら）いいか、わからなかった」（25.7%）、「1つのことで何箇所も手続きするために移動しなければならなかった」（20.7%）、「問い合わせ等をたらい回しにされた」（9.8%）と続いています。

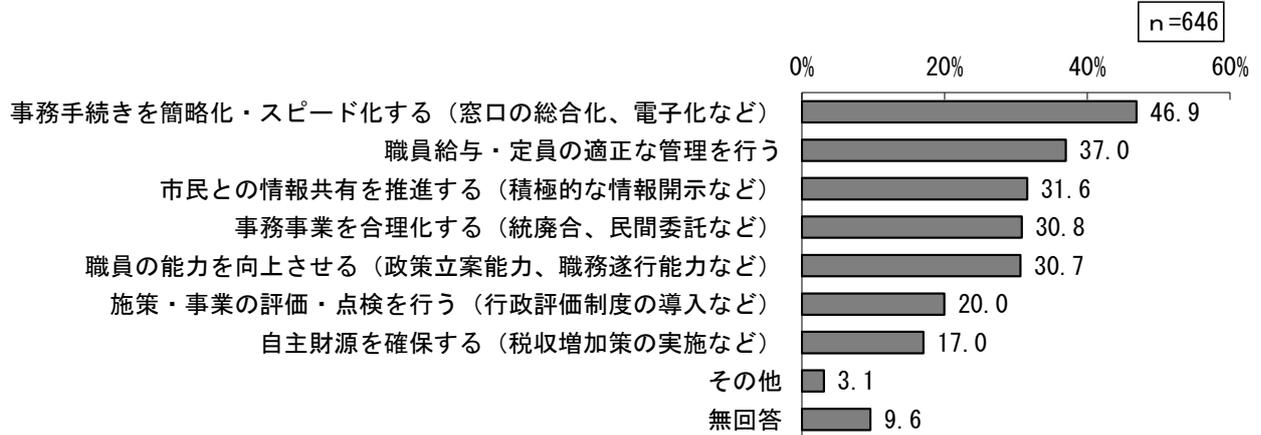


○年代が若いほど「どこで手続きをしたら（どこに問い合わせをしたら）いいか、わからなかった」の割合が高くなっています。

	合計	どこで手続きをしたら（どこに問い合わせをしたら）いいか、わからなかった	1つのことで何箇所も手続きをするために移動しなければならなかった	問い合わせ等をたらい回しにされた	その他	特に不都合を感じたことはない
全体	646 100.0	166 25.7	134 20.7	63 9.8	45 7.0	321 49.7
男性	247 100.0	59 23.9	52 21.1	27 10.9	18 7.3	125 50.6
女性	390 100.0	105 26.9	81 20.8	36 9.2	27 6.9	193 49.5
10・20歳代	123 100.0	49 39.8	23 18.7	15 12.2	9 7.3	61 49.6
30歳代	119 100.0	41 34.5	39 32.8	21 17.6	14 11.8	47 39.5
40歳代	77 100.0	23 29.9	19 24.7	6 7.8	6 7.8	34 44.2
50歳代	84 100.0	18 21.4	16 19.0	9 10.7	7 8.3	40 47.6
60歳代	120 100.0	21 17.5	23 19.2	7 5.8	7 5.8	63 52.5
70歳以上	113 100.0	12 10.6	13 11.5	5 4.4	2 1.8	73 64.6

問43 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組みで、何が重要と考えていますか。（3つまで○）

「事務手続きを簡略化・スピード化する」が46.9%で最も高く、次いで「職員給与・定員の適正な管理を行う」（37.0%）、「市民との情報共有を推進する」（31.6%）、「事務事業を合理化する」（30.8%）「職員の能力を向上させる」（30.7%）と続いています。



○10・20歳代では、「事務手続きの簡略化・スピード化」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

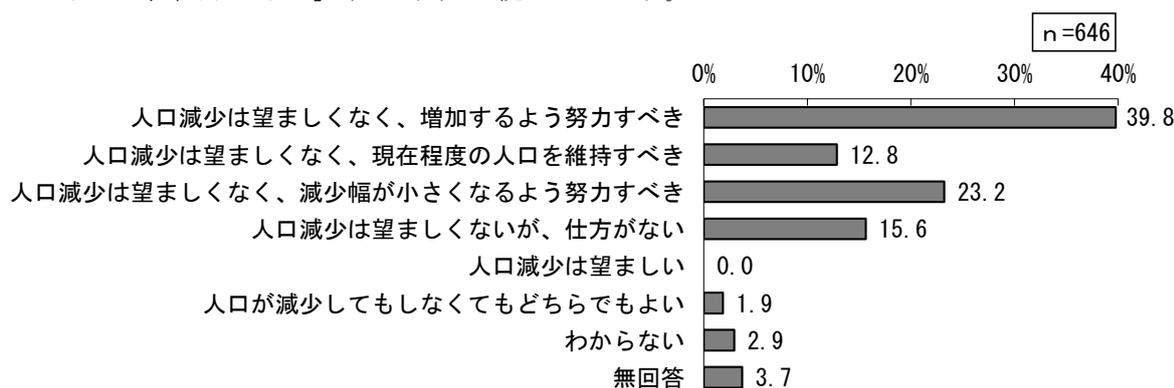
○30歳代では、「市民との情報共有を推進する」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

	合計	事務事業を合理化する	事務手続きを簡略化・スピード化する	施策・事業の評価・点検を行う	職員給与・定員の適正な管理を行う	職員の能力を向上させる	市民との情報共有を推進する	自主財源を確保する	その他	無回答
全体	646 100.0	199 30.8	303 46.9	129 20.0	239 37.0	198 30.7	204 31.6	110 17.0	20 3.1	62 9.6
男性	247 100.0	91 36.8	110 44.5	56 22.7	103 41.7	68 27.5	74 30.0	48 19.4	11 4.5	23 9.3
女性	390 100.0	106 27.2	190 48.7	71 18.2	134 34.4	127 32.6	127 32.6	62 15.9	9 2.3	37 9.5
10・20歳代	123 100.0	40 32.5	72 58.5	25 20.3	45 36.6	36 29.3	43 35.0	24 19.5	5 4.1	1 0.8
30歳代	119 100.0	31 26.1	58 48.7	23 19.3	37 31.1	42 35.3	52 43.7	29 24.4	7 5.9	6 5.0
40歳代	77 100.0	27 35.1	34 44.2	19 24.7	32 41.6	29 37.7	22 28.6	13 16.9	2 2.6	3 3.9
50歳代	84 100.0	29 34.5	37 44.0	17 20.2	32 38.1	27 32.1	26 31.0	13 15.5	1 1.2	7 8.3
60歳代	120 100.0	43 35.8	54 45.0	28 23.3	54 45.0	32 26.7	27 22.5	22 18.3	3 2.5	12 10.0
70歳以上	113 100.0	27 23.9	45 39.8	15 13.3	37 32.7	29 25.7	31 27.4	9 8.0	2 1.8	30 26.5

Ⅱ-7 人口減少対策について

問44 全国的に人口減少時代に突入した中、本市においても人口減少がさらに加速することが予想されています。あなたは、人口減少社会について、どのように考えていますか。(1つに○)

「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が 39.8%で最も多く、「人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき」(23.2%)、「人口減少は望ましくないが、仕方がない」(15.6%)と続いています。

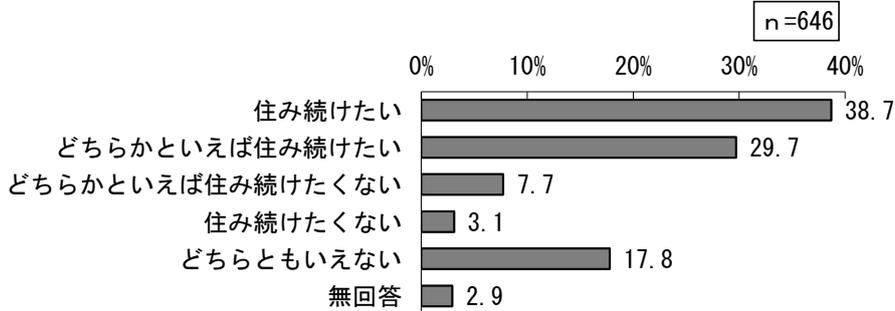


○どの年代も、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」の割合が高くなっています。

	合計	人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき	人口減少は望ましくなく、現在の人口を維持すべき	人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき	人口減少は望ましくなく、仕方がない	人口減少は望ましい	人口が減少してもしなくてもどちらでもよい	わからない	無回答
全体	646 100.0	257 39.8	83 12.8	150 23.2	101 15.6	0 0.0	12 1.9	19 2.9	24 3.7
男性	247 100.0	103 41.7	31 12.6	48 19.4	40 16.2	0 0.0	8 3.2	8 3.2	9 3.6
女性	390 100.0	151 38.7	49 12.6	102 26.2	60 15.4	0 0.0	4 1.0	11 2.8	13 3.3
10・20歳代	123 100.0	37 30.1	19 15.4	35 28.5	23 18.7	0 0.0	2 1.6	7 5.7	0 0.0
30歳代	119 100.0	54 45.4	13 10.9	22 18.5	21 17.6	0 0.0	2 1.7	4 3.4	3 2.5
40歳代	77 100.0	32 41.6	6 7.8	18 23.4	18 23.4	0 0.0	2 2.6	1 1.3	0 0.0
50歳代	84 100.0	36 42.9	9 10.7	21 25.0	14 16.7	0 0.0	0 0.0	1 1.2	3 3.6
60歳代	120 100.0	48 40.0	13 10.8	32 26.7	14 11.7	0 0.0	3 2.5	3 2.5	7 5.8
70歳以上	113 100.0	47 41.6	20 17.7	22 19.5	10 8.8	0 0.0	3 2.7	3 2.7	8 7.1

問45 あなたは、これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

「住み続けたい」が38.7%で、「どちらかといえば住み続けたい」と合わせた7割近くの人が“住み続けたい”と回答しています。

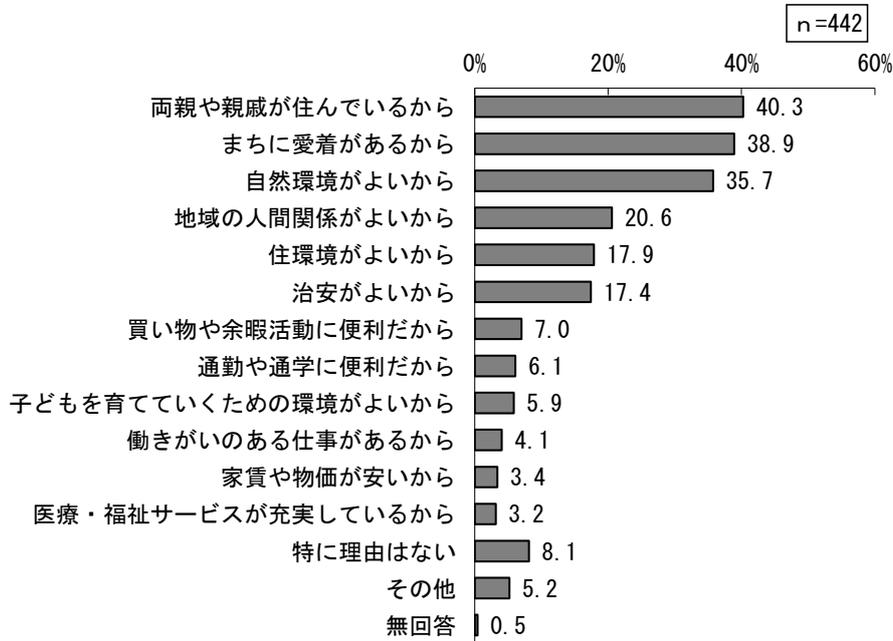


- 年代が高いほど、「住み続けたい」の割合が高くなっています。
- 40歳代以下では、「どちらかといえば住み続けたくない」「どちらともいえない」の割合が高くなっています。
- 栄地区では、「住み続けたい」の割合が、他の地区と比べて高くなっています。

	合計	住み続けたい	どちらかとい えば住み 続けたい	どちらかとい えば住み 続けたくない	住み続けた くない	どちらとも いえない	無回答
全体	646 100.0	250 38.7	192 29.7	50 7.7	20 3.1	115 17.8	19 2.9
男性	247 100.0	95 38.5	77 31.2	15 6.1	8 3.2	43 17.4	9 3.6
女性	390 100.0	152 39.0	113 29.0	35 9.0	12 3.1	70 17.9	8 2.1
10・20歳代	123 100.0	26 21.1	48 39.0	12 9.8	6 4.9	31 25.2	0 0.0
30歳代	119 100.0	34 28.6	39 32.8	12 10.1	4 3.4	27 22.7	3 2.5
40歳代	77 100.0	20 26.0	24 31.2	8 10.4	3 3.9	21 27.3	1 1.3
50歳代	84 100.0	36 42.9	28 33.3	5 6.0	4 4.8	8 9.5	3 3.6
60歳代	120 100.0	60 50.0	29 24.2	8 6.7	0 0.0	18 15.0	5 4.2
70歳以上	113 100.0	71 62.8	22 19.5	5 4.4	3 2.7	8 7.1	4 3.5
中央地区	113 100.0	50 44.2	36 31.9	7 6.2	6 5.3	11 9.7	3 2.7
豊栄地区	78 100.0	24 30.8	23 29.5	9 11.5	4 5.1	15 19.2	3 3.8
須賀地区	52 100.0	19 36.5	14 26.9	4 7.7	2 3.8	11 21.2	2 3.8
匝瑳地区	55 100.0	15 27.3	21 38.2	5 9.1	1 1.8	12 21.8	1 1.8
豊和地区	43 100.0	17 39.5	13 30.2	3 7.0	1 2.3	9 20.9	0 0.0
吉田地区	14 100.0	4 28.6	7 50.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0
飯高地区	18 100.0	7 38.9	6 33.3	1 5.6	0 0.0	3 16.7	1 5.6
共興地区	36 100.0	16 44.4	11 30.6	1 2.8	0 0.0	8 22.2	0 0.0
平和地区	65 100.0	24 36.9	17 26.2	6 9.2	1 1.5	14 21.5	3 4.6
椿海地区	66 100.0	22 33.3	20 30.3	4 6.1	1 1.5	16 24.2	3 4.5
野田地区	61 100.0	28 45.9	15 24.6	9 14.8	3 4.9	5 8.2	1 1.6
栄地区	33 100.0	20 60.6	6 18.2	1 3.0	1 3.0	5 15.2	0 0.0

問 45-1 問 45 で「1 住み続けたい」もしくは「2 どちらかといえば住み続けたい」に回答された方にお聞きします。その理由は何ですか。(3 つまで回答)

「両親や親戚が住んでいるから」が 40.3%で最も多く、「まちに愛着があるから」(38.9%)、「自然環境がよいから」(35.7%) と続いています。



○年代が若いほど、「まちに愛着があるから」と「両親や親戚が住んでいるから」の割合が高くなっています。

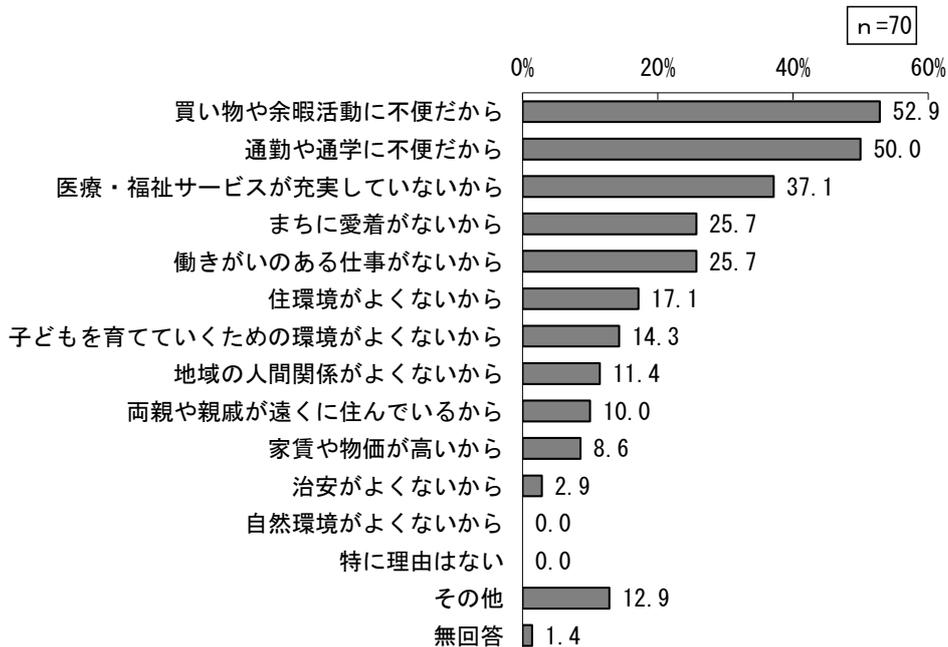
○栄地区では「まちに愛着があるから」と「両親や親戚が住んでいるから」の割合が、他の地区に比べて高くなっています。

	合計	自然環境がよいから	住環境がよいから	まちに愛着があるから	充実した医療・福祉サービスがあるから	子どもを育てていくための環境がよいから	治安がよいから	両親や親戚が住んでいるから	地域の人間関係がよいから	通勤や通学に便利だから	働きがいのある仕事があるから	利便性が高いから	買い物や余暇活動に便利だから	家賃や物価が安いから	特に理由はない	その他	無回答
全体	442	158	79	172	14	26	77	178	91	27	18	31	15	36	23	2	
	100.0	35.7	17.9	38.9	3.2	5.9	17.4	40.3	20.6	6.1	4.1	7.0	3.4	8.1	5.2	0.5	
男性	172	63	27	74	3	6	32	71	30	9	9	12	9	15	4	0	
	100.0	36.6	15.7	43.0	1.7	3.5	18.6	41.3	17.4	5.2	5.2	7.0	5.2	8.7	2.3	0.0	
女性	265	94	50	96	10	20	44	105	60	18	9	19	6	21	19	2	
	100.0	35.5	18.9	36.2	3.8	7.5	16.6	39.6	22.6	6.8	3.4	7.2	2.3	7.9	7.2	0.8	
10・20歳代	74	31	10	39	1	7	17	43	6	7	3	0	2	2	1	0	
	100.0	41.9	13.5	52.7	1.4	9.5	23.0	58.1	8.1	9.5	4.1	0.0	2.7	2.7	1.4	0.0	
30歳代	73	19	8	32	4	11	10	38	12	5	5	4	5	5	6	0	
	100.0	26.0	11.0	43.8	5.5	15.1	13.7	52.1	16.4	6.8	6.8	5.5	6.8	6.8	8.2	0.0	
40歳代	44	14	6	21	0	2	6	22	8	4	2	2	1	3	2	0	
	100.0	31.8	13.6	47.7	0.0	4.5	13.6	50.0	18.2	9.1	4.5	4.5	2.3	6.8	4.5	0.0	
50歳代	64	22	7	21	1	1	7	30	13	3	1	6	2	7	5	0	
	100.0	34.4	10.9	32.8	1.6	1.6	10.9	46.9	20.3	4.7	1.6	9.4	3.1	10.9	7.8	0.0	
60歳代	89	35	20	33	3	3	16	25	23	5	3	7	2	7	6	1	
	100.0	39.3	22.5	37.1	3.4	3.4	18.0	28.1	25.8	5.6	3.4	7.9	2.2	7.9	6.7	1.1	
70歳以上	93	36	26	24	4	2	20	18	28	3	4	12	3	12	3	1	
	100.0	38.7	28.0	25.8	4.3	2.2	21.5	19.4	30.1	3.2	4.3	12.9	3.2	12.9	3.2	1.1	

	合計	自然環境がよいから	住環境がよいから	まちに愛着があるから	医療・福祉サービスが充実しているから	子どもを育てていくための環境がよいから	治安がよいから	両親や親戚が住んでいるから	地域の人間関係がよいから	通勤や通学に便利だから	働きがいのある仕事があるから	買い物や余暇活動に便利だから	家賃や物価が安いから	特に理由はない	その他	無回答
中央地区	86 100.0	23 26.7	14 16.3	37 43.0	2 2.3	4 4.7	11 12.8	34 39.5	20 23.3	7 8.1	2 2.3	7 8.1	1 1.2	12 14.0	4 4.7	0 0.0
豊栄地区	47 100.0	22 46.8	10 21.3	16 34.0	0 0.0	0 0.0	8 17.0	19 40.4	8 17.0	4 8.5	2 4.3	4 8.5	0 0.0	4 8.5	1 2.1	0 0.0
須賀地区	33 100.0	9 27.3	8 24.2	9 27.3	4 12.1	4 12.1	6 18.2	11 33.3	7 21.2	0 0.0	1 3.0	6 18.2	1 3.0	1 3.0	3 9.1	0 0.0
匠瑳地区	36 100.0	17 47.2	9 25.0	12 33.3	3 8.3	3 8.3	9 25.0	14 38.9	5 13.9	2 5.6	1 2.8	2 5.6	4 11.1	5 13.9	3 8.3	0 0.0
豊和地区	30 100.0	13 43.3	6 20.0	12 40.0	0 0.0	1 3.3	6 20.0	9 30.0	7 23.3	0 0.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	2 6.7	2 6.7	0 0.0
吉田地区	11 100.0	3 27.3	1 9.1	3 27.3	0 0.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 81.8	3 27.3	1 9.1	0 0.0
飯高地区	13 100.0	7 53.8	1 7.7	4 30.8	0 0.0	1 7.7	3 23.1	5 38.5	3 23.1	0 0.0	2 15.4	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0
共興地区	27 100.0	8 29.6	4 14.8	8 29.6	0 0.0	0 0.0	4 14.8	11 40.7	5 18.5	1 3.7	2 7.4	1 3.7	2 7.4	11 40.7	3 11.1	0 0.0
平和地区	41 100.0	18 43.9	4 9.8	19 46.3	1 2.4	3 7.3	11 26.8	18 43.9	5 12.2	2 4.9	2 4.9	4 9.8	0 0.0	3 7.3	2 4.9	0 0.0
樺海地区	42 100.0	12 28.6	8 19.0	14 33.3	1 2.4	5 11.9	5 11.9	19 45.2	6 14.3	9 21.4	0 0.0	3 7.1	1 2.4	4 9.5	2 4.8	2 4.8
野田地区	43 100.0	17 39.5	9 20.9	19 44.2	1 2.3	1 2.3	8 18.6	18 41.9	12 27.9	2 4.7	3 7.0	3 7.0	2 4.7	3 7.0	2 4.7	0 0.0
栄地区	26 100.0	7 26.9	3 11.5	17 65.4	1 3.8	3 11.5	4 15.4	15 57.7	10 38.5	0 0.0	1 3.8	1 3.8	2 7.7	0 0.0	2 7.7	0 0.0

問 45-2 問 45 で「3 どちらかといえば住み続けたくない」もしくは「4 住み続けたくない」に回答された方にお聞きします。その理由は何ですか。（3 つまで回答）

「買い物や余暇活動に不便だから」が 52.9% で最も高く、「通勤や通学に不便だから」(50.0%)、「医療・福祉サービスが充実していないから」(37.1%) と続いています。



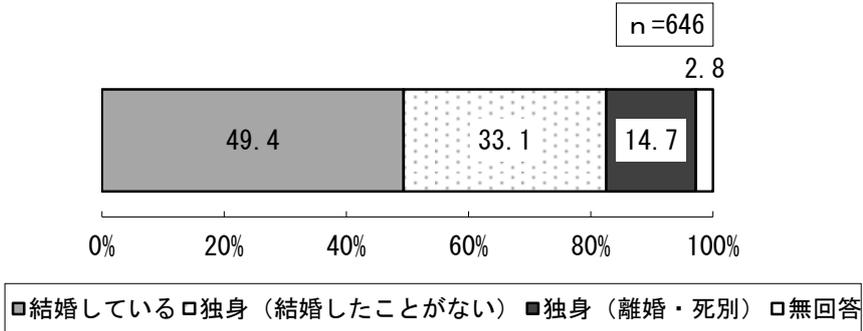
○30 歳代以下、50 歳代では「買い物や余暇活動に不便だから」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

○10・20 歳代では「通勤や通学に不便だから」の割合が、年代別の各種割合の中で最も高い値となっています。

	合計	自然環境がよくないから	住環境がよくないから	まちに愛着がないから	医療・福祉サービスが充実していないから	子どもを育てていくための環境がよくないから	治安がよくないから	両親や親戚が遠くに住んでいるから	地域の人間関係がよくないから	通勤や通学に不便だから	働きがいのある仕事がないから	買い物や余暇活動に不便だから	家賃や物価が高いから	特に理由はない	その他	無回答
全体	70 100.0	0 0.0	12 17.1	18 25.7	26 37.1	10 14.3	2 2.9	7 10.0	8 11.4	35 50.0	18 25.7	37 52.9	6 8.6	0 0.0	9 12.9	1 1.4
男性	23 100.0	0 0.0	5 21.7	7 30.4	6 26.1	3 13.0	1 4.3	2 8.7	4 17.4	13 56.5	7 30.4	11 47.8	4 17.4	0 0.0	1 4.3	1 4.3
女性	47 100.0	0 0.0	7 14.9	11 23.4	20 42.6	7 14.9	1 2.1	5 10.6	4 8.5	22 46.8	11 23.4	26 55.3	2 4.3	0 0.0	8 17.0	0 0.0
10・20歳代	18 100.0	0 0.0	3 16.7	1 5.6	3 16.7	4 22.2	2 11.1	0 0.0	2 11.1	14 77.8	6 33.3	11 61.1	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0
30歳代	16 100.0	0 0.0	2 12.5	5 31.3	8 50.0	3 18.8	0 0.0	2 12.5	1 6.3	8 50.0	1 6.3	11 68.8	2 12.5	0 0.0	3 18.8	0 0.0
40歳代	11 100.0	0 0.0	1 9.1	5 45.5	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	6 54.5	4 36.4	4 36.4	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0
50歳代	9 100.0	0 0.0	3 33.3	1 11.1	4 44.4	1 11.1	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	3 33.3	6 66.7	1 11.1	0 0.0	2 22.2	0 0.0
60歳代	8 100.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	4 50.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0
70歳以上	8 100.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5
中央地区	13 100.0	0 0.0	3 23.1	2 15.4	5 38.5	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7	6 46.2	2 15.4	8 61.5	1 7.7	0 0.0	2 15.4	0 0.0
豊栄地区	13 100.0	0 0.0	3 23.1	4 30.8	8 61.5	2 15.4	1 7.7	2 15.4	2 15.4	6 46.2	6 46.2	5 38.5	1 7.7	0 0.0	1 7.7	0 0.0
須賀地区	6 100.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
匠瑳地区	6 100.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
豊和地区	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
吉田地区	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
飯高地区	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
共興地区	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
平和地区	7 100.0	0 0.0	2 28.6	2 28.6	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	3 42.9	2 28.6	3 42.9	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0
椿海地区	5 100.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
野田地区	12 100.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	7 58.3	1 8.3	8 66.7	0 0.0	0 0.0	3 25.0	1 8.3
栄地区	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問46 あなたは、結婚していますか。(1つに○)

「結婚している」が49.4%で約半数となっています。



○女性の既婚者は過半数となっていますが、男性は4割となっています。

○10・20歳代の既婚者は1割以下ですが、30歳代以上の既婚者は過半数を超えています。

	合計	結婚している	独身 (結婚したことがない)	独身 (離婚・死別)	無回答
全体	646 100.0	319 49.4	214 33.1	95 14.7	18 2.8
男性	247 100.0	100 40.5	108 43.7	30 12.1	9 3.6
女性	390 100.0	214 54.9	104 26.7	65 16.7	7 1.8
10・20歳代	123 100.0	11 8.9	108 87.8	3 2.4	1 0.8
30歳代	119 100.0	71 59.7	37 31.1	8 6.7	3 2.5
40歳代	77 100.0	40 51.9	26 33.8	11 14.3	0 0.0
50歳代	84 100.0	47 56.0	20 23.8	14 16.7	3 3.6
60歳代	120 100.0	69 57.5	17 14.2	29 24.2	5 4.2
70歳以上	113 100.0	76 67.3	4 3.5	30 26.5	3 2.7
中央地区	113 100.0	56 49.6	35 31.0	19 16.8	3 2.7
豊栄地区	78 100.0	44 56.4	20 25.6	11 14.1	3 3.8
須賀地区	52 100.0	28 53.8	14 26.9	9 17.3	1 1.9
匠瑳地区	55 100.0	19 34.5	27 49.1	8 14.5	1 1.8
豊和地区	43 100.0	22 51.2	16 37.2	5 11.6	0 0.0
吉田地区	14 100.0	9 64.3	5 35.7	0 0.0	0 0.0
飯高地区	18 100.0	8 44.4	8 44.4	1 5.6	1 5.6
共興地区	36 100.0	18 50.0	12 33.3	6 16.7	0 0.0
平和地区	65 100.0	25 38.5	28 43.1	9 13.8	3 4.6
椿海地区	66 100.0	34 51.5	18 27.3	11 16.7	3 4.5
野田地区	61 100.0	29 47.5	21 34.4	10 16.4	1 1.6
栄地区	33 100.0	20 60.6	8 24.2	5 15.2	0 0.0

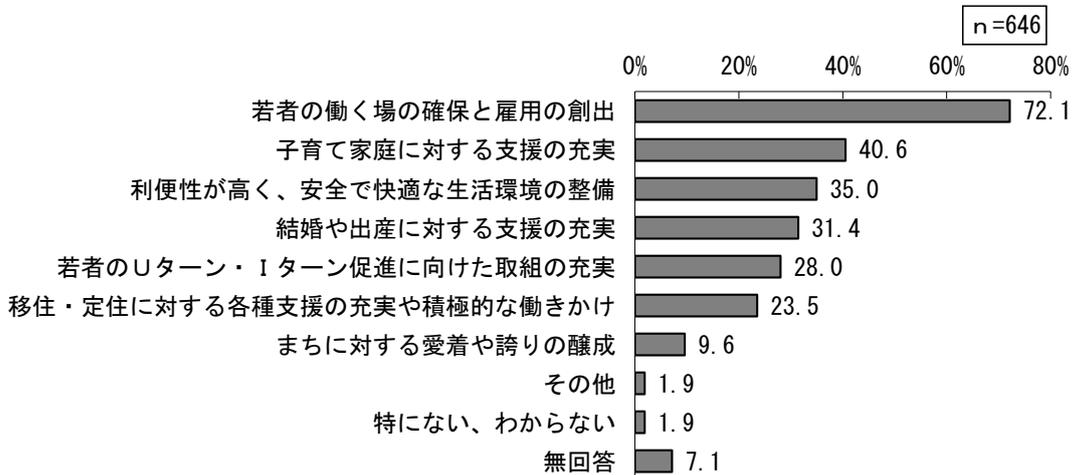
問47 (結婚している、していないにかかわらず) 10代から40代の方にお聞きします。子どもの数について(あてはまるものすべてに○)

理想の子どもの人数の平均は2.44人であるのに対し、現在の子どもの人数の平均は0.80人、今後持つつもりの子どもの人数は1.12人で、合わせて1.84人となっています。

n=319	①理想の子どもの人数	②現在の子どもの人数	③今後、持つつもりの子どもの人数	④2と3を合計した子どもの人数
平均	2.44人	0.80人	1.12人	1.84人
最大値	10.00人	4.00人	10.00人	11.00人
最小値	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
無回答	11人	28人	29人	16人

問48 人口減少に歯止めをかけるために、特に力を入れて取り組むべき施策は何だと思いますか。(3つまで○)

「若者の働く場の確保と雇用の創出」が72.1%で最も多く、「子育て家庭に対する支援の充実」(40.6%)、「利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備」(35.0%)が続いています。



○30歳代では、「子育て家庭に対する支援の充実」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

○どの年代も、「若者の働く場の確保と雇用の創出」の割合が、6割以上と高くなっています。

	合計	若者の働く場の確保と雇用の創出	生活環境が高く、安全で快適な整備	移住・定住や積極的な働きかけ	若者のUターン・Iターン促進	結婚や出産に対する支援の充実	子育て家庭に対する支援の充実	まちに対する愛着や誇りの醸成	その他	特にない、わからない	無回答
全体	646 100.0	466 72.1	226 35.0	152 23.5	181 28.0	203 31.4	262 40.6	62 9.6	12 1.9	12 1.9	46 7.1
男性	247 100.0	175 70.9	81 32.8	55 22.3	64 25.9	88 35.6	107 43.3	27 10.9	6 2.4	6 2.4	16 6.5
女性	390 100.0	283 72.6	142 36.4	96 24.6	115 29.5	112 28.7	153 39.2	34 8.7	6 1.5	6 1.5	29 7.4
10・20歳代	123 100.0	85 69.1	54 43.9	30 24.4	38 30.9	49 39.8	56 45.5	14 11.4	3 2.4	4 3.3	1 0.8
30歳代	119 100.0	88 73.9	41 34.5	28 23.5	28 23.5	47 39.5	76 63.9	8 6.7	4 3.4	0 0.0	2 1.7
40歳代	77 100.0	55 71.4	29 37.7	19 24.7	22 28.6	27 35.1	30 39.0	7 9.1	2 2.6	2 2.6	2 2.6
50歳代	84 100.0	65 77.4	36 42.9	17 20.2	26 31.0	17 20.2	34 40.5	7 8.3	1 1.2	2 2.4	4 4.8
60歳代	120 100.0	92 76.7	40 33.3	33 27.5	37 30.8	32 26.7	47 39.2	17 14.2	1 0.8	0 0.0	8 6.7
70歳以上	113 100.0	73 64.6	23 20.4	24 21.2	28 24.8	28 24.8	17 15.0	8 7.1	1 0.9	4 3.5	27 23.9

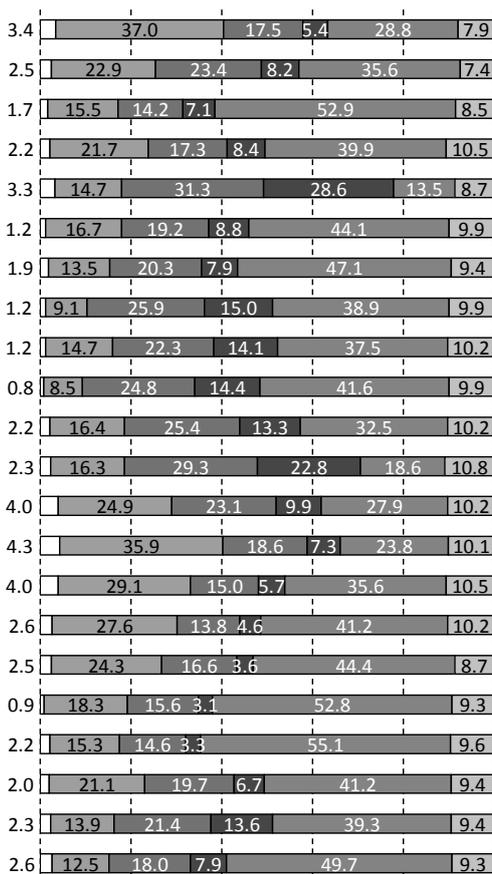
Ⅱ-8 まちづくりの評価について

問49 以下の項目は、匝瑳市総合計画中期基本計画で掲げている基本施策です。それぞれの施策について、あなたの満足度および重要度をお聞かせ下さい。(1~22の①満足度および②重要度、それぞれ1つずつに○)

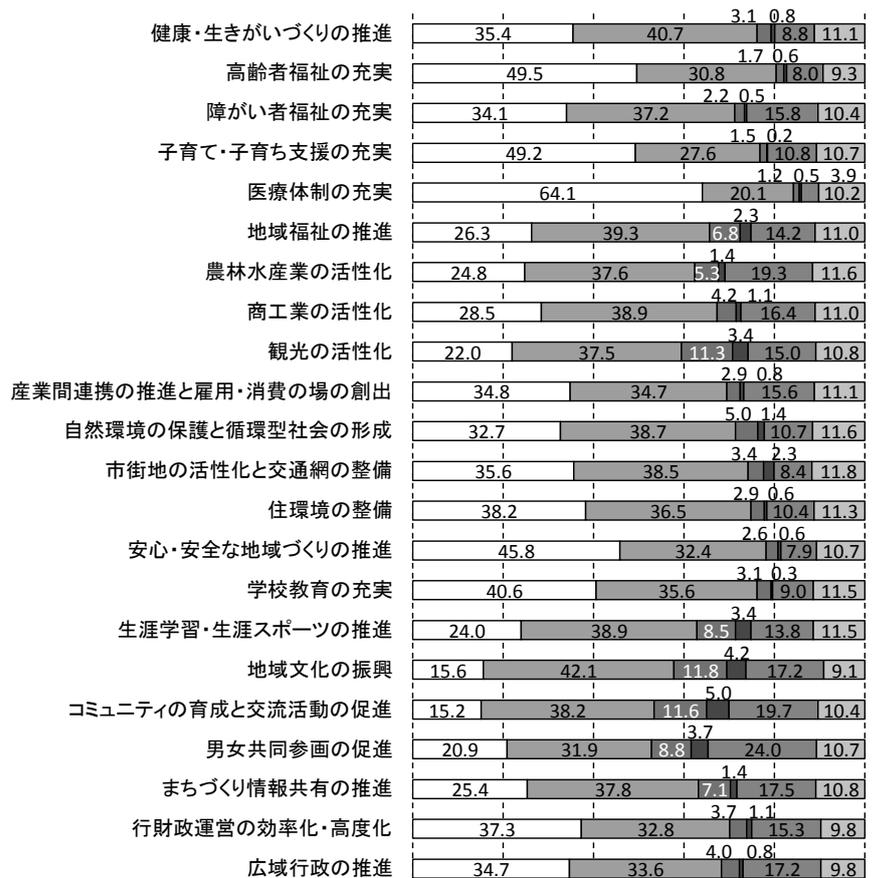
「満足」（どちらかといえば満足を含む）と回答した人の割合が最も高い項目は「健康・生きがいがづくりの推進」（40.4%）となっており、次いで「安心・安全な地域づくりの推進」（40.2%）、「学校教育の充実」（33.1%）と続いています。

一方、「不満」（どちらかといえば不満を含む）と回答した人の割合が最も高い項目は「医療体制の充実」（59.9%）となっており、次いで「市街地の活性化と交通網の整備」（52.1%）、「商工業の活性化」（40.9%）と続いています。

「重要」（どちらかといえば重要を含む）と回答した人の割合が最も高い項目は「医療体制の充実」（84.2%）で、8割以上の人が必要であると回答しています。次いで「高齢者福祉の充実」（80.3%）、「安心・安全な地域づくりの推進」（78.2%）と続いています。



□満足
 ■どちらかといえば満足
 ■どちらかといえば不満
 ■不満
 ■わからない
 □無回答



□重要
 ■どちらかといえば重要
 ■どちらかといえば重要ではない
 ■重要ではない
 ■わからない
 □無回答

<点数換算（平均値）>

満足度および重要度について、「満足」を2点、「どちらかといえば満足」を1点、「どちらかといえば不満」を-1点、「不満」を-2点、「わからない」を0点として点数換算すると、以下のとおりとなります。

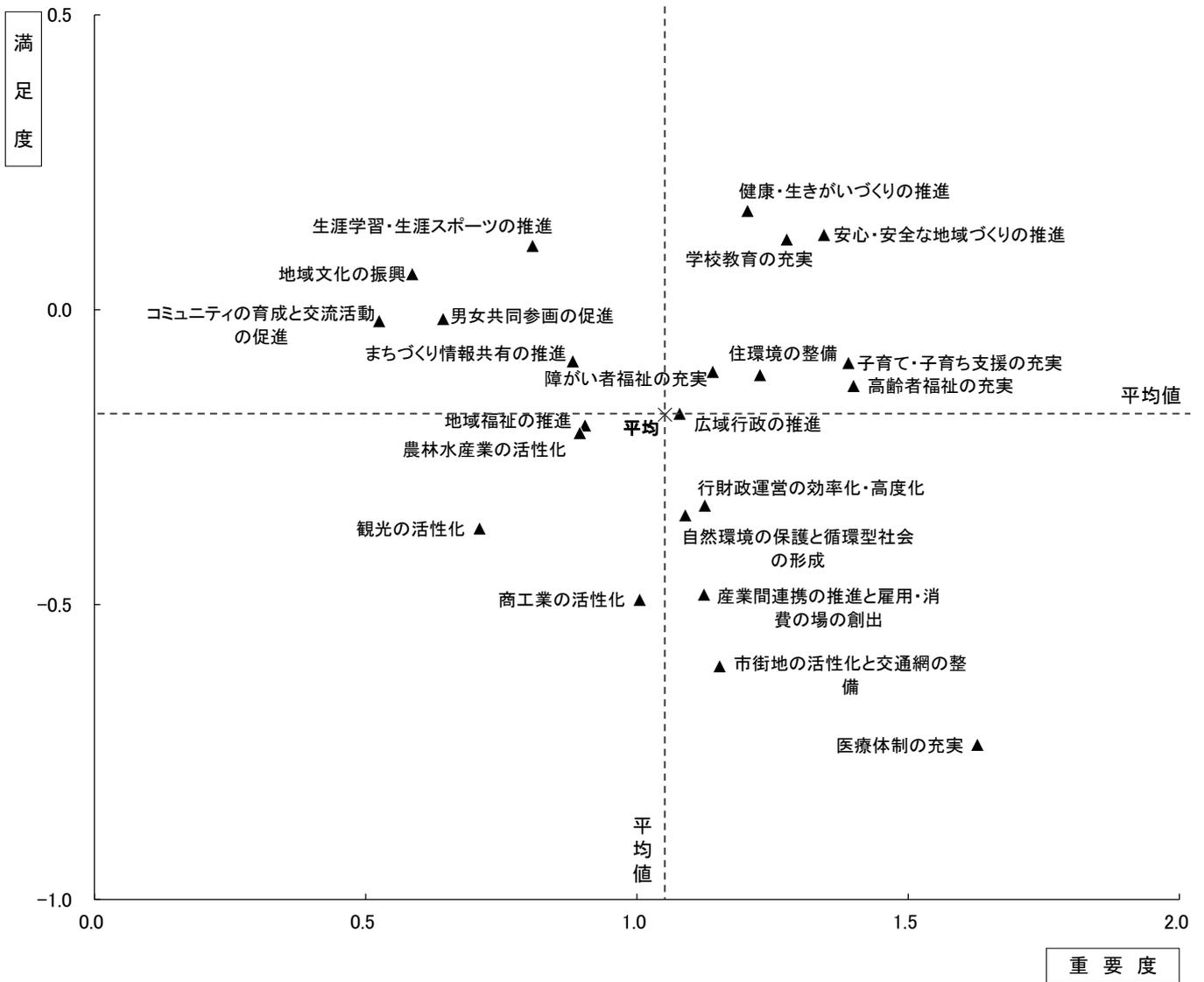
■満足度

項 目		満足度	項 目		満足度
1	健康・生きがいづくりの推進	0.2	12	高齢者福祉の充実	-0.1
2	安心・安全な地域づくりの推進	0.1	13	広域行政の推進	-0.2
3	学校教育の充実	0.1	14	地域福祉の推進	-0.2
4	生涯学習・生涯スポーツの推進	0.1	15	農林水産業の活性化	-0.2
5	地域文化の振興	0.1	16	行財政運営の効率化・高度化	-0.3
6	男女共同参画の促進	-0.0	17	自然環境の保護と循環型社会の形成	-0.3
7	コミュニティの育成と交流活動の促進	-0.0	18	観光の活性化	-0.4
8	まちづくり情報共有の推進	-0.1	19	産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出	-0.5
9	子育て・子育て支援の充実	-0.1	20	商工業の活性化	-0.5
10	障がい者福祉の充実	-0.1	21	市街地の活性化と交通網の整備	-0.6
11	住環境の整備	-0.1	22	医療体制の充実	-0.7

■重要度

項 目		重要度	項 目		重要度
1	医療体制の充実	1.6	12	自然環境の保護と循環型社会の形成	1.1
2	高齢者福祉の充実	1.4	13	広域行政の推進	1.1
3	子育て・子育て支援の充実	1.4	14	商工業の活性化	1.0
4	安心・安全な地域づくりの推進	1.3	15	地域福祉の推進	0.9
5	学校教育の充実	1.3	16	農林水産業の活性化	0.9
6	住環境の整備	1.2	17	まちづくり情報共有の推進	0.9
7	健康・生きがいづくりの推進	1.2	18	生涯学習・生涯スポーツの推進	0.8
8	市街地の活性化と交通網の整備	1.2	19	観光の活性化	0.7
9	障がい者福祉の充実	1.1	20	男女共同参画の促進	0.6
10	行財政運営の効率化・高度化	1.1	21	地域文化の振興	0.6
11	産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出	1.1	22	コミュニティの育成と交流活動の促進	0.5

満足度が低く、重要度が高い項目では「医療体制の充実」、「市街地の活性化と交通網の整備」、「産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出」、「商工業の活性化」があげられます。



Ⅲ その他・自由意見

年齢	居住地区	性別	問 1-3 職業
10・20 歳代	中央地区	男性	神職
10・20 歳代	中央地区	男性	市役所臨時職員
10・20 歳代	中央地区	男性	浪人中
10・20 歳代	中央地区	女性	幼稚園教諭
10・20 歳代	野田地区	女性	主婦
30 歳代	中央地区	女性	アルバイト（期間雇用社員）
30 歳代	匝瑳地区	女性	主婦
30 歳代	野田地区	女性	匝瑳市臨時職員
40 歳代	中央地区	男性	家族従事者
40 歳代	野田地区	男性	建設業
50 歳代	豊栄地区	男性	自営業
50 歳代	野田地区	男性	警備員
50 歳代	野田地区	男性	内職
60 歳代	中央地区	男性	翻訳書文庫編集フリーター
60 歳代	中央地区	男性	建築業
60 歳代	中央地区	女性	自営業
60 歳代	豊栄地区	男性	警備員
60 歳代	匝瑳地区	男性	アルバイト
60 歳代	椿海地区	男性	年金
60 歳代	栄地区	男性	運送業
70 歳以上	豊栄地区	男性	自営（建設）
70 歳以上	須賀地区	男性	会社役員
70 歳以上	吉田地区	女性	農業
70 歳以上	椿海地区	男性	パート
70 歳以上	野田地区	男性	シルバー人材センター会員
70 歳以上	野田地区	女性	主婦
70 歳以上	栄地区	女性	冬場は他市、シルバーにてお仕事を頂いております。
-	-	-	造園業

年齢	居住地区	性別	問 4 健康のために行っていること
30 歳代	匝瑳地区	女性	病院通院中
30 歳代	共興地区	女性	睡眠をきちんととる
30 歳代	野田地区	男性	リフレッシュです
40 歳代	豊栄地区	女性	畑仕事
50 歳代	中央地区	女性	風呂
50 歳代	豊和地区	男性	通院
50 歳代	共興地区	女性	庭仕事、家庭菜園で身体を使う。
60 歳代	中央地区	女性	考えすぎない事
60 歳代	須賀地区	女性	ラジオ体操
60 歳代	平和地区	男性	散歩
60 歳代	栄地区	女性	ウォーキング
70 歳以上	中央地区	女性	趣味を楽しんでいる
70 歳以上	豊栄地区	男性	腹式呼吸、カラオケ
70 歳以上	豊栄地区	女性	家庭菜園、草取り
70 歳以上	須賀地区	男性	家庭園芸

年齢	居住地区	性別	問4 健康のために行っていること
70歳以上	共興地区	女性	野菜作りが楽しい。
70歳以上	野田地区	男性	ストレスそのものを感じていない。ストレスを意識していれば、それがストレスじゃないですか。
70歳以上	野田地区	女性	昨年10月まで、プールに行っていたが、腰痛や肩の痛みで今は休んでいる。
70歳以上	栄地区	女性	仕事上少し歩いたりもしますので。

年齢	居住地区	性別	問5 健康増進に重要な取組み
10・20歳代	豊栄地区	女性	スポーツ施設の利用料を下げる、医療費の補助。
30歳代	中央地区	女性	公園を増して、散歩できるようにする。
30歳代	豊栄地区	男性	治安が悪いと思う。腹を減らしている子供へのサポート。
30歳代	須賀地区	女性	医療費の軽減。
30歳代	共興地区	女性	歯の定期検診など予防の為の活動。
40歳代	中央地区	女性	忙しくて健診に行かない人のため、郵送の健診などもあると意識が上がるかも。
50歳代	中央地区	女性	温水プール（ゴミの燃える余熱等で）
50歳代	共興地区	男性	各個来られない人達の送迎の足の確保。
60歳代	中央地区	女性	ラジオ体操のように匝瑳市独自の足腰を中心に鍛える統一の体操を発案し、各地域ごとに覚えて何かイベントがある度に皆でその体操をするようにして、だんだん大きな輪になっていくことが理想です。
60歳代	中央地区	女性	車がなければ行けません。各地区単位で、コミュニティセンターでやったらどうですか。
60歳代	須賀地区	男性	食育
60歳代	野田地区	女性	保健指導等により健康意識の向上を計る。
70歳以上	中央地区	女性	プール+ジムなど低料金で使用出来る所。
70歳以上	中央地区	女性	いずれもあてはまらない。
70歳以上	豊栄地区	男性	子ども達に腹式呼吸のやり方等、基礎からわかりやすく教える。
70歳以上	匝瑳地区	男性	環境（悪臭、景観、特に太陽光発電パネル、風力発電の風車の設置）

年齢	居住地区	性別	問7 子育て支援に重要な取組み
10・20歳代	豊栄地区	女性	旭市では「おむつ券」が配布されるそうです。そのような支援があると助かります。
10・20歳代	飯高地区	女性	子育て支援センターなどの他の母子や保健師などと関わる場を作る事で、幅広く支援を行えると考えます。
10・20歳代	椿海地区	女性	子どもが活動できる場（公園など）を増やして欲しい。
30歳代	中央地区	男性	保育所の質の向上。
30歳代	中央地区	男性	子育てが生まれてからのことしか考えていないところがある。他市では不妊で悩む家庭に対し、市独自の助成サポートもあり、生まれてからの環境も考えてくれている。中途半端に子育て支援を考えているから、国も助成を簡単に削減していることに気づいていないのだ。匝瑳市も同様、子を持ち、親の事を考えていないから、人口が増えないのだ。支援サポートに関しても同様、健常者の事しか考えず、甘すぎる。

年齢	居住地区	性別	問 7 子育て支援に重要な取組み
30 歳代	中央地区	女性	公園等、子供が自由に遊べる場所を増やす。
30 歳代	中央地区	女性	公園など子供が安全に遊べる施設が欲しい。
30 歳代	豊栄地区	男性	不妊治療にかかわる経済的支援。
30 歳代	豊栄地区	男性	医療体制の充実。
30 歳代	須賀地区	女性	学童の歩道の整備。
30 歳代	匝瑳地区	女性	児童館のサービスを充実してほしい。
30 歳代	共興地区	男性	手当の充実
30 歳代	共興地区	女性	子どもの遊び場。車で行かないといけないほど遠くにしかない。
30 歳代	平和地区	女性	公立保育園で取り組んでいる、5時以降の延長料金。私立でも統一して取れば取ってもいいのでは？公立だけだと、子どもが私立に流れやすい？そうすると、待機児童！？増える？地域ごとにうまく子どもが入れる環境体制も大事かと…。
30 歳代	椿海地区	男性	安定したある程度融通が利く職の確保。
30 歳代	椿海地区	女性	託児所
30 歳代	栄地区	女性	子育て中の家庭の経済軽減。
40 歳代	豊和地区	男性	防犯など、教育をつくる市。
50 歳代	中央地区	女性	親だけでなく、地域全体で見守り、親も祭りや郷土芸能などに子供を参加させて、周りの大人の力も借りる。様々なコミュニティを作る。昔ながらの田舎の良い所をもっと取り入れる。大人も言動に気を付けるようになるので、大人も子供もお互いに良い街にしていければ良いと思う。
50 歳代	共興地区	男性	2に加えて、少々の発熱でも対処可能になること。
50 歳代	平和地区	女性	勉強面でのサポートシステム。
60 歳代	中央地区	女性	中学生までの医療費を無料とする。
60 歳代	中央地区	女性	市立幼稚園の延長保育が困難とのこと。保育経験のある方や高齢者（60代70代など）のたくさんの知恵、体験、昔遊びなどを生かし、核家族の子供とお年寄りのふれあいの時間になる様なボランティア等の仕組みを取り入れてほしい。もっと多くの入園をして欲しい。若いお母さん達が保育園に偏ってしまっていないですか？

年齢	居住地区	性別	問 9 高齢者や障がい者に対する重要な施策
10・20 歳代	中央地区	女性	義務教育期間中に介護技術を教わる機会を設ける。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	交通アクセスの充実（バス等）
10・20 歳代	飯高地区	女性	上記のいずれも欠かす事のできないものである。在宅医療が中心となる今後を考えると、高齢者などを支える支援の充実化は重要である。しかし、それぞれ家庭環境が異なることから上記を選んだ。
10・20 歳代	野田地区	女性	交通の便が悪い。バスなどが無い。
30 歳代	豊栄地区	男性	行政、福祉事業者、地域のコミュニティ作り（小学校区毎で）。
30 歳代	豊栄地区	男性	ご家族の負担を軽減させるサービスを充実させる。
30 歳代	須賀地区	女性	高齢者が家族に居ないので、わかりません。
30 歳代	匝瑳地区	男性	公共交通関係が少ない。
30 歳代	共興地区	男性	バリアフリーなどの環境整備。
30 歳代	共興地区	女性	買い物や生活の中での助けが頼みやすいこと。
30 歳代	椿海地区	男性	交通手段の確保。友人、知人等、日頃の生活に関わる人の確保。
40 歳代	豊栄地区	男性	休日、夜間の医療機関の充実を図る。

年齢	居住地区	性別	問 9 高齢者や障がい者に対する重要な施策
40 歳代	豊和地区	女性	介護福祉従事者を育成しなければ、施設を作っても意味がないと思う。
40 歳代	平和地区	男性	移動する為の交通手段の充実。
50 歳代	中央地区	男性	福祉の充実といいながら、税金が高い。
50 歳代	中央地区	女性	意識の改革。障がい者を特別ではなく、普通に接してほしい。もちろん配慮してほしいことはたくさんありますが、差別をたくさん感じます。
50 歳代	栄地区	女性	高齢者や障がいのある方を見ている家族のサポート。
60 歳代	中央地区	女性	健康なお年寄りが集える場所があれば良いと思う。
60 歳代	中央地区	女性	60 代の私でも、町中の車社会での歩行に危険を感じる。子供達、高齢者、障がい者が安心して買物、活動できる市でありたいと思う。
60 歳代	中央地区	女性	買い物（スーパー）が不便。車のない人は特に大変だと思う。
60 歳代	野田地区	女性	乗り合いタクシーがあると便利。バスの便が悪い。
60 歳代	-	女性	老人ホーム

年齢	居住地区	性別	問 12 医療関係への重要な取組み
10・20 歳代	豊和地区	男性	全ての診療が一つの場所でできる総合病院が欲しい。現在の市民病院は場所が悪い。立て直すならカインズホームあたりの国道沿いが良い。
30 歳代	中央地区	男性	専門的な医師、皮膚科、耳鼻科、産科が少なく、一人の医師に対する負担が大きすぎる。通院にも待ち時間が長くなり、診察時間も十分取れない。
30 歳代	豊栄地区	男性	市内に頼れる病院がない。
30 歳代	椿海地区	男性	医療関係者の医療レベルの向上。医療所の接客等、経営サービスレベルの向上。
40 歳代	豊栄地区	女性	皮フ科、循環器科など、市内にない病院の誘致。
40 歳代	豊和地区	女性	例えば現在、市内の小児科医院の多くが同じ日に定休日を定めていて困っている。また、内科、外科、整形外科、歯科以外の医院が少なすぎる。
40 歳代	椿海地区	男性	健康増進の意識づけ。
50 歳代	豊栄地区	女性	民間病院の誘致。
60 歳代	中央地区	女性	独居老人（今年になって3人の身内の孤独死）がこれから多くなる中、考えさせられますが？
60 歳代	中央地区	女性	診療科が全てあり、いつでも安心して受診できる病院。
60 歳代	平和地区	女性	駅前 JT 空地を活用した新市民病院の移転、充実を図る。
70 歳以上	平和地区	女性	腕の良い医師の確保。東京の大学病院と協力してもらおう。つながりを持つ。特に重い病気の時助かる。
-	-	-	市民病院の医者に非常に傷つけられたので、市民病院は信用していない。

年齢	居住地区	性別	問 13-1 自慢内容
10・20 歳代	須賀地区	女性	難読（市の名前）
10・20 歳代	野田地区	女性	そうさと読めないところ。
30 歳代	中央地区	女性	新鮮な農作物、肉・魚。

年齢	居住地区	性別	問 13-1 自慢内容
30 歳代	須賀地区	女性	保育料が 3 人目無料で、働く気持ちが生まれるところ。
30 歳代	共興地区	女性	乳幼児の医療費無料。
30 歳代	椿海地区	女性	子供に優しい（医療費の補助等）市だと思います。
30 歳代	野田地区	女性	植木のすばらしさ。
30 歳代	栄地区	女性	匝瑳市の特産物や地井武男さん。
50 歳代	須賀地区	女性	地井会館
60 歳代	中央地区	女性	地元の食材が豊かで安価。
60 歳代	須賀地区	男性	植木
60 歳代	栄地区	女性	冬は暖かく、夏は風が良く吹きとても涼しい。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	野手地区にスーパーが無く、八日市場まで行かなければ食材が手に入らない。
70 歳以上	椿海地区	女性	ふれあいセンターでの芸能発表会。
70 歳以上	野田地区	男性	災害ない。年間を通し気象環境良い。
70 歳以上	野田地区	男性	植木産業

年齢	居住地区	性別	問 15 農林水産業振興への重要な取組み
10・20 歳代	平和地区	女性	農業者の意識改革を図る。（農薬や除草剤を使わない農業。）
30 歳代	豊栄地区	男性	新しい特産物を考え→ブランド化→生産性向上→担い手増加 →ネット販売 技術の確立
30 歳代	須賀地区	女性	市営でやる。
30 歳代	飯高地区	女性	（4 について）匝瑳市自体をブランド化し、海外への進出も必要。
30 歳代	共興地区	女性	本当に美味しいものを作る。
30 歳代	椿海地区	男性	空いている土地や使用されていない土地の調査、再活用、情報公開。
30 歳代	栄地区	女性	農業をしている家の経済軽減。（例）大根の利用率など。
40 歳代	平和地区	男性	地元企業に税制優遇をもっとするべき。
60 歳代	中央地区	男性	食の安全に配慮した農業の推進。無農薬、有機栽培など。
60 歳代	須賀地区	男性	経営の効率化と、ブランド化による商品の高値販売。
60 歳代	豊和地区	男性	食べて安全安心な食物の生産を！
60 歳代	平和地区	男性	池、沼、水路を整備し、綺麗な水から美味しい作物ができるとイメージさせる環境づくり。
70 歳以上	中央地区	男性	健康にいい野菜の量産。例 ごぼう、トマト、ブロッコリー、漢方野菜、甘草など。

年齢	居住地区	性別	問 17 商工業振興への重要な取組み
10・20 歳代	豊栄地区	女性	経営者の意識改革。
10・20 歳代	豊和地区	男性	匝瑳市の人口では消費に限りがある。市内の施設は現状維持として、PR できるものを都会に持っていく。
10・20 歳代	平和地区	女性	まち自体の発想を変える。匝瑳のアイデンティティを考える。
10・20 歳代	椿海地区	女性	市の人たちが匝瑳市を好きになるような何か。
30 歳代	豊栄地区	男性	気軽に立ち寄れるモールや食事処、スポーツなど行える複合施設、交通の便の改善で若者の確保。
30 歳代	豊栄地区	男性	Truncation

年齢	居住地区	性別	問 17 商工業振興への重要な取組み
30 歳代	須賀地区	女性	人口が少ないからムリ。
30 歳代	飯高地区	女性	既存商店等の価値を再認識し、魅力の向上を図る。
30 歳代	椿海地区	男性	中心地や各店舗を結ぶ買物経路において店舗の誘致等、商業通路を改善する。
40 歳代	豊栄地区	男性	買う側の目線になって商売をした方が良いと思う。
40 歳代	平和地区	男性	第 1、第 2 産業への優遇をもっと拡大するべき。
50 歳代	中央地区	女性	イベントや特産物があっても、参加したり、買いに行ったりできなくては絵に描いた餅になってしまう。誰もが参加したりできるように配慮してほしい。
60 歳代	中央地区	男性	商店街の衰退をいかにして押しとどめるかが大きなテーマ。
60 歳代	中央地区	女性	八日市場駅前の改革。
60 歳代	中央地区	女性	お年寄りがすでに買物難民になっているので、移動手段など考えて欲しい。
60 歳代	須賀地区	男性	人口増になれば自然に商工業も活発になるので、人口増になることを考えた方が良い。
60 歳代	平和地区	女性	市内大規模店舗内へ、地元商店の併設等。
60 歳代	椿海地区	女性	どんな街づくりをするかベンチマークする。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
10・20 歳代	中央地区	男性	○お祭り ○飯高壇林
10・20 歳代	中央地区	男性	○巨木（安久山の大スダジイ、松山神社、老尾神社の御神木など） ○市内の神社（八重垣神社に依存している感じがあるので、他の神社についてももっと宣伝を行ってほしい）
10・20 歳代	中央地区	男性	飯高壇林
10・20 歳代	中央地区	女性	○植木 ○祭
10・20 歳代	中央地区	女性	○祭り ○飯高壇林
10・20 歳代	豊栄地区	男性	○温暖な気候（雪があまり降らない等） ○農産物（米、野菜、若潮牛。 ○農業体験（都市部から来てもらい体験してもらう）
10・20 歳代	豊栄地区	男性	○いちご狩り ○植木 ○飯高壇林
10・20 歳代	豊栄地区	男性	○歴史的文化財 ○海
10・20 歳代	豊栄地区	男性	祭り
10・20 歳代	豊栄地区	女性	○お祭り ○飯高壇林
10・20 歳代	豊栄地区	女性	地井さんの故郷という他に特にない気がします。
10・20 歳代	豊栄地区	女性	○自然 ○田 ○畑（農産物）
10・20 歳代	豊栄地区	女性	○祇園祭 ○飯高壇林○植木 ○須賀のハリストス教会
10・20 歳代	須賀地区	女性	○飯高壇林 ○祇園祭り
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	植木
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	○自然 ○田 ○畑？ ○海？
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	植木
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	○飯高壇林 ○大浦ごぼう ○ハリキリ戦隊ソーサマン
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	夏まつり
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	祭りなど
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	交通アクセス（高速道路、鉄道の高速度化等）
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	森林や田園等の景観を整備し、田舎の良さや穏やかな空気を高

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
			めていただきたいです。
10・20 歳代	豊和地区	男性	○植木 ○場所を映画やドラマに使ってもらう。
10・20 歳代	豊和地区	男性	自然環境
10・20 歳代	豊和地区	女性	○祭 ○植木 ○海
10・20 歳代	吉田地区	男性	植木
10・20 歳代	吉田地区	女性	植木の盛んな市としているが、お金がかかる庭園には程遠い生活をしています。だから身近に感じない市になっています。米農業も個別力が強く、まとまりがない作業をしている。
10・20 歳代	飯高地区	男性	自然環境がよい
10・20 歳代	飯高地区	男性	飯高の文化財
10・20 歳代	飯高地区	女性	飯高壇林
10・20 歳代	共興地区	男性	○海 ○里山 ○祭り
10・20 歳代	平和地区	男性	植木。ただし、目立ったものが少ない為、目玉になるものが必要。
10・20 歳代	平和地区	男性	市内にある古墳や遺跡群
10・20 歳代	平和地区	男性	植木
10・20 歳代	平和地区	男性	○植木畑 ○ちいちいの森
10・20 歳代	平和地区	女性	○自然
10・20 歳代	平和地区	女性	○植木 ○野菜や果物
10・20 歳代	平和地区	女性	今あるそのものである
10・20 歳代	平和地区	女性	植木
10・20 歳代	椿海地区	男性	○飯高寺…重要文化財に指定されている為 ○八日市場は植木の栽培が日本一である
10・20 歳代	椿海地区	女性	植木の町として有名になれば良いと思う。海も観光資源になると思う。
10・20 歳代	椿海地区	女性	○植木や海 ○祭
10・20 歳代	椿海地区	女性	日本一の植木の市なので、日本一と言えるような日本庭園を造る。(成田空港からも近いので、日本に来たら必ず訪れたいと思うような庭園。)
10・20 歳代	椿海地区	女性	○祭り ○植木
10・20 歳代	椿海地区	女性	○ご当地グルメ、B 級、B-1 グランプリみたいな。 ○飯高壇林のような歴史的観光地。
10・20 歳代	椿海地区	女性	植木
10・20 歳代	椿海地区	女性	○植木 ○飯高壇林跡
10・20 歳代	椿海地区	女性	○祭り ○植木 (マキベいなど) ○海 ○風景 (見渡す限りに広がる田園風景など) ○市名。
10・20 歳代	野田地区	男性	海
10・20 歳代	野田地区	男性	海
10・20 歳代	野田地区	男性	○飯高壇林 ○九十九里沿岸
10・20 歳代	野田地区	男性	○植木や花 (チューリップなど) ○夏に催される祭りなど
10・20 歳代	野田地区	女性	祭
10・20 歳代	野田地区	女性	植木
10・20 歳代	野田地区	女性	海、米
10・20 歳代	野田地区	女性	食べもの
10・20 歳代	栄地区	女性	祭りなどのイベント
30 歳代	中央地区	男性	○八重垣神社祇園祭 成田や佐原のように上手にもうけるべき。 ○神社仏閣 社寺史跡探訪ミニツアー等。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
30 歳代	中央地区	女性	ゆるキャラブームが続いているので、ソーサマンをもっと色々な所でアピールして匝瑳市を知ってもらおう。、天神山の桜等の自然、海。祇園祭。飯高壇林。スポーツ競技場等があると自然と人が集まってきそうなので、ぜひ作って欲しい（サッカー場や野球場）。
30 歳代	中央地区	女性	ふれあいパークに観光バスが来ることがあります。隣接して立ち寄り湯がムリだとしても、足場を作る、菜の花畑一面を作るなど、もっと人を呼びこんで、お金が落ちるシステムを考えるべきだと思います。自然しか売りが無いのなら、そこに力を入れるべき。友人は植木を海外に輸出したりしてしています（都内で）。
30 歳代	中央地区	女性	特にこれといって浮かぶものはありません。強いて言えば、海とか里山の風景でしょうか。それから祭り、飯高寺などもありますね。
30 歳代	中央地区	女性	こままね祭。他であまり見ない祭りなので、もう少し周知されて欲しいと思うところがある。
30 歳代	中央地区	女性	○松山庭園美術館 ○松山ゴルフ
30 歳代	中央地区	女性	○夏祭りを安全に盛大にする ○花火 ○飯高寺
30 歳代	中央地区	女性	自然がたくさんあって、田畑があるので、田舎暮らしの旅みたいなのを体験できる大きな旅館みたいな施設で観光は？土地がたくさんあるので、テーマパーク的なものをつくるのか？お米の匝瑳ブランドの新しい物を TVCM する。
30 歳代	中央地区	女性	ぎおん祭
30 歳代	豊栄地区	男性	夏（8月4、5日）の祇園祭り。
30 歳代	豊栄地区	男性	○祭り←外国人に体験させる。 ○海 ○昔からある物すべて ○外国人の目にとまるものすべて
30 歳代	豊栄地区	男性	野菜
30 歳代	豊栄地区	女性	○ソーサマン ○ソーサ市の難しい名前 ○海岸線、右も左も九十九里
30 歳代	豊栄地区	女性	祭り
30 歳代	須賀地区	男性	○飯高壇林 藤棚
30 歳代	須賀地区	男性	家でいらなくなった物や、使わなくなった物を再利用したり、違う人に使ってもらう事ができるので、家からいらなくなった物を出品してバーゲンができるイベントをしたらどうでしょうか。いろいろな人が立ち止って見て楽しめたりできます。
30 歳代	須賀地区	男性	○祭りの PR ○スポーツ場の充実 ○食物の PR。 ○宿泊場所の充実。 ○商店街の復活（若い人たちへ場所を提供して飲食店や shop を）。
30 歳代	須賀地区	女性	○お祭り→日帰りツアーがあったら面白いです。お土産は匝瑳特産品を渡す。 ○植木→他の市と比べて、色々な木が植えてあって、目で楽しめます。植木の剪定体験みたいな参加できるものがあるといいです。
30 歳代	須賀地区	女性	○海でのレジャー ○銚子連絡道路のインターチェンジ
30 歳代	須賀地区	女性	植木と海
30 歳代	匝瑳地区	男性	○祇園祭 ○よかっぺ祭り
30 歳代	匝瑳地区	女性	○植木 ○祭
30 歳代	匝瑳地区	女性	○植木 ○海産物 ○伝統文化 ○農産物

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
30 歳代	豊和地区	男性	○飯高檀林 ○海水浴
30 歳代	吉田地区	女性	成田市から近いという事で、近くでも出来る農業+スパ 等。単一でなく、+αで観光の目玉にしていく。
30 歳代	飯高地区	男性	飯高檀林
30 歳代	飯高地区	男性	飯高檀林
30 歳代	飯高地区	女性	隠れた魅力
30 歳代	共興地区	女性	海岸通りをもう少し観光や買い物などできるようにきれいな作りにしてみたり、植木の町をアピールして四季を楽しめる通りにしてみる。植木の町といっているのみで、街並みなど植木の町と感じられない。(どの地域でも近隣の市とも変わりがない。)
30 歳代	平和地区	男性	文化財
30 歳代	平和地区	男性	まだ多く残されている緑地
30 歳代	平和地区	女性	○植木 ○ねぎ
30 歳代	平和地区	女性	植木
30 歳代	椿海地区	男性	田畑造園等を利用し、都内からのレンタル地や体験ツアーを企画したり、海岸整備により海洋スポーツを可能とする事。農業や林業が大きな土地の資源であり、観光、定住への足掛かりになる。宗教者のうち 50～60 代や若い人には修験道や詠歌に通ずる人がいる。現在の山登りや歌のブームにからめて、企画できるのではないかと。また、各スポーツにおいても、有識者も多く指導に関わる人も多い。近隣からのスポーツ参加は見込めると思う。
30 歳代	椿海地区	女性	農・水産物。海、自然(キャンプ場など自然の利用)で人を集め、農水産物を買って帰ってもらう。
30 歳代	椿海地区	女性	イベントを行う上で、旧道を使うだけでなく、広い公園等を利用して、見通しが良い所で行えば、皆さん来てくれるのではないかと思います。
30 歳代	椿海地区	女性	植木、もっとアピールした方がよいのでは? 寄付金に対して植木(盆栽)をプレゼントでもよいかと。
30 歳代	椿海地区	女性	農産物や自然(夏には山でくわがたとりなど)。ソーサマンを使ったイベントなど。
30 歳代	野田地区	男性	ソーサマン
30 歳代	野田地区	男性	○(飯高)檀林 ○野菜・果物の苗木栽培
30 歳代	野田地区	男性	特にない。(海岸がきれいだったら良いと思う。)
30 歳代	野田地区	女性	植木(盆栽)…アジアからの観光を誘致するべき。海…東京から比較的近いので、もっと家族層を誘致するべき。
30 歳代	野田地区	女性	○飯高檀林 ○海
30 歳代	野田地区	女性	チューリップ祭りがあるけど、ネットを見ていたら意外に狭くてガッカリと書いてあったので、改善が必要かも。
30 歳代	野田地区	女性	○海 ○祭り
30 歳代	栄地区	男性	祭
30 歳代	栄地区	男性	海
30 歳代	栄地区	女性	野栄チューリップ祭。
30 歳代	栄地区	女性	○八日市場の祭り。 ○野栄チューリップ祭り ○海
30 歳代	栄地区	女性	○農業、水産業体験ツアー(田植え、地引網 etc) ○ほたるやくわがたなどのいるポイントを作る ○自然を利用したアスレチック施設を作る
30 歳代	栄地区	女性	○米(匠瑤の舞) ○赤ピーマン ○初夢漬

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
30 歳代	栄地区	女性	八重垣祭をたくさんアピールした方がいいと思う。
30 歳代	栄地区	女性	松山庭園美術館の猫ねこ展覧会が、通販の FELISSIMO で紹介されていました。
40 歳代	中央地区	男性	自然の豊かさ
40 歳代	中央地区	男性	祭り
40 歳代	中央地区	男性	祇園祭をもう少し盛り上げる（例：宗教の関係等で厳しいが、1 週間程度の期間で、市民、市内商店、市役所等で一体となって開催する）。
40 歳代	中央地区	女性	○祇園祭 ○飯高檀林などの歴史的文化財、場所。（ドラマのロケに使われたのを TV で見て感動した。）
40 歳代	豊栄地区	男性	○JT 跡地に常設のステージのある公園をつくる！ ○常に野外イベントのできる環境の整備！ ○観光ではなく参加できる町づくり！
40 歳代	豊栄地区	男性	○花 ○農産物
40 歳代	豊栄地区	女性	佐原のような市の中心部をレトロ風にする（昭和のような）。
40 歳代	豊和地区	男性	○祭やイベントなどを積極的にする事 ○飯高檀林など
40 歳代	豊和地区	女性	○里山、自然の豊かさ。気候、風土の良さ。 ○地産地消できる農業の豊かさ。
40 歳代	豊和地区	女性	自然。里山活動。里山ハイキング等。飯高檀林等の歴史的建物。 + 地元の味覚。
40 歳代	吉田地区	男性	道の駅
40 歳代	吉田地区	女性	○農産物 ○海岸
40 歳代	飯高地区	男性	自然（山、海）
40 歳代	共興地区	男性	庭をととてもきれいにされている家が多く、「中をもっと拝見したい」と思う事が少なくありません。開放して下さる家があったら、お金を払ってでも見てみたい。
40 歳代	共興地区	男性	自然
40 歳代	平和地区	男性	特に見当たりません。海にしろ、植木にしろ、すべてに中途半端で生かされてない。
40 歳代	平和地区	男性	田植え～稲刈りや畑作業等、農業体験等で人を呼び、キメ細やかなサポート（今までにないサポート）で話題を作っていく必要があると思う。
40 歳代	椿海地区	男性	娯楽施設
40 歳代	野田地区	男性	海を利用した観光施設。年中利用できる温泉、プール、複合商業施設。家族連れで来れる遊び施設も併設する。
40 歳代	野田地区	女性	○自然（植木の街） ○祭り
40 歳代	栄地区	女性	海岸
50 歳代	中央地区	男性	○海 ○みどり ○祭
50 歳代	中央地区	男性	海と里山
50 歳代	中央地区	男性	国道沿いのいちごのビニールハウス栽培。九十九里浜。松山美術館。飯高檀林。植木。地井武男氏。椿海の干拓。
50 歳代	中央地区	女性	○食材、農産物。利便性の良い場所に直売所を作る。 ○食材⇒おすすめパンの店、おすすめケーキ、おすすめ花。 ○利便性⇒駐車場・国道に面している。
50 歳代	中央地区	女性	豊かな郷土芸能や伝統事業に新鮮な特産物やそれを活かした料理など、素朴な人柄とからめて好きになってもらえればうれしいと思う。（例えば、蛤カレーなど都会の人には、とても贅沢

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
			にうつる点など。)
50 歳代	中央地区	女性	植木。祇園祭(8月4、5日)。飯塚開畑。飯高壇林。自然豊か。東京まで(直行バス)。天神山桜。
50 歳代	中央地区	女性	○植木 ○祭り ○飯高壇林
50 歳代	中央地区	女性	残念ながらぱっと思い浮かぶものはありません。
50 歳代	豊栄地区	男性	○野菜類 ○植木
50 歳代	豊栄地区	男性	祭りなどのイベント
50 歳代	豊栄地区	女性	○海産物 ○野菜 ○花木
50 歳代	豊栄地区	女性	飯高壇林。
50 歳代	須賀地区	女性	八日市場は植木の産地。市外から来たが、出身市ではちょっと有名だった。
50 歳代	匝瑳地区	男性	景観形成を利用した生態系、環境の保全。
50 歳代	豊和地区	男性	飯高壇林
50 歳代	吉田地区	女性	○植木 ○草花の販売 ○海水浴場 ○いちご狩り
50 歳代	吉田地区	女性	農水産業の充実
50 歳代	共興地区	男性	○植木を利用したイルミネーション、週末イルミ、クリスマスイルミ等 ○ホテルが飛べたらいいな
50 歳代	平和地区	男性	思い浮かばず
50 歳代	平和地区	女性	自然
50 歳代	椿海地区	女性	○海 ○寺
50 歳代	野田地区	男性	○「植木の街」ぶりを、今より更にPRして行けたらと思います。 ○海の近くなのに、「海」を利用できていないのが残念に思います。
50 歳代	栄地区	女性	○海 ○植木
60 歳代	中央地区	男性	歴史⇄行事、神社仏閣、公園、自然、農産物、市街地の景観
60 歳代	中央地区	男性	匝瑳市の海岸をよく整理して、海水客を呼ぶようにする
60 歳代	中央地区	男性	○野菜 ○魚
60 歳代	中央地区	男性	1. 景観の美しさ(街並み及び里山の風景) 2. 高度に環境に配慮した米づくり、野菜づくりの町 3. 植木の町ならば盆栽づくりにも力を入れていくこと 4. 観光客(主に外国からの)が比較的長く、安く、日本での滞在生活を経験できる町に
60 歳代	中央地区	男性	文化財とか祭とかを全国的にアピールする
60 歳代	中央地区	男性	海に舟でも沈め島でも作ったらどうか
60 歳代	中央地区	女性	○飯高壇林 ○祭(8月4、5日)
60 歳代	中央地区	女性	祭り
60 歳代	中央地区	女性	自然と首都圏からの近さ ↓ 海と田舎を楽しめること。ガーデニング教室など需要があると思う。
60 歳代	中央地区	女性	8月4日5日のお祭り
60 歳代	中央地区	女性	植木の街ですか
60 歳代	中央地区	女性	○植木 ○農産物
60 歳代	中央地区	女性	○農業関連 ○農園(ハウス) ○園芸(ハウス)。
60 歳代	中央地区	女性	○飯高壇林周辺の自然 ○植木の街 ○九十九里浜。
60 歳代	中央地区	女性	「畑、田んぼ、森林、海」当たり前に住み馴れていて、都会の人が恵まれすぎでしょう!!と言われます。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
			宿泊（ホテル、コテージ、キャンプ）などあったら、地物の食材でバーベキューや長期滞在したいと言われます。市内にビジネスホテルは必要に感じます。
60歳代	中央地区	女性	市の事に対してピーアールする。
60歳代	中央地区	女性	ふれあいパークの様なもの、イベント施設→駅周辺にあると他地域からも来やすい。
60歳代	中央地区	女性	天神山の桜など、花に関することは人を呼べますが、もっと花の開花時期など、有線などでもアピールしてほしいし、桜のオーナー制もいいが、植木職人の指導などして、芝桜にして、もう少し手をかけてほしい。（ボランティアなども活用して、匠瑳市を花の町に）
60歳代	豊栄地区	男性	メロン等のフルーツ類
60歳代	豊栄地区	男性	海岸
60歳代	豊栄地区	男性	道の駅の様な少ないスペースでの商品の販売等が、今日本の至る所で人気になっており、そんな中、野菜・魚・果物等あらゆる部門での食品その他（色々な施設）を扱いつつ開発すれば、市の観光資源となりうるかも。
60歳代	豊栄地区	女性	○植木 ○里山 ○新鮮な野菜等
60歳代	須賀地区	男性	○植木 ○海 ○飯高寺 ○須賀教会。
60歳代	須賀地区	男性	○野菜のブランド化（トマト、キュウリ、ネギ、植木）
60歳代	匠瑳地区	男性	○海が汚い ○道路が古い狭い ○町並みに好感が持てない
60歳代	匠瑳地区	男性	市の中心街に道の駅を作り、整備された公園もあり、商店街も入る、いきやすい場所を作る。
60歳代	匠瑳地区	女性	○豊かな自然 ○静けさ
60歳代	豊和地区	男性	ピンポイントではない総合的な歴史・史跡、きれいな自然環境。
60歳代	豊和地区	女性	植木
60歳代	豊和地区	女性	○自然（海、里山）○新鮮な農産物。
60歳代	豊和地区	女性	祭りに合わせてイベント等の開催
60歳代	飯高地区	女性	飯高檀林
60歳代	共興地区	男性	里山
60歳代	共興地区	女性	○飯高寺 ○松山庭園美術館
60歳代	共興地区	女性	○マキとマツ ○ラッカセイ
60歳代	平和地区	男性	○海やサーフィン場 ○山やハイキングコース
60歳代	平和地区	男性	昔から使われている池、沼、山道、神社、海などを（ゴミ）整備し、綺麗な水、緑を楽しみつつ、町での買物、土産、特産物（木積の箕など）食事もできる環境整備を！
60歳代	平和地区	女性	花とか果物
60歳代	平和地区	女性	○飯高檀林 ○祭り ○田舎の風景
60歳代	椿海地区	男性	○地引き網…海でバーベキュー ○里山の整備。
60歳代	椿海地区	男性	海辺の活用
60歳代	椿海地区	女性	○自然環境 ○農産物 ○祭りなどのイベント化
60歳代	野田地区	男性	自然環境の充実
60歳代	野田地区	女性	植木、飯高檀林、九十九里浜、その他、他県内外から八日市場駅（JR）に降りて行きたい所にバスで歩いていける所がたくさんあるので、宣伝していく。魅力ある街づくりが出来たらいいと思う。
60歳代	栄地区	男性	○主は米で、林業もいい ○各ブランド化
60歳代	栄地区	女性	○野菜等農産物 ○海水浴場等、海の利用

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
70 歳以上	中央地区	男性	○飯高壇林、飯高寺をもっと PR すると良い ○九十九里（野栄）で蛤がもっととれるようにする ○祇園祭
70 歳以上	中央地区	男性	自然を楽しむ施設
70 歳以上	中央地区	男性	○植木 ○農産物 ○里山
70 歳以上	中央地区	女性	祇園まつり
70 歳以上	中央地区	女性	観光資源となるものは特になくと思います。
70 歳以上	中央地区	女性	飯高壇林を 16 世紀にはあったという、この事実は素晴らしい事だと思えます。もっと PR し、歴史的価値を知ってもらいたく思えます。
70 歳以上	豊栄地区	男性	地元の良いところを最大限 PR する。
70 歳以上	豊栄地区	男性	海
70 歳以上	豊栄地区	男性	昔は八日一場市と言ったそうですが、言葉をかえて八日間一場にしてしり上がりに盛り上がるイベントや商売等をやってみたらどうでしょうか。ここは思案のしどころですよ！プロの人達、考えてみたらいかかなものかね。
70 歳以上	豊栄地区	女性	私は都心に出向くことが多いのですが、特急、バスでも行く時はよいのですが、帰りの便のこと。国鉄の複線化を望んでいますが、無理でしょうか？（同じ千葉県でも、流山、柏、松戸までとはいませんが。）
70 歳以上	豊栄地区	女性	○野栄のチューリップ ○飯高の黄門桜と飯高寺 ○木積の藤の花 ○木積の大つつじ
70 歳以上	豊栄地区	女性	○花 ○木
70 歳以上	豊栄地区	女性	海も山も神社もたいした事ないし、林と田んぼ、畑の草だらけで、公園の大きいのを作ったところで高齢者ばかりでは、温泉も出ないし、交通手段も不便なので考えられません。
70 歳以上	須賀地区	男性	匝瑳の砂浜の沖、100m 程の所に風力発電機が百基も並んでいる風景を見てみたい。多くの人が見学に来るとおもうし、その電気を市民が利用するとなれば、一石二鳥。
70 歳以上	須賀地区	女性	お祭り
70 歳以上	須賀地区	女性	○農業体験の民宿（食事は自分で収穫し、料理を作って食べる。） ○学校などの体験授業等に利用していただく
70 歳以上	匝瑳地区	男性	海
70 歳以上	豊和地区	男性	農業、林業の中から何か創出できないか（県内でも農地面積は多い方だと思う。）
70 歳以上	豊和地区	女性	植木の街と自称しているのですから、全体として少ないですけど街路の並木などもう少し手入れの行き届いたものとされたらどうかと思います。
70 歳以上	豊和地区	女性	市の在住者を増やす事
70 歳以上	豊和地区	女性	○花 ○野菜
70 歳以上	豊和地区	女性	○美しい緑と田園風景 ○伝統行事などの PR
70 歳以上	豊和地区	女性	祇園祭
70 歳以上	吉田地区	男性	海岸沿の観光開発
70 歳以上	共興地区	男性	○銚子連絡道の開通 ○植木。
70 歳以上	共興地区	女性	○マキ壁に囲まれた農家造りの風景（田園） ○植木畑 ○里山の風景 ○サーフィンを楽しむ海岸。
70 歳以上	平和地区	女性	農産物、歴史的建造物、植木等を生かして。
70 歳以上	平和地区	女性	○植木や苗木 ○自然の豊かさや風景の活用 ○落花せんべい ○アーモンドサブレー ○くずもち等の販売。

年齢	居住地区	性別	問 18 市の観光資源となりうるもの
70 歳以上	野田地区	男性	○海 ○海水浴場 ○観光海浜 九十九里を生かせ。
70 歳以上	野田地区	男性	海岸の活用（例）。 ○海水浴（海の家） ○潮干狩り、釣、昆布。 ○海岸スポーツ（ビーチバレー、マラソン）。
70 歳以上	野田地区	男性	○植木 ○飯高寺
70 歳以上	野田地区	女性	九十九里浜
70 歳以上	野田地区	女性	○植木 ○寺社 ○里山の風景。
70 歳以上	野田地区	女性	○米 ○野菜 ○花
70 歳以上	野田地区	女性	植木
-	-	-	海があるのに砂浜が無くなってしまい、海水浴場も閉鎖され、とてもさみしい限りです。でも、望洋荘や吉崎地区はロケーション的にはとても良い場所だと思います。しかし、老朽化も気になります。思い切った改装等で、もう一度現代風に生まれ変わらせてはいかがでしょうか？望洋荘は、泳げなくても「オーシャンビュー」と美味しい海の幸、新鮮野菜、おしゃれなお部屋でのんびり。吉崎地区には、海水浴やサーフィン後ののんびりできる日帰り入浴施設とレストランなど。海の見える景色を嫌いな人っていないのでは？
-	-	-	○自然や歴史 ○四季の美しさを感じられる場所の発掘。（現在は人工的な美しさに目が行きがちですが、それはどこでもあり、すぐ飽きられてしまう。長い年月かわらず美しい場所や物など、それらを美しいと感じる心で探すこと。） ○各地に点在している歴史あるものをまとめたり、つなげたりして紹介する。
-	-	-	海（海岸の整備等）
-	-	-	祭りや伝統文化等の他市ではないものがアピールできる。
-	-	-	植木などが多く目につき、私自身の市のイメージとして定着している。そうした人工的自然物を市の PR にしていくのも一つの手だと考える。
-	-	-	昔からの風習や、祭り、伝統工芸等、自然の豊かさ、都会では忘れてしまっている、ノスタルジックな感覚（宮崎アニメに出てきそうな）神仏等、目に見えないものに対する信仰深さ、自然に対する感謝、敬いがある。

年齢	居住地区	性別	問 19 観光振興への重要な取組み
10・20 歳代	豊栄地区	女性	大きなデパートをつくる。
10・20 歳代	匝瑳地区	男性	アニメや漫画、音楽など、若い人向けのメディア利用。
10・20 歳代	吉田地区	女性	交通機関を充実させるべき。
10・20 歳代	平和地区	女性	見聞を広めてみんなで考える。
10・20 歳代	椿海地区	女性	交通の便を良くする。遠い！
30 歳代	豊栄地区	男性	海外に目を向け、外国人をターゲットにする。
30 歳代	椿海地区	男性	体験型イベントを作り、その参加者等からもフィードバックや新たな意見を得る事。
30 歳代	野田地区	女性	植木や庭（一般家庭の庭でも OK）の観光ツアーをアピール。
40 歳代	平和地区	男性	観光よりも産業が必要だ！！
50 歳代	豊栄地区	女性	特産品を販売する大型施設（国道付近）。

年齢	居住地区	性別	問 19 観光振興への重要な取組み
50 歳代	共興地区	男性	観光のみだと飽きられると思う。
70 歳以上	豊和地区	女性	ドラマや映画のロケ地などにする。
-	-	-	地元の若い人たちが「ここで働きたい」と思えるような施設の整備。

年齢	居住地区	性別	問 21 雇用対策に重要なこと
10・20 歳代	中央地区	男性	匠瑳市を職場とする事で得られる公的サービスの拡充。
30 歳代	豊栄地区	男性	専門知識を学べるところ（免許等の取得の支援）。
30 歳代	須賀地区	女性	企業不足解消。
30 歳代	飯高地区	女性	地元企業への支援。
30 歳代	野田地区	女性	特区（税金の負担を低減する）の推進。
40 歳代	豊和地区	女性	例えば「ぬくもりの郷」の離職率の高さ。原因を調べたりはしないのですか？優秀な人材がどんどん流出していますが、上の立場の人間に問題があるとかないのですか？市の施設なのに「人間関係の悪さ」で有名です。それでは誰も働きたくないと思います。利用者の家族も不安なのでは？
60 歳代	中央地区	男性	雇用対策には限界があるので、創業の方に力を入れる。
60 歳代	中央地区	女性	会社、保育園、病院、幼稚園、学校、見守り（ボランティア）などが、働く若い人達が安心できる様にチームで対策してほしい。
60 歳代	豊栄地区	男性	教育を充実させる。
60 歳代	椿海地区	女性	問 17 の商業振興をして雇用を増大する。
60 歳代	野田地区	女性	減税等により本社機能の進出を図る。
60 歳代	野田地区	女性	年齢の高い人達にも出来る仕事があったら、そして何がしかの現金が入る様なシステムがあると嬉しい。
70 歳以上	野田地区	男性	地場産業の拡充。

年齢	居住地区	性別	問 23 住みやすい住環境とは
10・20 歳代	中央地区	女性	充実した医療環境。
10・20 歳代	匠瑳地区	女性	電車の本数を増やす。
10・20 歳代	椿海地区	男性	旭市のように、衣料品店が充実している環境。
30 歳代	豊栄地区	男性	医療・介護・子育て（教育も）・雇用の充実＝住みやすい。
30 歳代	平和地区	女性	地域交流のある環境。
30 歳代	椿海地区	男性	高齢世代、若者世代の意識の差が多い。互いにゆずりあいが出る状況が必要。
30 歳代	野田地区	女性	住宅の密集度が低く、プライベートが守られる環境。
30 歳代	栄地区	男性	災害が少ない事。
40 歳代	共興地区	女性	買い物（食品）が近くで出来る環境。スーパーも遠い。銀行も遠い。（お年寄りかわいそう。）
40 歳代	平和地区	男性	ネット環境等の格差（地域）を無くす事。市がやってもらいたい！
50 歳代	平和地区	女性	医療環境や教育環境が整備されている。
50 歳代	野田地区	女性	災害が少ない。
60 歳代	中央地区	男性	市街地の景観の整備。
60 歳代	須賀地区	男性	コストの低い生活ができる。
60 歳代	平和地区	男性	畑、屋敷からの越境植木の無い整然としたゴミの無い緑の環境。

年齢	居住地区	性別	問 23 住みやすい住環境とは
60 歳代	椿海地区	女性	頼れる病院が近くにある。
70 歳以上	吉田地区	女性	現在は車を運転できますが、運転がだめになった時、その時の手段…。

年齢	居住地区	性別	問 25 安全なまちづくりへの重要な取組み
10・20 歳代	中央地区	女性	住民全体を強制参加させる抜き打ちの防災訓練を月 1 回は行う事。
10・20 歳代	椿海地区	女性	4 に類似・防災無線のみの訓練ではなく、実際に訓練する。
30 歳代	椿海地区	男性	空き家や空き地の整備による減少、放地はもっとも危険。
40 歳代	豊栄地区	男性	医療機関の充実
50 歳代	豊栄地区	男性	道路整備
60 歳代	中央地区	女性	身近な区長、町（組）長さんがきちんと話し合いをしてほしい。町内に何人の人が住んでいるかも知らないと思う。
60 歳代	野田地区	女性	防災無線で時々緊急のが入るが、1 回だけで終わってしまっている。せめて 2 回は放送してほしい。
60 歳代	-	女性	3.11 の時、テレビが見られなかったのが、電気、ガス、水道、現在の状況や復旧の見通しなど、全然わからなかった。
70 歳以上	共興地区	男性	避難道

年齢	居住地区	性別	問 26-1 最も不便なこと
10・20 歳代	平和地区	男性	周辺に買物できる所が少ない。
10・20 歳代	椿海地区	男性	抜け道に使用され、事故が多い為。
30 歳代	須賀地区	男性	車が無いと生活できない。
30 歳代	豊和地区	女性	駅、市役所、スーパーまで遠い。
30 歳代	飯高地区	女性	何かと移動に車が必要な地区。
40 歳代	豊和地区	女性	車を運転できなければ、どこへ行くにも不便。
50 歳代	匝瑳地区	女性	買い物ができない。
50 歳代	共興地区	女性	車の運転ができなければ、生活が成り立たない。
70 歳以上	中央地区	女性	不便だと感じない。
70 歳以上	須賀地区	男性	駅南側の開発。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	近くにスーパーがない、ビック林の移転により。
70 歳以上	豊和地区	女性	近くにスーパーがない。
70 歳以上	吉田地区	女性	自分の住んでいる地区は不便だと感じない。運転できるから。
70 歳以上	椿海地区	女性	商店が少ないので。
70 歳以上	野田地区	女性	買い物が離れている。
70 歳以上	野田地区	女性	買い物等車が乗れないと不便。
70 歳以上	栄地区	女性	今は車に乗っておりますが、やがての事を考えると…。
-	-	-	高速道路整備が遅れている。
-	-	-	下水を流すことで困っている。

年齢	居住地区	性別	問 27-1 インターネットの利用について
10・20 歳代	吉田地区	女性	興味が薄い。
10・20 歳代	飯高地区	女性	子どもの犯罪や SNS の普及により、いじめなどが増えている。

年齢	居住地区	性別	問 27-1 インターネットの利用について
10・20 歳代	椿海地区	男性	子供への影響によるしくないと感じた。
10・20 歳代	野田地区	女性	使える人と使えない人との差が大きいと感じる。クーポンなど特に。
30 歳代	豊栄地区	男性	自力で情報収集しなくなった。本・CD 等が死んだ。
30 歳代	飯高地区	女性	ネット利用が当たり前の世の中で、いまだペーパーレスが普及していないことを不便に思う。(特に書類等の申請。)
30 歳代	椿海地区	男性	PC を使える人は増えているが、上級の使い方が出来る人が少なくなった、底辺のレベル UP も必要だが、上のレベルの維持が必要。
30 歳代	栄地区	女性	情報過多になっている。
40 歳代	豊和地区	女性	遠方の相手と仕事がしやすくなった。
40 歳代	平和地区	男性	意味が無いもの。
60 歳代	中央地区	男性	在宅での仕事が可能になった。
60 歳代	中央地区	女性	大変怖いと思う事がある。
60 歳代	中央地区	女性	利用なし。
60 歳代	匝瑳地区	女性	あまり利用していないので、利便性を感じない。
70 歳以上	中央地区	女性	インターネットは持っていません。
70 歳以上	中央地区	女性	インターネットなどやっていない。
70 歳以上	吉田地区	女性	我が家にはない。

年齢	居住地区	性別	問 29 市の自然環境保全への取組み
10・20 歳代	平和地区	女性	合併浄化槽の全戸設置(設置貸付工事→市メンテ→市民〈管理義務〉)。
10・20 歳代	椿海地区	女性	ごみの集積所の拡大、分別の簡略化、ごみを出しやすくする取り組み。
30 歳代	須賀地区	女性	野焼きを減らす。
30 歳代	椿海地区	男性	荒地が多かったり、空き家が多いので、その対策。
60 歳代	野田地区	女性	意識が低すぎる。生ゴミのポイ捨て。ビン、ペットボトル、缶のポイ捨て。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	廃屋撤去促進奨励の税制。土地景観の整備。

年齢	居住地区	性別	問 32 小・中学校運営に重要な取組み
10・20 歳代	豊栄地区	男性	教職員が授業に専念できる環境づくり。
10・20 歳代	吉田地区	女性	学校教師の教育方針の格差。
10・20 歳代	椿海地区	男性	塾に頼らない教育指導体制。
30 歳代	中央地区	男性	常識、道徳の徹底。
30 歳代	豊栄地区	男性	子どものモラルや正しい言葉の使い方を学んでほしい。それと同じく、親も学ぶ環境が必要。
30 歳代	須賀地区	女性	設備、環境づくり。
30 歳代	飯高地区	女性	若いうちから将来役に立つ様に、職を意識したワークショップが必要かも…。
30 歳代	共興地区	女性	児童が少ないからこそ小中一貫校をやっていき学力向上していく。
30 歳代	平和地区	男性	学校や家庭の責任感や道徳心の向上。
30 歳代	椿海地区	男性	放課後や休日の有料、無料のスポーツクラブや勉強の機会、ま

年齢	居住地区	性別	問 32 小・中学校運営に重要な取組み
			た学童保育の充実を地域住民や各経営者に利用を促す事で、教員の負担を減らし、かつ学校の有効利用を増やす事。
30 歳代	栄地区	女性	福祉交流の場を設ける。
40 歳代	豊栄地区	男性	今の八二中の女子生徒会長は素晴らしい！
40 歳代	豊栄地区	女性	教員の意識を向上させる。
40 歳代	豊和地区	女性	通学距離があまりにも遠すぎる生徒の通学手段をもっと改善する。夕方遅いとき、雨天のとき、親の送迎も大変で厳しい。スクールバスや路線バスの充実を図る。
40 歳代	平和地区	男性	親たちの意見を気にしすぎない事。
60 歳代	中央地区	男性	個人のイデオロギーを持ち込まない、優れた教師の採用。
60 歳代	平和地区	男性	教職員の意見を重視する。
60 歳代	椿海地区	男性	市立のフリースクールの設定。児童、生徒の個性の把握。発達障がいへの研究、対応。
70 歳以上	須賀地区	男性	教室にエアコンは、いまだき絶対に必要。学習も進み、親も安心。
-	-	-	教職員のゆとり。心も体もゆったりした上での学校運営。

年齢	居住地区	性別	問 34 人権問題に重要な取組み
10・20 歳代	飯高地区	女性	各場において教育体制について見直しが求められる。管理職に就く人間の素質などを見極めることが大切である。
10・20 歳代	平和地区	女性	行政にまかせず、家庭での教育。
30 歳代	平和地区	男性	個人個人の道徳心の向上が最も大事。
40 歳代	椿海地区	男性	人権問題で不当な利益を得る団体・個人の処罰。
50 歳代	中央地区	女性	人権問題にかかる方たちに先入観を捨ててほしい。

年齢	居住地区	性別	問 36 生涯学習・スポーツ、文化活動への重要な取組み
10・20 歳代	平和地区	女性	グローバルな人づくり。
40 歳代	平和地区	男性	市営プールを作る。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	サークル活動の場の提供。
-	-	-	観光と連携して活動を強化する。
-	-	-	どの項目も重要だと思う。

年齢	居住地区	性別	問 42 不都合を感じたこと
10・20 歳代	中央地区	男性	まだそこまで利用したことがないので、何とも言えない。
10・20 歳代	中央地区	男性	愛想が悪い。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	ゴミ出しの日 etc がインターネット上で見られない。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	感じが悪い。市の職員。
10・20 歳代	須賀地区	女性	手続きしたことがないからわからない。
10・20 歳代	飯高地区	女性	優しさが無い。思いやりのある行動ができていない。接遇教育がなっていない。
10・20 歳代	椿海地区	女性	手続きをしたことがない。
30 歳代	中央地区	男性	簡略化するべき。
30 歳代	中央地区	男性	担当者が不在でサインで済むものを、印がないとだめと言われ

年齢	居住地区	性別	問 42 不都合を感じたこと
			た。課の移動で一から仕事を覚えなおす必要性はあるのか。なぜコロコロ移動させるの？わからない人に聞く市民の身にもなってほしい。
30 歳代	中央地区	女性	職員の対応の悪さには驚きました。
30 歳代	中央地区	女性	手続きでミスをされ、20 分以上も待たされ謝罪なし。
30 歳代	豊栄地区	女性	死産届を出したのに、健診の知らせが来た。とても悲しかった。
30 歳代	須賀地区	女性	手続きに時間がかかった。
30 歳代	共興地区	男性	役所までが遠い。
30 歳代	椿海地区	男性	時間が合わない。
30 歳代	椿海地区	女性	日曜手続きできる日を増やして欲しい。
30 歳代	椿海地区	女性	市役所の人間の対応が悪い。感じが悪い。無愛想。
30 歳代	椿海地区	女性	分からないことを聞いたのに、違うことを教えられた。
30 歳代	栄地区	男性	電話対応が悪い。
30 歳代	栄地区	女性	職員の言動に傷ついた（福祉分野）。
30 歳代	栄地区	女性	地区等で集めた招配物等を支所に持っていかず、野栄総合支所でも回収してもらいたい。（住んでいるのが栄地区なので。）
40 歳代	中央地区	男性	転入者に対する説明がかなり不足している。
40 歳代	豊栄地区	女性	細かい所までちゃんと教えてくれなかった。
40 歳代	平和地区	男性	会社の昼休みに行ったら、ほとんどの職員は対応しなかった。とても不快だった。
40 歳代	椿海地区	男性	問い合わせ等をしたら、返信が来なくなった。
40 歳代	椿海地区	女性	担当者の対応が悪かった。
50 歳代	中央地区	女性	聞いたらすぐに教えてくれた。
50 歳代	豊栄地区	女性	不親切、無知識。
50 歳代	須賀地区	女性	マニュアルにあるのだろうが、相談をしてもアドバイスはしてくれない。
50 歳代	須賀地区	女性	台風の被害で土嚢を貸してくれなかった。
50 歳代	共興地区	男性	担当者がどう書いたらいいかわからない書類があった。
50 歳代	共興地区	女性	かなり以前の事です、介護の事で福祉課に相談に行った時に、むげに断られた事がある。
60 歳代	中央地区	男性	電話すると、待ち時間が長くて電話を切ってしまったことがある。
60 歳代	中央地区	女性	個人情報あまりにも守られ過ぎ、不都合がおきる場合があり、特定の理由のある者には開示しても良いのではと思う。
60 歳代	須賀地区	男性	教えてほしいことがあって訪問したが、自分で調べるように（役場よりの通達について）と言われた。少なくとも嘘を教えることのないように。全員が信頼されなくなります。
60 歳代	共興地区	女性	不法投棄、畑にゴミを捨てられた後の連絡がなかった。
60 歳代	椿海地区	男性	案内板の工夫。
60 歳代	椿海地区	女性	自分で手続きしていないので不明。
60 歳代	野田地区	女性	時間がかかる。
70 歳以上	平和地区	女性	市民課のベンチの所に机が欲しいです。
-	-	-	必要な情報を探さないと手に入らない。
-	-	-	土・日でも諸手続きができるようにしてほしい。

年齢	居住地区	性別	問 43 市の行財政改革の取組みで重要なこと
----	------	----	------------------------

年齢	居住地区	性別	問 43 市の行財政改革の取組みで重要なこと
10・20 歳代	中央地区	男性	市外から見て魅力ある存在にし、ふるさと納税の獲得。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	市の重点目標を市民へ提示。
30 歳代	中央地区	男性	職員の専門職化、人には得意不得意があるのだから、しっかり見極めをし、コロコロ変えさせなければスムーズにはいかない。
30 歳代	豊栄地区	男性	外部評価を行う。
30 歳代	須賀地区	女性	職員の人数を減らす。
30 歳代	椿海地区	男性	PC 系システムを民間企業のシステムと比較し、より住民に使い易いものとする。
30 歳代	野田地区	女性	無駄な支出がないかチェックする。
30 歳代	栄地区	女性	職員の能力に応じた配置や管理体制の強化。
40 歳代	豊栄地区	女性	入口に市の職員がただ立っているのはお金のムダ。挨拶もしない！
40 歳代	平和地区	男性	職員は仕事をしていない。税金は高すぎる！！
60 歳代	中央地区	男性	無駄な事務手続き、事務処理。
60 歳代	椿海地区	女性	産業を振興して「入」を増やし、ムダを排して「出」を少なくするのみ。上記 1～7 は手段の 1 つ。
70 歳以上	中央地区	男性	給与、人員のカット。
-	-	-	経済成長して税収増加できる改革にする。

年齢	居住地区	性別	問 45 付問① 住み続けたい理由
10・20 歳代	須賀地区	女性	友人が多いから。
30 歳代	須賀地区	女性	市内に仕事を持っているから。
30 歳代	匝瑳地区	女性	食べ物が美味しい。
30 歳代	豊和地区	女性	夫の実家に嫁いできたから。
30 歳代	吉田地区	女性	夫がいるから。
30 歳代	平和地区	男性	自営業だから。
30 歳代	椿海地区	女性	家を持っているから。
40 歳代	中央地区	女性	祭があるから。
40 歳代	共興地区	女性	生まれ育った場所だから。
50 歳代	中央地区	女性	気候と新鮮な食物。
50 歳代	中央地区	女性	祭りを守っているから。
50 歳代	匝瑳地区	女性	引っ越しが面倒。
50 歳代	豊和地区	女性	家があるから。
50 歳代	栄地区	女性	自宅があるから。
60 歳代	中央地区	女性	家を新築にしたばかりだから。
60 歳代	豊栄地区	男性	今まで住んでいたから。
60 歳代	須賀地区	男性	生まれた所だから。
60 歳代	野田地区	女性	ちょっと不便だけど。
60 歳代	栄地区	女性	自宅があるので（持家）。
70 歳以上	匝瑳地区	女性	自分の家があるから。
70 歳以上	共興地区	男性	生まれた所だから。昔から住んでいたから。
70 歳以上	平和地区	女性	親の残した土地・建物がある。
70 歳以上	野田地区	男性	農地。

年齢	居住地区	性別	問 45 付問② 住み続けたくない理由
10・20 歳代	野田地区	女性	虫が多すぎ。
30 歳代	平和地区	男性	水がまずい。
30 歳代	椿海地区	女性	二度と住みたくない。
30 歳代	野田地区	女性	将来人口減少し続けたら、店がなくなり、寂しい町になりそうだから。
40 歳代	豊和地区	男性	あまり住みたくないから。
40 歳代	豊和地区	女性	このまま人口が減り続けると、商業施設も交通手段も仕事もなくなって生活に困難をきたすのではという不安。
50 歳代	中央地区	女性	障がい者にとって、とても暮らしにくいから。
50 歳代	豊栄地区	女性	全てに不便。
60 歳代	中央地区	女性	車社会だから。高齢になって運転できなくなると不便になるので。
70 歳以上	野田地区	女性	他県からの人は“よそ者”だそうです。

年齢	居住地区	性別	問 48 人口減少対策として取り組むべき施策
10・20 歳代	豊栄地区	男性	公共交通機関の充実。
10・20 歳代	豊和地区	男性	今、結婚して子どもを持つ事の意義がわからない。
10・20 歳代	椿海地区	男性	市民税の値下げ。市民税の使い道の公表。旭市みたいに大手企業の進出。
30 歳代	中央地区	男性	子どもを産める環境・支援・助成。
30 歳代	吉田地区	女性	核家族に対する支援。地域だけでは賄えない。子育ての不安や社会復帰に対し、もっと柔軟に対応して欲しい。
30 歳代	栄地区	女性	不妊治療に関しての対応。
30 歳代	栄地区	女性	医療機関の充実
40 歳代	中央地区	女性	高齢者の住み良い環境づくり←若者も将来安心に思う。
40 歳代	豊和地区	男性	別に匝瑳市だけではなく、国でなのでだが、消費税を何とかして欲しい。
50 歳代	須賀地区	女性	50 代、60 代の正社員としての働く場の確保。
60 歳代	椿海地区	女性	銚子市から神栖市に転出するのはなぜか。答えはここにあると思う。
70 歳以上	須賀地区	男性	就業産業の活発化。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
10・20 歳代	中央地区	男性	もっと匝瑳市の魅力を県内外に宣伝すべきと考えます。例えば、文化財、伝統芸能を知らない市民の方もいるので、市の再発見につながると思います。また、まちづくりには直接関係はないかもしれませんが、匝瑳という地名の由来は何か、大昔ここはどのような地域だったのかを学校で教えることで、これもやはり市の発見になると考えています。
10・20 歳代	中央地区	男性	色々と聞きたい事があるのはわかるが、項目が多すぎます。もう少し絞って欲しい。
10・20 歳代	中央地区	男性	若者流出を防ぐために、市内の雇用をさらに促進させること重要であると考えます。現在の匝瑳市は働く場所への選択肢が少なく、他の地域で働く場所を求める者が多くなっています。よって若者が安心して働ける場所をつくることができれば、人口

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			減少に歯止めがかかるのではないかと思います。
10・20 歳代	中央地区	女性	平成 26 年度版のハザードマップを見たのですが、主な避難路から避難する為の目印（例えばコンビニ・学校）が記されておらず、住民はともかく、土地勘のない人には全く分からないと思います。旭市では沿岸に防災タワーを建てています。ハザードマップに記されている、野栄地区の小中学校が避難所では不安です。3.11 でも、東北地方で小中学校へ避難しても、津波に呑み込まれた事実があるのです。野栄地区にも防災タワーを建てるべきです。景観の邪魔にはなりません。住民達の命を守る為のものですから。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	これからも匝瑳市に住み続けたいと考えています。若者に対する雇用の支援や、子育てしやすい制度等を充実していただきたいです。よろしくをお願いします。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	トヨタ誘致＝若者の働く場を。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	若い人が住みたいと思えるような町づくりをしてほしいと思います。私の年代の人も県外に出て行ってしまっている人がたくさんいます。私自身、今の匝瑳市には魅力を感じませんし、住み続けたいとは思いません。商業施設がなく、あるのは老人ホームばかり…。それでは活気がなくなるのは無理もないと思っています。もっと匝瑳市をアピールして、メディアに取り上げてもらうようにしてほしいです。→新しい名物を作る。例えば特産品を使って B 級グルメを作るなど。 ここには関係ないですが、匝瑳警察署の人に不満があります。取り締まりされたことはないですが、以前被害にあって届けを出しに行ったところ対応も悪く、その後の報告もいまだありません。本当に捜査したのか疑問です。また、署内には雑談しか聞こえず、全く緊張感がありませんでした。私はそんな人達に守ってほしくもないし、そんな人達の為に税金払いたくないです！！
10・20 歳代	豊栄地区	男性	多古のように住宅会社と協力し、団地を作り、スーパー、ショッピングセンター誘致。賃貸物件を増し、人が住める環境を整える。神栖のように子育て支援を充実させる。旭のスポーツの森のように、市民が運動できる施設の充実をはかる。
10・20 歳代	豊栄地区	男性	正直、交通機関に不便を感じます。JR の本数であったり、バスの本数の少なさは、住んでいてほぼ役に立たないレベルです。せっかく自然豊かで子育てなどにも良さそうなのに…。後はもうちょっと商店（大型）があればと思います。若い人達が住み続けたいと思う環境作りを。（家を買うための土地価格を下げる etc）
10・20 歳代	豊栄地区	男性	匝瑳市で有名な物を全面的に全国に PR していくと、知名度が上がるのではないかと思います。
10・20 歳代	豊栄地区	女性	市役所や市民病院を新しく建て直して欲しいです。建物が古くて、トイレなど利用したくないなと思っています。また、そこを利用する人、働いている人も、新しくすることで気持ちよく過ごせると思います。
10・20 歳代	豊栄地区	女性	匝瑳市が活性化できるように頑張っていきたいです。今、マンションに住んでいるのですが、隣のクレーマーに困っています。相談するのはどうしたらいいのか分かりません。そういった相談場所があると助かります…。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
10・20 歳代	豊栄地区	女性	ゴミのポイ捨てがあまりに多い。美意識を高められないものかと思えます。
10・20 歳代	須賀地区	女性	通学の時間帯（行き帰り）の市循環バス（須賀）の本数を増やして欲しい。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	道路の整備をして欲しいです。
10・20 歳代	匝瑳地区	女性	下水道が無いので早くお願いします。（污水）。
10・20 歳代	豊和地区	男性	子育て家庭にとって、日曜日に診察してくれる診療所が匝瑳市にもあったら良い。（小児科、耳鼻科、皮膚科を全部できる。）のさか公園は広くてすばらしい環境である。他の地区にも自慢できる。
10・20 歳代	豊和地区	女性	○大型商業施策の誘致 ○電車の本数の増加 ○不妊治療費の助成 ○豊和地区の祭の復活
10・20 歳代	吉田地区	女性	匝瑳市の行政はまだまだな活動だと思えます。地域の格差をかなり感じる場面があります。平等にはまだ程遠い環境ですね。
10・20 歳代	飯高地区	男性	若者と高齢者が暮らしやすい生活基盤を作って欲しい。（公共交通機関や商工業、雇用面。）
10・20 歳代	飯高地区	女性	新しいまちづくりを行うためには、働く人々1人1人が市に対して愛着や向上させたいというような思いを持つことが重要であると考えます。市民の声をしっかり取り入れ、よりよい市になるよう活動して欲しいです。
10・20 歳代	共興地区	男性	○税金が高い ○父家庭でとうちゃん大変 ○役所は土・日休みでいいよなあ～ ○家のとうちゃん休みなし ○給与とりすぎ。
10・20 歳代	共興地区	男性	○仕事づくりに積極的に取り組んでほしい（企業誘致、創業支援） ○交流人口の拡大（都市農村交流など） ○地元企業と若者の雇用ミスマッチの克服。 ○安心して子育てできるまちということをもっとPRしてほしい。
10・20 歳代	共興地区	男性	自分を含め、休日等で市内で飲食する事がほとんど無く、旭市や成田市に出る事が多い。つまり、市内にはそういう店舗が少なすぎるという事です。横芝や旭からも買物や飲食に人が来る様な施策を取らなければ、益々市の財政が成り立たなくなるのではと思います。私の周りの人に聞いても、同じ様な答えがかえってきます。国道周辺にもっと多くの店舗を増やす事が必要と考えます。
10・20 歳代	平和地区	男性	匝瑳市と言えば…な目立つものを作る。難読はわかりにくい。ソーサマンももう少し何とかならないか。
10・20 歳代	平和地区	男性	古墳や遺跡自体のアピールや出土品の展示を分かりやすく発信していく。できるのなら観光できるようにする。
10・20 歳代	平和地区	男性	若者たちの交流をもっと作ってほしい。
10・20 歳代	平和地区	女性	市で運営するスポーツジムなどの体力作りができるような施設を作って欲しいです。
10・20 歳代	平和地区	女性	発想の転換が大事。全てに対してグローバル化や、遠い将来を見据えることが必要。
10・20 歳代	椿海地区	男性	野栄のように大型の遊具施設を建てていただきたい。せつかくの植木の町なので、植木のコンテストみたいなことをやってみたら面白いのかと。（旭市の砂の彫刻のような感じ。）祭の神輿を植木のオブジェにしてみるのも、その町のアピール、宣伝、

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			客引きに繋がるのではないかと。
10・20 歳代	椿海地区	女性	現在、椿海地区は子育て中の若い世帯が増えています。しかし、保育所（椿海）に入所できない子がいて困っている方を見かけます。定住してもらうためには、そういった保育、子どもに関することをしっかりしてほしいと思います。市の発展に努めていただき、ありがとうございます。
10・20 歳代	椿海地区	女性	外国人のホームステイ受入を一般の家庭にも推進してほしい。外国人との交流の場を増やしてほしい。
10・20 歳代	椿海地区	女性	公共の交通網が少ないことが、どうしても不便に感じます。今までこのような市からのアンケートに回答したことがなかったので、今回は市政について考える良い機会になりました。今後も市民の意見を聞く機会を増やしていただければと思います。アンケートの方法も工夫して、できるだけ幅広い世代の様々な立場の人の意見が市政に反映されるようになれば嬉しいです。
10・20 歳代	椿海地区	女性	匝瑳市に勤めて 10 年目になり、嫁いで 5 年。今年は新居をかまえ、匝瑳市定住です。これからもよろしくお願いします。
10・20 歳代	椿海地区	女性	○もっと自然を増やした方が良いと思った ○コンビニが増えて、近くに結構あるから ○あまり増やさなくても良いかと思う。それに人も働く人も少ないのに、店が増えてもあまり行けないかと思った。
10・20 歳代	椿海地区	女性	八日市場ドームの前の公園を早く作ってほしい。
10・20 歳代	椿海地区	女性	何が重要であるかの設問の項目は、優先順位はあれど、どれも重要だと感じました。長い年月で見てまちづくりを行ってほしいです。
10・20 歳代	野田地区	男性	○各イベントでインパクトのあるものを行った方がいと思う。（マンネリ化対策） ○匝瑳市には若者、高齢者向けの娯楽施設が無い。（ショップも同様。）
10・20 歳代	野田地区	男性	子どもが安全に遊べるまちづくりをお願いします。
10・20 歳代	野田地区	女性	○電車が少ないと思う ○お店を増やしたほうがよい ○夜、外が暗くてこわい ○人口が少ない ○虫の数を減らしたい
10・20 歳代	野田地区	女性	交通の便をもっとよくしてほしい。遊べる所がほしい。
10・20 歳代	野田地区	女性	某チェーン店のような深夜まで営業している店を増やす。夜、遊ぶ場所がない。
10・20 歳代	栄地区	女性	ショッピングモールがあると便利になる。
30 歳代	中央地区	男性	地井武男さんが命懸けで紹介してくれた匝瑳市の史跡、とりわけ飯高神社の彫刻は、関西方面の彫刻師も視察に来ています。しかし、今にも朽ち果てそうな有り様に皆、心を痛めております。 その昔の先人達が苦勞して遺してくれた匝瑳市の宝であります。技術的にも経済的にも失ってしまっからの再現は困難を極めます。一刻も早く県や国に広く呼びかけ、匝瑳市の宝を失わないように保存し、未来の人達に遺すのは私達の義務だと思います。 公立の保育施設の老朽化は著しく、市内中央地区に居住しながらも不安で、他地区の私立保育施設へ預けている方も少なくありません。一番手のかかる子供達をもっと大切にしてください。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			公園や体育館より保育施設を建て直し、充実させて下さい。子育て世代から支持される匠瑛市にして下さい。 市長に覇気がないせいなのか、職員の方の意識の低さも感じられます。多方面で「お役所仕事」があからさまになっています。学歴等ではなく、匠瑛市を愛し、地元を大切に想う熱い志を持つ人を率先して登用すべきです。 イベント駅前市場も3回目にしてようやく広く知れるようになり、人出も増してきたにもかかわらず終了させてしまい、非常に残念です。後継をうまくやるべきでした。 他市町村の良い所は貪欲に真似、昇華させ、難読だけではなく、まちづくりでも評価され、有名になるように頑張ってください！！
30 歳代	中央地区	男性	今あるものを大切にしてほしい。 すぐに新しいものに着手し、資金の無駄遣いはやめてほしい。 公園もケアをしっかりとすればきれいなのに。草は伸びっぱなし、古い公園のトイレは汚れていても見ぬふりだから、利用者が減るのだ。古くても手が行き届いていれば、人は集まるはず。それを忘れていると思う。
30 歳代	中央地区	女性	総武本線の複線化なしには、市の活性化は難しいと思う。
30 歳代	中央地区	女性	○市役所近くに公園が出来るようだが、進行しているのか。何を目的とした場所になり、どのような構造、何年ぐらいで整備が終わって使用できるのか。 ○商店街をもっと活気があるものにして、子供達が安心して遊びに行ける市になったら、自然といいまちになっていくと思います。
30 歳代	中央地区	女性	○病院を増やして欲しい（特に産婦人科と整形外科） ○成田／羽田空港行きのバスを作って欲しい ○ポストの場所の増加
30 歳代	中央地区	女性	小さい子供がいますが、公園の整備や設計の段階で、もう少し保護者や先生方の意見を聞いて作った方が良いと思うような遊具や公園のつくりになっています。ママ友とも、安全で遊ばせられない、日陰も少ない…など不満が多いです。何かを始める時は、もっとその当事者に話を聞くなどした方が良いと思います。あと、私は埼玉、東京、神奈川、千葉の他の市にもいろいろ住みましたが、八日市場市役所の職員の対応が一番悪いです。窓口に行ってもパソコンを見ていて、担当ではないのか人が待っていても出て来ないで座っている。こんなに動きの悪い職員の多い市役所は他では見ません。もっと勉強すべきです。新しいまちづくりを考える前に、働く人材を教育すべきです。一般企業では考えられないような発言等多いです。
30 歳代	中央地区	女性	プレミアム商品券については、大型店舗でも利用できるので、便利だと思う。
30 歳代	中央地区	女性	匠瑛市のイメージとして、何か新しいことにチャレンジしていく姿勢が乏しいように感じています。旧態依然として、無難に以前からの仕事をしているように感じます。時には一つや二つ全く見方を変えて、地域にある人や資源を使いながら、新しい何かの取り組みを始めてみることはどうでしょうか。失敗してもよいと思います。どこかで新しい切り口を見つける感覚が、これからは大事になると思います。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	中央地区	女性	このアンケートに回答することで、初めてじっくりと匝瑳市の今後について考えるきっかけになりました。市民の大勢の方々にも、こういった働きかけをすることも小さな一歩ではないかなと思います。
30 歳代	中央地区	女性	○市議の定数が多いのでは。選ばれた人たちはもう少ししっかり役割を果たしてほしい。 ○いつまでも地井さんに頼ってられないと思う。
30 歳代	中央地区	女性	匝瑳市の人々はとても感じが良いので、人と人のつながりを活かしたまちづくりをしてください。お年寄りも意外に元気な方が多いので、子どもや若い人々とお年寄りを一緒に楽しめる施設などあるといいと思います。私は他の地元から嫁に来ましたが、匝瑳市の人たちが優しくてびっくりしました。これを活かして何かまちおこしをがんばって下さい。応援しています。病院も旭のようになってくれることを心より願っています。匝瑳市ファイトー！
30 歳代	中央地区	女性	高い税金を納めている割に、市民に反映されている気がしない。これから結婚して出産を考えている者からすると、出産後も働いていきたいので、保育園や幼稚園など、もう少し充実していただきたい。若者が安心して働けるようなまちになってもらいたいです。
30 歳代	豊栄地区	男性	小学生がいつも挨拶してくれます。これだけでいい町ではないのでしょうか。行財政の事にはあまり関心はありません。ただ、弱者を守ったりすれば、人が自然と集まる町になるのでしょうか。
30 歳代	豊栄地区	女性	豊栄地区で空き巣被害があったと耳にしました。家庭でできる防犯対策は行っているものの、そのようなことを耳にすると、やはり不安に感じます。誰もが安心して住める住環境になればと願っております。感想になってしまい申し訳ありません…。
30 歳代	須賀地区	男性	最近よく見かけるのですが、道によくゴミを平気で捨てる人や、自動車の運転中に前にいる自動車が窓からタバコの灰を捨てながら運転したり、吸っていたタバコを捨てる人がけっこう見受けられます。歩行者の方に当たったりしたら非常に危険なことなので、この2点の対策は必要なのではないのでしょうか。
30 歳代	須賀地区	男性	旭市では、若者のイベント（産業などの）などが活発に行われていて、外に出てしまった人たちが地域と一緒に市を盛り上げているように感じます。匝瑳市では商店がシャッター街になっているので、改善したほうがいいのでは…。
30 歳代	須賀地区	女性	○匝瑳の人柄が良く、安心して住んでいられます。役所の方の対応も丁寧で親切だなと感じます。ただ人数が他と比べて多いと思います。他の市へ見学に行って人がガラガラなのを見て、匝瑳にも取り入れてもらいたいです。 ○子どもが将来、匝瑳で就職したいと思えるような職場があれば、定住につながると思います。大企業でなくとも、やる気のある起業者をサポートして、魅力ある職場作りが必要だと思います。 ○都会の子供は、かぶと虫をとったり、おたまじゃくしをとったりすることをすごくはしゃいで喜ぶので、そういう日帰りツアーを旅行会社と協力して作ったら面白いと思います。
30 歳代	須賀地区	女性	税金が高すぎる。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	須賀地区	女性	○近隣の市では 18 歳まで医療費が無料です。匝瑳市では 18 歳まで無料にしていきたいと思います。 ○二中の近くの道路に路上駐車の手が多いので、なんとかしていただきたい。
30 歳代	須賀地区	女性	緑のある良い町づくりをしたいと思う。もっと沢山の商業施設を作ってほしい。安全な道や道路を通れやすいような道を作ってほしい。子供達が安全に暮らす町づくりにしたい。障がい者や高齢者が転倒しないように、段差は少なめにして、歩けるような手摺を付けた方が良くと思う。
30 歳代	須賀地区	女性	○中学校の制服をそろそろ変えた方がいいと思う。 ○中学は義務教育なのに、入学時にお金がかかりすぎると思う。制服・自転車・部活で着用するものなど、もう少し支援があってもいいのでは。 ○子どもの医療費、4 年生になると、一時自己負担になります。申請が大変です。なぜ受給券にしてくれないのでしょうか。戻って来るお金なら、受給券にしてほしいです。そういう事に時間を使うことがとても大変です。
30 歳代	匝瑳地区	男性	4 万人たらずの市に無駄に多すぎる市議会議員。そのうち 2 名が夫婦とは馬鹿馬鹿しい。選挙ポスターで目指すべき主張やスローガンを掲げずとも当選してしまうという異常な光景。市議会議員の削減。町の美化（ゴミの不法投棄がひどい）。市民のモラルの向上（カインズ等の障がい者優先スペースに何の躊躇もなく車を停めるバカが多すぎる）。シートベルトのチェックだけに力をそそぐおまわりさん。
30 歳代	匝瑳地区	男性	ゴミの値下げ
30 歳代	匝瑳地区	女性	レジャー施設がなさすぎる！！わざわざ旭や横芝光に行って遊びに行くのはめんどろ。飯倉駅の周辺は何かできないのでしょうか？子供達の遊ぶ場所が欲しいです。
30 歳代	匝瑳地区	女性	児童館をもっと利用しやすい場所に、高学年でも利用可能、かつ季節のイベントや地域交流の場として作って欲しい。公園などの遊び場や、地域のイベント会場などもあれば、子育てしやすいと思います。
30 歳代	匝瑳地区	女性	個人的には（観光強化等を見込んで）レンタル自転車の整備、自転車道の整備とかが進むと、色々便利かなと思いました。
30 歳代	吉田地区	女性	吉田地区在中ですが、保育所や学校（学童）でも、いつも人数が少なく少子化の為、不自由。（延長保育ができないや、土曜保育は他へ通所や、長期休暇は他学区へ通所）等強いられています！！子供をたくさん産むよう公言し！！地域格差をつけ！！同じ市税を強いられ！！労働、雇用も確保してもらえず、誰が子供を産むのですか？未来を、宝を殺しているのは市の方針だと思います。
30 歳代	飯高地区	男性	ゴミ袋代が高すぎる
30 歳代	飯高地区	女性	匝瑳市を客観的に見ると、実はかなり自然や産物に恵まれている地域だと思う事が多々あります。それらをじっくりと理解し、色々な分野がうまく連携して“The 匝瑳”と他県から思われる様な体制が必要ではないのかな～と思います。難しい事かもしれませんが、次世代に残せる“The 匝瑳”を作り上げていければ良いなと思います。 汚い字ですみません。手がもう疲れました…。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	飯高地区	女性	選挙の投票など、投票所まで遠くて歩いていけず、一人暮らしのお年寄り投票所に行きたくても行けない人もいます。
30 歳代	共興地区	男性	隣接市町村よりも、全ての面において劣ってしまっているのが残念である。「買い物は旭市へ」「仕事は成田へ」といったパターン化しているのではないかと企業を進んで誘致・斡旋してはどうだろう。
30 歳代	共興地区	女性	子育てや学校等、他の市町村とは違っても、今後のこどもの為になる事を進んでやってほしい。子育てが難しい市では人口は増えないと思う。匝瑳市で育てたいと思えるまちづくりを期待します。 不法投棄や大気の新オイ対策もしてもらえると嬉しい。夏に暑く窓を開けていたくても、獣舎？の新オイが強く、開けていられない。引っ越してきて後悔したと思う事もある。窓を閉めていても新オウ！！
30 歳代	平和地区	男性	○なにより個人個人の匝瑳市に対する行政や財政に対する意識の向上が大事。 ○市内東谷 563 付近の十字路の止まれの看板が曲がっていて見えないので、とても危ないので至急の対応を願いたい。
30 歳代	平和地区	男性	○ほかの市町村の人達に自慢できる事が何もない！ ○もっと雇用に力を入れていただきたい！ ○できれば住み続けたいが、何もないし、市税も高いと他に行くしかない。 ○みどり平の工業団地に大企業を誘致していただきたい。 ○とにかく雇用に力を入れない事には、人も金も他の市町村に流れてしまうので、しっかりして欲しい。
30 歳代	平和地区	女性	○以前東谷の所の交差点にガードレールつきで歩道を作ってください、ありがとうございます。現在、谷中方面に帰る子どもたちが増えてきています。大利根用水方面へ歩道を作ってもらえると、事故の未然防止につながると感じます。旭方面への抜け道として、大変車の通りが激しくなっています。地域と子供の命のためにお願いしたいです。 ○療育の件ですが、療育を必要とされるお子さんがたくさんいますが、母や家庭の理解（受けとめ）がないため、子どもが苦しんでしまいます。不安ということは、療育の意味や内容などが全体を通して分からないんだと思います。地域の園や保健センターなどを市を中心に、もっともっと理解と紹介をする必要があると思います。障がいがある・ない関係なく、子どもが自信をつける場としてもっと発信した方がいいのでは？未成年による犯罪が増えています。きっとその子の親も自信がなく、子どもと向き合えない…。そんな負の連鎖が重なり、弱い相手、何も関係のない人に行く前に、幼少期の子育てをいろんな目で応援し、認めて、しっかり自信をつけて大人の社会人へ育てていくのが、次への私たちの役目ではないかと思えます。みなさんのお力が、次の子どもたちの希望です。夢と希望、自信をつけられる未来にしてあげたいです。
30 歳代	平和地区	女性	「八日市場ドーム」を気軽に利用できるように、人が集まるように変えたらいかがでしょうか。旭の総合体育館は常に習い事で使用されていたり、フィットネスもたくさんの人々で利用さ

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			れています。せっかく立派なドームがあるのに、今のままではもったいないと思います。
30 歳代	平和地区	女性	○市民に対して税金の使い方を明確にしてほしい ○嘘偽りのない市議会議員 ○お金の無駄遣いはしないでほしい
30 歳代	椿海地区	男性	現在は大学で都会へ行く人が多いが、それは仕方がないが、その後いざ就職となると家業、公務員以外は戻ってきても仕事がない。介護等で帰らざるを得ない人の場合はより重大な問題で、30 才を越えたら転職し以前の生活を維持する事は不可能に近い。仕事をし、生活が出来るというイメージが全く沸かない。現在の社会においては、ある程度の収入がなければ子供を育てる事も不安であろう。親との同居も今後、ますます減る事は明らかであるので、新規採用、中途採用問わず、雇用の充実が市民にとっては必要であり、税金が増える一方の現状においては、若者の家庭において子供よりも仕事を取り生活するのは当たり前前にも思える。子への援助と低所得者支援は今後を考えるに重要であるが、何よりも仕事がなければ始まらないのだから、企業誘致が最も急がれるのではないのでしょうか。人口が集中している地域、近隣市町のマーケティングなど分析が重要なのではないのでしょうか。
30 歳代	椿海地区	男性	市が財政破たんしないように、無駄なく考えていってほしい。
30 歳代	椿海地区	女性	今いる子供達を大切にすることが一番早くやることだと思う。市中の通学路で舗装されていない所がどのくらいあるのか、夜に街灯がなく暗い所がどのくらいあるのか把握していますか？せめて通学路だけでも早く整備するべきです。事故が起こってからでは遅いと思います。
30 歳代	椿海地区	女性	○子育てをするにあたって、自然環境はとても良いが、何かあった時に気軽に相談できる場があったら良いと思います。 ○みんなが好きで注目できる食べ物が匝瑳市の食べ物となれば、他の市町村からも観光に来てくれるのでは…と考えます。
30 歳代	椿海地区	女性	○ごみ袋の値段が高すぎる（買いたくない。） ○触れあう所が少ないせいで、他人他人している人が多い ○市役所のいい加減をやめて欲しい ○市役所の人間の言い方など直して欲しい（特に市民課） ○空き家など人が住んでいない建物などは、低価格で母子家庭などの方の住まいとして貸し出すなどして欲しい。家の家賃が田舎のわりに高い。 ○ショッピングモールがないため不便 ○遊ぶところがないので、つまらない ○夜の暴走族がうるさい ○言葉遣いが悪い。聞き取れない。とにかく住みづらい。人口が減っても仕方ない。
30 歳代	椿海地区	女性	道路は整備しても、途中でまた細くなったりと、しりきれとんぼ…。整備するならするで、しっかりとしてもらいたい。また、補修するといつて全然話が進まない道路もあるが、一体いつになるのやら…。特産品として赤ピーマンになっているが、市民ですら知らない。一部の人しか知らないのではないか。作っている地域すら知らない。赤ピーマンドレッシングがふれあいパークに売っていない。意外と美味しいのに。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
30 歳代	椿海地区	女性	匠瑛市は住みやすい町だと思いますが、お祭り以外の観光名所や特色があまり思い浮かびません。植木の町という事も知っていますが、主要道路を走っていても、あまりその事を感じる事はありません。国道沿い等の目立つ場所に、匠瑛市の良いところ、特色がわかる施設等があったら…と思います。
30 歳代	野田地区	男性	難読地名であることを活かし、強みの一つである農業の専門用語の中から一般の人では読めない言葉をピックアップし、クイズラリーやご当地クイズなどの形式で紹介していく。関連した農業の営みも紹介・体験などをしていくことで、楽しみながら匠瑛の魅力をアピールしていく一石になるのではないだろうか。
30 歳代	野田地区	男性	今まで以上に、またこれからも「自分自身」を含め、「市民全員」が「切磋琢磨」してがんばっていきましょう。これが私自身の意見です。
30 歳代	野田地区	女性	匠瑛と言ったら植木なので、もっと植木産業に力を入れるべき。また匠瑛の食はおいしく質が良いので、もっとたくさんの物をブランド化するべき（料金を高く）。 ex. イチゴ、ハマグリ、牛、卵、トウモロコシ。そして上記のアピールを日本語だけではなく、中国語、英語、タイ語…の HP を作成し、世界に配信するべき！
30 歳代	野田地区	女性	市民の意見を聞くアンケートをするのはいいですが、まず市役所を定年された方々が市の仕事に携わっていることを改善されたらいかがでしょうか？1人2人じゃないですよ。少ない金額の年金受給者、仕事が無い人達、沢山いますよ。正直、理解できません。行政改革に取り組んでいます、とアンケートに書いてありましたが、まずそこからではないですか。市民は意外に見ています。
30 歳代	栄地区	女性	他県町市からの人寄せとして、何らかの施設があると良いと思う。
30 歳代	栄地区	女性	工事途中の道路の整備を早く行ってほしいです。また、道路が広くなったのに信号が付いてない場所があり、とても危険なので、そこには一刻も早く信号を付けて欲しいです。
30 歳代	栄地区	女性	発達障がいをかかえる子供や兄弟に対し、サポート体制を強化して頂きたい。知的に問題がない為に、周囲から誤解されたり、偏見の眼で見られる。また、市主催のスポーツ教室等に参加しても、個々にあった指導を受けられず、保護者も子供も嫌な思いをする。全ての市民が生きやすい匠瑛市を作って頂きたい。役職を持つ方にゴマスリをする職員は必要ない。
30 歳代	栄地区	女性	匠瑛市を離れる若い人達がふる里で過ごせるよう、就労・結婚・子育ての充実した市になるよう願います。また、高齢者に対し、特に認知症の高齢者や重度の利用者はもちろん、その家族や身元引受人に対する費用等の控除等希望します。
30 歳代	栄地区	女性	ゆとりがある生活にしたい
30 歳代	栄地区	女性	図書館の図書数を増やしてもらいたい。市民病院をもっと専門的な医療を安心して受けられるような状態にしてほしい。ゴミ袋の値下げをお願いします。友人など皆が驚きます。
30 歳代	栄地区	女性	学校教育関係ですが、耐震工事等進めて下さっていますが、工事期間中の在校生における学校活動の制約について、あらかじめ、保護者や児童に文書等で通知するべきだったと思う。住民

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			としては避難所等になりうる施設の建設等に反対することはないが、市の学校へ出向いての説明が不足だったと思う。現場の教職員に説明をまかせっきりだと思う。飛躍しますが、工事現場は現在も安全であるのか？児童にはどのような影響があるのか、もっとちゃんと把握したらどうでしょうか。（先生の仕事ではないです。）
40 歳代	中央地区	男性	市町村の合併
40 歳代	中央地区	男性	○大綱白里、富里等の人口が増えている地域の事例の研究。 ○市民と一体となったまちづくりを行う。
40 歳代	中央地区	女性	もっと交通の便（終電、高速バス）が良くなるとよいと思う。
40 歳代	豊栄地区	男性	○広報そうさは、新聞に入って来る為、新聞をとっていない家庭には届きません。そうすると、納税しているのに不公平が生じていると思う。また、匠瑛市民病院は夜間になると検査が出来ないと言われ、泣く泣く旭中央病院へ行った経験があります。もう少し医師免許を持っている人がいるなら、高額な給料を支払っているの、1 回ぐらい診てもらいたいと思う。※「ヤル気の有る医師を匠瑛市へ！！」でお願いします！！
40 歳代	豊栄地区	男性	八日市場二中の制服をデザイン一新してほしい！もう 50 年も同じままだ！引越しても八二中に入学したいと思われる学校にしたい！自ずと人口も増す！地域最大組織の商工会の理事の大半が高齢すぎる！40～50 代を投与すべきだ。
40 歳代	豊栄地区	女性	「給食費、子供 3 人目以降は無料」等、必要以上の助成は不要だと思います。給食費の場合は、生活保護を受けている人や本当に困っている人達を除き、きちんと払ってもらい、中身を充実させてほしいです。また、いろいろ助成制度はあるようですが、対象者にならないと分からない（知ることができない）ので、一度すべて公開し、本当に必要なものかどうか検討した方がよいと思います。
40 歳代	匠瑛地区	女性	子どもが安心して遊べる場所として児童館を希望します。青少年ホームの耐震工事も確かに重要であったと思いますが、どうせなら思い切って児童館＋市民の憩いの場、遊びの場＋子育て支援の場となるような建物に建て替えてもよかったですのでは。
40 歳代	豊和地区	男性	何か試作品の物を用意して、配ってアピールをすれば良いかなと思う。祭やイベントをアピールすれば良いと思う。
40 歳代	豊和地区	女性	○人口減少を止める対策が急務と思う。 ○若い人の仕事がなく、都会や県外への流出が激しい。他の地方に比べて企業誘致がなすすぎるのでは。 ○都会への交通手段がもっと便利になれば、市内に住みながら（都会へ）通勤が可能となり、人口流出が止められるのでは。（公共の高速バス、電車の運賃を安くする、ダイヤを増やすなど。）
40 歳代	豊和地区	女性	産廃や残土の埋立許可はもっと厳しくしてほしい。飯高檀林のような史跡近くに許可すべきではないと思う。
40 歳代	吉田地区	女性	若者の働く場所を増やす。新しく作って欲しいです。就職する場所が少なすぎる為、若者が成田や都会へ行ってしまう、人口がどんどん減っているのではないかと感じています。子供がいないと大人は元氣になれません！！
40 歳代	飯高地区	女性	路線バスが廃止され、通学がとても不便です。子育てしながら仕事をしたいのですが、子供の送迎を考えるとどうしように仕事

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			ができません。中学校もスクールバスを朝だけでも出してもらえると助かります。人口減少が進んでいる中、老人は増えても若い世代はどんどん出て行き、移り住む人は増えないと思います。
40 歳代	共興地区	男性	まちづくりの中で、人口減少にかかわる政策に力を入れて欲しい。若者に帰ってきて欲しい。私は 40 代だが、コミュニティの中ではまだ“若者”です。20 代、30 代の本物の若者に来てほしいです。
40 歳代	平和地区	男性	早急に若者の働く環境を整える事です。その為には、新規参入の企業を誘致しないと、匝瑳市の労働者人口の減少は止まらないでしょう。他の発展した市と比べたら一目瞭然です。今こそ既存の枠に囚われず、決断の時が来たと思いますよ。前に進もう匝瑳市よ！
40 歳代	平和地区	男性	毎年、高額な税金を払っているのに、市内の雰囲気は全く良くなりませんね。ムダな政策ばかりでは税金を納める気も無くなります。給料をもらうだけで役に立たない職員は全て辞めていただきたい。
40 歳代	椿海地区	男性	ゴミ袋の代金を値下げ！他市町村と比較してみると、割高だと思います。
40 歳代	椿海地区	男性	独身者の為に、定期的に女性と交流するイベント、場所、施設、スポーツ交流。
40 歳代	椿海地区	男性	転入時にもらった案内紙にゴミの収集日が載っていない。問い合わせたら返答は「地域によって異なり、複雑だから載せていない」。そのまえがきに「非常にわかりやすい」と寄せた市長（の代筆担当）。引っ越して 1ヶ月も経たないうちに納税しなくなかったのはここが初めてですよ。
40 歳代	椿海地区	女性	子供達が遊んだり、市民が運動できる公園や施設をたくさん作ってほしいです。道路で遊んだり、歩道のない道や街灯のない道、人通りのない道のウォーキングなど危ないので。ふだん子供達の遊ぶ所が少ない。
40 歳代	椿海地区	女性	現在行っている市のまちづくりは良いと思います。これからも続けて下さい。
40 歳代	椿海地区	女性	○商店街がさみしくなっているので、もう少し活性化するといひ。 ○子どもは受給券を中 3 まで発行してほしい。（後日の手続はとても負担である。） ○支援学校、作業所のお店を作ったらどうか。
50 歳代	中央地区	男性	春海にある香取海軍航空基地との掩体壕を、市の重文に指定した方が良いと思います。壕とまわりの土地を市が買い、公園として整備する。壕の中に航空機（実物大）を置く。第二次大戦のものと言わぬ証人として、平和の大切さを伝えるためにも保存は必要だと思います。基地からは特攻隊も出ているので、後世に伝えるのも市の責務の一つだと思います。周りの市（旭、多古、香取、横芝光）などと連携を強化する。
50 歳代	中央地区	女性	昨年他県より越して来ました。温暖な気候、新鮮な食物に日々楽しく生活しています。しかし、他県から来て、少し驚いている点もあります。 1. ゴミのポイ捨て、不法投棄が多く、道路にゴミが落ちていること。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			<p>2. 犬の散歩で気付くのだが、糞の始末をほとんどしていない。以前住んでいる市では、回覧板で犬の糞の始末をするように回って来たりしていた。ほとんどの人は必ず始末しているが、この人々は手ぶらで散歩しているので、放置している。（市で徹底してほしい。）</p> <p>3. 下水道の設備がない為、汚水の臭いが気になる。</p>
50 歳代	中央地区	女性	<p>市役所周辺の公園づくりに期待しております。桜の名所になるとよいです。周辺住民、市役所を訪れた人たちの健康維持に役立つことと思います。匝瑳市民として、これからもよろしく願いいたします。日頃のご努力に感謝しております。ありがとうございます。</p>
50 歳代	中央地区	女性	<p>匝瑳市は自然環境は良いと思います。きじ、うぐいす、ふくろう、いたち等、そばで鳴いていたりすると癒されます。確かに八重垣神社の祭りは有名だと思いますが、他に何が有名？何かあるの？と聞かれた時に即答できないです。また、仕事で他市に転出した時に同じ県内でありながら、そこは何県ですか、と役所関係に聞かれたことがあり、まだまだ匝瑳の存在は薄い。ショックですよね。もっと魅力ある、活気ある匝瑳にしましょうよ。高齢化は仕方のないこと。でも若い人達が「やっぱり住むなら匝瑳でしょう！」と言ってくれるように、がんばりましょう。</p>
50 歳代	中央地区	女性	<p>このようなアンケートはとても大切なことだと思います。障がい者にとって筆記は難しいです。筆記方式だけでなく、パソコンから回答もできるようにしてほしい。そうでないと回答したくてもできない人もいます。障がい者の意見などはごく少数だと思いますが、省くことなく、しっかり耳をかたむける市政であってほしいと願います。</p>
50 歳代	豊栄地区	男性	<p>飯倉駅周辺の活性化。買い物（食品等）を車がなくても出来るようにしてほしい。年寄りには不便この上ない。年寄りがいる家には、時々声かけをしてほしい。（孤立感、不安感がなくなるので。）</p>
50 歳代	豊栄地区	女性	<p>ここ 25 年間住んで、全く住み良くなったと感じません。もっと危機感を持って町づくり対策に取り組む姿勢があると良いです。</p>
50 歳代	豊栄地区	女性	<p>国道付近に医療（市民病院）福祉サービス作り、特産品販売の充実。（そうさ道の駅）。</p>
50 歳代	豊栄地区	女性	<p>この件と関係があるか分かりませんが…。50 才以上の乳癌検診に、3 年でも 5 年でも一度エコーを入れて欲しいです。</p>
50 歳代	豊栄地区	女性	<p>1. 産業等について ○例えば…匝瑳市にも多古米に負けないお米を作る農家さんがいます。そういう誠実に美味しい作物をつくる方だけを募り、ブランド化しては如何でしょう。 ○例えば…ちいち茶屋は市の収入となっているのですか？無駄なものは排除した方が良くと思います。</p> <p>2. 病院について 医師確保の方法として、「紹介して下さい。謝礼を払います。」と市民に呼び掛けるのはいかがなものですか。その様なやり方でしか運営していけないのであれば、市民病院はやめ、民間の病院を誘致した方が良くのではないのでしょうか？</p>

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			3. 市民課等のサービス 民間のサービスの仕事はシフト制がほとんどです。役所もシフト制にすると、土・日のサービスも充実していくと思います。
50 歳代	豊栄地区	女性	○市民病院について 前院長の時とは明らかに違うほど衰退が著しい。医師を呼び込めない根本的なことを解決しないと、このままでは安心して受信することができない。循環器系の病院であったのに、何の特色もない病院になってしまった。患者の割に職員の多さが目立つという声もあります。 ○出先機関の運営が適切に行われているか監査するべきだと思います。
50 歳代	須賀地区	女性	○駅の近くに駐車場が欲しい。有料でも仕方ないが。電車を利用する時、横芝駅まで行って、駐車している。 ○働く場があり収入を得ている人達が子供を持っているのだから、子育て支援は必要なし。働く場も収入もない高齢者の支援をすべき。 ○公園や記念碑等にお金を使う必要もなし。
50 歳代	須賀地区	女性	市内循環バスの利用が少ない。 ○燃費の良いライトバン形式に！（10人位乗ればいいのでは） ○弱者、高齢者など（買物、病院など）1回100円で使えるようにしてもらえると嬉しい。 ○駅のトイレがいつも汚れている。花壇など花があるときれいだなと思い、心も豊かになる。（植木の市、何とかならないのかな？）
50 歳代	匝瑳地区	男性	○匝瑳市は（食べ物）食堂が少ない。 ○高速バスの便が不便である。 ○食事する所が少ない。 ○電車、バスの時刻本数を増やしてほしい。
50 歳代	匝瑳地区	男性	歳出を減らせるのなら、市民で出来る事は市民に。市の条例も、悪質な事例に対しては罰則を。
50 歳代	豊和地区	男性	某市議の議会レポートでは、市民病院を新築するような答弁があったとのこと。今の市の財政などから考えても、新築する必要がないと考えます。果たして、医師などの確保ができるのでしょうか？銚子市の二の舞は御免です。現在でも病院の方へ多額の予算を入れているのに、この上更に大切な税金を投入することには反対です。市役所の北側公園工事（テニスコートもある？）や給食センター脇にもテニスコートを作るような話を聞きますが、今匝瑳市でどれくらいの方がテニスをするのでしょうか？どうせなら、ゲートボールコートの方が喜ばれると思います…。自分は悲しい事で、地元のドームの運動施設の貧弱さもあり、差額を負担しつつも旭市のトレーニング施設に通っています。もっと有効な事業に血税を使って下さい。
50 歳代	豊和地区	男性	提案もしたいが、時間的に余裕がない。
50 歳代	豊和地区	女性	もともと匝瑳市にある歴史や祭り、伝統工芸などで市をアピールして、観光などで人を集めることはできませんか？佐原で行っているようなことを、同じように古くからの匝瑳で行うことはできないのでしょうか？意外と地元の人は何とも思っていないようなことが、好きな人はわざわざ遠くから来るというようなことがあるのではないのでしょうか？もっと活気のある匝瑳市

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			にしたいです。
50 歳代	共興地区	男性	環境の良さを生かして、介護や福祉、学校、またその関連施設の福祉地区を作りたい。
50 歳代	共興地区	女性	1. 八日市場駅南口がまったく利用されていない。北側と南側をつなぐ道路が直接ないためだと思います。あのままでは、あまりにもったいないです。 2. 共興地区北側の大利根用水路への不法投棄がひどいです。個人のモラルの問題なのですが、それだけでは済まない状態です。監視カメラなどの設置はできないのでしょうか？ 3. 第 38 号匠瑳議会だよりから、なぜかやたらに日本語英語のカタカナが多い。(例) ビジョン、マニフェスト、プレミアム、フィルムコミッション、メディア、コンセプト、フォロワー、ニーズ、オペレーター etc やたらにカタカナ英語で文章をごまかしているとしか思えません。これらのカタカナ英語の正しい意味をすべて言える人が市内に何人いますか?! バカな文章だと思います。
50 歳代	平和地区	女性	職員が多すぎる。合併すべき。
50 歳代	平和地区	女性	色々な意味で利便性が低い場所だと思う。商業施設なども旭市と差がありすぎる。市内で買い物ができない。病院がない。教育が受けられない。
50 歳代	椿海地区	女性	○働く場、企業が沢山あったらと思います。働く所が無いので、若い人達が皆県外に出て行ってしまふ。例えば保育士の資格がなくても補助員的に働けるとか？子供が好きで子育ての経験がある人でやる気のある人なら、資格がなくても大丈夫みたいな…。 ○地産地消に力を入れる。 ○高齢者が増えていくので、高齢者が入所しやすい施設を作って欲しい。
50 歳代	椿海地区	女性	以前、国道沿いにヤギが飼育されている様子をよく見かけました。非常に感じの良い光景だと思いました。運転しながら一瞬癒されました。癒されスポットのあるまち、というのも素敵です。
50 歳代	椿海地区	女性	不燃ごみ袋の小(20枚入り)は販売していましたでしょうか。
50 歳代	野田地区	男性	のさかアリーナ、八日市場ドーム等を利用している人達は、いつも同じ人達のような気がしています。もっと多様に、多くの人達が利用出来るようになったら…と思っています。
50 歳代	野田地区	女性	医療施設(=市民病院の機能強化)、介護施設の拡大を望みます。
50 歳代	野田地区	女性	結婚していない人が多い。子どもが少ないという事では、匠瑳市の高齢化は進む一方である。結婚したくても、出会いの場がないという声もあるので、結婚への支援(アイデア)をお願いしたい。若い人の声、フレッシュな案を生かして行ってほしい。10年後、20年後には、自分も老人の仲間入りをしているので、安心して暮らせる町づくりをお願いしたい。若い人(福祉の担い手)は少ないと思うので、ボランティア活動、シルバーパワーを充実させ、市民みんなで助け合って暮らしていきたい。
50 歳代	栄地区	女性	また、いつ大きな地震が来て、津波が来るか分からないので、海岸の整備してほしいです。磯がなくなってから10年以上になるのに、いまだに海岸の整備が出来ていない。海岸の近くに住

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			む人は死んでもいいという事でしょうか？
60 歳代	中央地区	男性	1. JR 八日市場駅が緑の窓口ができるような（JR も認める）まちである事。 2. 安全性について。八日市場市内の旧道に、数か所信号が必要ではないか。旧道がバイパスのようになっている。 3. 高度な医療ができる市民病院が必要。新しい病院を建設すべき。現市民病院は、介護・老人ホームに改築してはどうか。 4. JR 八日市場南側に開発が必要。 5. 旧 JT 跡地の活用。
60 歳代	中央地区	男性	農、海産物に力（アピール）を入れるべきと思う。基本は食です。自信を持って提供できる食材はたくさんあります。
60 歳代	中央地区	男性	“まちづくり”について、最初に思いつくのは景観についてです。126 号沿いの数あるお店のうち、あるパチンコ店の電子広告塔の存在感が他を圧倒してまちのイメージを破壊しています。これでよいのでしょうか？ 匝瑳市のまちづくりの方針は、たとえ他に誇るべき観光資源に恵まれていなくとも、ふつうの住人がふつうに幸福に暮らし、家族を養っていけるまちということでしょうか。そのための景観であり、田畑、山林も含めた“自然環境”の保存と向上であろうと思います。そのために市の当局の人たちだけではなく、住人、市民たちが自由に意見を交換し、問題点を見つけ出して、その解決に力を合わせるという方向に進んでいけたら、と願っています。
60 歳代	中央地区	女性	若者が居住したくなる教育・福祉サービスの定着。若者を増やすことが重要！
60 歳代	中央地区	女性	日本版 CCRC の必要性が言われています。匝瑳市はとても良い環境を提供できると思います。
60 歳代	中央地区	女性	○植木の街らしい植木見本公園を作ってみたら…。 ○住みたくなる街、うらやましがられる家を目指して…！！ ○最低 100 坪宅地の街づくり！！（多古のニュータウンのような…）田舎らしく広々した宅地。 ○道路整備をしてから街並みを…（農地からの転用は美しい街にはならない。） ○安心、安全な街、食物作りを目指してください。 ○駅を核に街づくり再編成！！（駅を降りたら駅前の光景はナンナンダ…）ヒドイ！！ ○不燃ゴミ袋の小サイズを是非作って下さい！！
60 歳代	中央地区	女性	中央地区内で、庭でのゴミ燃しで火災がありました。私の町内でもいまだに 2~3 軒庭で燃やす家があります。なかなか注意できずにいて困っています。大きな火災になる前に、消防の方が回って確認してほしいと思います。ゴミ燃しに限らず、木の枝や草が、犬の散歩中のマナーなど、近所の方だと注意できない事が多々あるかと思っています。見回りをしてくれるシステムがあったら、街中も美化され、安心につながるかと思っています。安心、安全は市民にとって一番の望みかと感じますので、宜しくお願い致します。
60 歳代	中央地区	女性	○アクセスの充実 本数の増加。最終電車の延長。成田方面へのアクセス（車を運転しないので、朝晩何便かあれば、買物、仕事、学校等通えるのでは。）

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	中央地区	女性	<p>○子育てに対して応援して欲しい。子供を生んで育てようとする環境を整えてあげる。</p> <p>○若い人が働ける職場を多くする。</p> <p>○空き家等の活用。</p> <p>○大型スーパーに行くと、親子で買い物に来ているファミリー層も見かけるので、何か支援できる事がないか考えてみる。</p>
60 歳代	中央地区	女性	<p>町の商店街で買い物をしよう心がけているが、やはり便利な大規模店を利用しているのも事実。一軒一軒の個人の店がお互い利用することを心がけることが大事。一般の人へも個人の店を利用するよう、市としてももっと宣伝してほしい。ふれあいパークのようなものが駅周辺にあれば、大型スーパーよりもそこで買いたいと思う。イベント広場などあれば良い。そこで時々イベントでもあれば、他地域からも匝瑳市を訪れる人が増えるのでは？観光としても役立つのでは？</p>
60 歳代	豊栄地区	男性	<p>所得の少ない人への支援を第一に考えてもらいたい。</p>
60 歳代	豊栄地区	男性	<p>産業都市化で市の財政を回り、また市民への税金の軽減を図るとともに、働く場所（働きやすい）の確保も必要と思われる。市政を安定させるには、市長・市議等の力が大きく、期待をしております。</p>
60 歳代	豊栄地区	女性	<p>もう少し家の近くまでバスが何本か（シャトルバスのような）お願いしたいです。家の空き家がまずいと思う。福祉は住宅に始まり、住宅に終わる。</p>
60 歳代	須賀地区	男性	<p>○誰でも就職先のある町にするには？</p> <p>○匝瑳市を東京のベッドタウンにするには？</p> <p>○人口増加策を真剣に考える</p> <p>○予算がないと言わないで予算を自分でひねりだす。</p> <p>○今後町の格差がつき、格差移動が起こります（税金や公共サービス、物価、平均所得、インフラ）</p> <p>○簡単にできるところから始める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店を将来の自分のために育てる啓蒙活動を推進する ・買い物、外食は市内です（不備な場合は不足の店舗を誘致する） ・商店街がなくなると大型店とコンビニが残ります。大型店は将来人口減少で採算悪化し撤退するでしょう。残るコンビニの独壇場となりますが品質、価格、品揃え、愛情に欠けます。これも採算にとってもシビアです。 <p>○現在は供給過剰ですが将来は需要過剰となり、価格の上昇、税金の上昇、交通コストの上昇、医療費の値上げと生活が苦しくなるでしょう。</p> <p>○自宅に若者がいない家が多くなっており、家族を守る新しいシステムを早く作らないと、家庭も匝瑳市も無くなってしまいます。</p> <p>○空き家、耕作放棄地の活用を考えましょう。</p> <p>○匝瑳市は公務員の多い街だそうです。そういえば市民活動されているのは大部分元公務員の方々です。所得や時間的な関係でそうなっていると考えます。発言権の強い、元公務員の方々中心に市政を運営していくと将来それ以外の人は生活保護所帯となるかもしれません。</p>

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			これらのアンケートを、ただ集計データ化するだけでなく、よく分析して将来のヒントとして具体的な行動につながる生きた仕事として継続して運動してください。匝瑳市の将来は企画課にかかっております。よろしくお願い致します。
60 歳代	須賀地区	女性	○市役所をもっと行きやすい場所にしてほしい。用事で行かなければならない時、気が重い。 ○弱者、困っている人に寄り添ってほしい。子供の医療費をなぜ有料にしてしまったのか、行きたい時に行けない人もいる。医療費削減を考えるならば、体力づくり、高齢でもできる体操教室等を充実させるべき。今のスポーツ教室等を年間を通じて出来るようにしてほしい。
60 歳代	匝瑳地区	男性	町並みが昔のままで、田舎の感じで魅力のない町だと思う。国道を一步入るとすべてが狭い。
60 歳代	匝瑳地区	男性	普段なかなか自分と家族の住む匝瑳市について、しっかり考える事もなく、日々過ごしておりましたが、今回このような機会を与えて頂き、感謝致します。 最近の匝瑳市の中心である旧道から、駅に向かう歩道や道端、国道の歩道側等の雑草が、非常に気になっております。お店の前でも草だらけ・・・悲しくなってしまう。自分たちの街をきれいにすることは、匝瑳市に対しての愛着意識を高めることにつながると思います。 祇園祭があるから他に住みたくないという人がいると聞いたことがあります、それだけじゃなく、子供たちが、大人になっても住みたいきれいな街づくり。 子供達（小・中学生・高校生）を含めたボランティア活動や老人クラブ等での奉仕活動を企画実行することは、出来ないのでしょうか？私の住んでいる地域は、年間定期的に草刈り作業や農道整備等奉仕活動があり、全戸が協力して美化に努めております。明日は、ごみゼロの日。ごみゼロだけでなく雑草取りの日も如何でしょうか？みんなできれいな匝瑳市にしませんか？
60 歳代	匝瑳地区	男性	市民病院の皮膚科はせめて週 2 日くらいにしていきたいと思います。
60 歳代	匝瑳地区	女性	老人施設に入れるか心配です。
60 歳代	豊和地区	男性	中学生の通学自転車道路は何十年も改善されないまま、危険な状態が続いている。
60 歳代	豊和地区	女性	人を育てる時間、今すぐ行動に移さなければならない。機会、長・短両面からの構築にのぞんで下さい。楽しみにしております。
60 歳代	共興地区	女性	共興地区は、近くに鶏舎や豚舎が多く、特に春から夏にかけて臭いに悩まされます。鶏の経営で生計を立てている方の手前なかなか難しい問題ですが、少しでも臭いの軽減に努めるように、市として指導して頂きたいと思います。長谷地区の海周辺に不法投棄と思われる土がかなりの高さに置かれていますが、今後問題が出ないように市として厳しい審査をして、環境を守って欲しいと思います。
60 歳代	平和地区	男性	市役所へまいりますと、職員の業者様という事をよく聞きますが、これは行政の丸投げが多いのか、天下り先のせいとか、とても気になります。業者へのサービスより、市民のサービスの方が重要では？

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
60 歳代	平和地区	男性	人口減少、財政難に対応し、経費節減に努め、新しい建物、高額な施設の建設を控えて、若い世代に負担の残らぬ様にして下さい。若者が住みたくなる環境づくりをして下さい。
60 歳代	平和地区	女性	銚子連絡道路計画～実施までに時間がかかりすぎる。インフラ整備のプラン後の関係機関の働きかけに、政治の責任を感じる。
60 歳代	平和地区	女性	大手企業を入れる。住宅分譲地。
60 歳代	椿海地区	男性	地道な生活の基本にそった施策。
60 歳代	椿海地区	女性	1. どんな市になりたいのか姿が見えない。※日本一の植木の市と言いながら、市役所横の見本園は恥ずかしい。 2. あれもこれもやろうとしてもできない。※22 も基本施策があるが、本当に重要なことは何かが見えない。 3. 匝瑳市は何をしようとしているか、市民がすぐに答えられることが重要だと思う。
60 歳代	野田地区	女性	1. 旧野栄町に日用品の店舗がなく、せめて中型店舗があるとうれしい（中通りに）。 2. 前ページにも書いたが、乗り合いタクシー（1回200～300）があったらうれしい。年齢が高くなると車の運転が危ないので。 3. いつもすばらしいと思っていた事があります。小、中学生が朝に夕に会うとかならず挨拶をしてくれます。これは学校側の教育なのかな～とてもさわやかで、笑顔になります。 4. 野栄公園のそばに、チューリップ広場があったら、もっと良かったと思う。野栄公園の中に四季の花があると楽しいし、もっと人が集まると思う。野栄公園のそばに、市民農園があった方が良かったかも。 5. チューリップ広場は駐車場に、市民農園はテニスコートにすると良かったのに～せつかなのに分散しているのはもったいないと思いました。
60 歳代	栄地区	男性	○若者の地域定着 ○安定・安心の職種・生活 ○子どもの数、向上。
60 歳代	-	女性	休耕地（田・畑）が多すぎるので、有効に活用してほしい。
70 歳以上	中央地区	男性	周りは老人家族が多く、若者がいない。優良企業を誘致し、若者の働く場所を確保することにより、人口の増加を計る。
70 歳以上	中央地区	女性	今の商店街は無いに等しいくらい寂しい。個人商店は大型店には絶対勝てません。銀行が4店も有るのですから、空き店舗を何とか色々な業種、若い人の力を借りて、盛り上げてもらいたい。他の地方でも色々な取り組みをしている所もテレビ等でやっていました。店の持ち主も低料金で貸し出す知恵も欲しいものです。
70 歳以上	中央地区	女性	元気で活気のある街であるよう希望します。
70 歳以上	中央地区	女性	市役所北側の公園はいつになったら出来るのでしょうか？
70 歳以上	豊栄地区	男性	相変わらずゴミの投げ捨て、不法投棄が目立つ農地、空き地が目立ちます。監視カメラ等増やしておまわりさん等ががんばってもらい、できるだけきれいなまちづくりにいそんでもらうしかないようです。匝瑳市民全体で頑張り、日本一のまちづくりにしたいものですね。
70 歳以上	豊栄地区	女性	このようなことをして時間と人件費のむだです。議員さん、職員さん、優秀な人達が役所内にはあふれているのに、よい案が浮かばないのですか。住民にそれを問うのはどうかと思えますが。よその市や県でもこんなことしているのですか。

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
70 歳以上	豊栄地区	女性	排水溝の整備が必要。特に道路際など危険。
70 歳以上	須賀地区	男性	人口増対策に傾注願いたい。
70 歳以上	須賀地区	男性	循環バスの本数が少なく、利用しにくい。乗合タクシー制度のようなものができれば外出の機会が増えると思う。
70 歳以上	匝瑳地区	男性	市をゴーストタウン化しないよう、廃屋の撤去の税制度。活力のある、見える町に…。景観を損ねる太陽光発電パネルの設置場所に配慮をし行政指導を。人々が集まる町づくりをお願いしたい。人々が集まらなければ、税金も集まらない！
70 歳以上	匝瑳地区	女性	お願い 私達が今住んでいる自分の家が必要なくなった時（空き家）、現在アパート暮らしをしている人達に無料ででも住んでもらえるような働きかけをして欲しいと思います。または家を見て活用できるようなら、町で老人のための施設として使用して頂きたいと思っています。これから先、このような事も考えて欲しいと思っております。（死後の事も考えておかなくてはなりません。）
70 歳以上	匝瑳地区	女性	東京から来たので、買い物が不便で困ります。
70 歳以上	豊和地区	男性	飯高寺周辺に湧（遊）水池を作りたい。
70 歳以上	豊和地区	女性	○住人を増やす ○空き家を減らす
70 歳以上	豊和地区	女性	政治汚職をなくす。天下り。無駄遣い。
70 歳以上	豊和地区	女性	○子供達の遊べる場所が少ないので、旭市や横芝光町へ連れて行って遊ばせている。子供に好かれる遊び場が欲しい。 ○図書館も横芝光町を利用してしまいう事もある。楽しめる場所があると良い。 ○防犯上の事もあるけど、学校に市民が自由に入れると、昔のように学校に花など植えてきれいにしたいと思う。
70 歳以上	吉田地区	男性	病院の整備、医師の充実、外来患者の増加を目指してほしい。ごみ収集は広域化で財政圧迫ならば単独でも可能では。消防署など防災対策の面からも建て替整備をし、防災意識向上を図ってもらいたい。
70 歳以上	吉田地区	女性	夫は 77 歳、私は 76 歳、老人 2 人で農業に頑張っている現在、私達は町が元気になること願っていますが、そこに参加出来ない年齢になっていることに寂しさを感じます。ですから、せめても若い人達の足手まといにならない事を何時も願っています。役に立たない老人で恥ずかしいです。
70 歳以上	共興地区	女性	共興地区にはコンビニがありません。買物でとても不便を感じております。出来れば誘致して頂きたいと思います。
70 歳以上	共興地区	女性	海の近くに住んでいます。九十九里浜も浸蝕が進み、海が荒れると海水が集落近くに入ってきてしまいます。砂防林の嵩上げ等、早く実施して下さい。市からも県の方へ働きかけを強く望みます。今年は台風も多いようで、日々とても不安です。よろしくお願い致します。
70 歳以上	椿海地区	女性	椿海地区に住む独居老人です。交通の便が悪いので、出掛けるのがとても大変です。（買物など）近所の商店もみんなシャッター店となっています。何とか良い方法で、老人に優しい町になるようお願い致します。
70 歳以上	野田地区	男性	市施設への業者発注管理に於いて、市側のチェックが甘く、正常に機能していない部分がある。引渡し時の専門家のチェック、発注時の内容チェックを適正に行う事が重要。それには、市職

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			員の頻繁過ぎる人事異動は、この点についてはマイナス（業務の精通度に未熟）になる。
70 歳以上	野田地区	男性	恵まれた自然環境の一つ、九十九里海岸を活用した観光施設・行事等を計画実行されますよう希望致します。
70 歳以上	野田地区	女性	ポイ捨てがなくなればと思います。
70 歳以上	野田地区	女性	私の住んでいるところは、毎日食する物の品がなくなってしまう、車に乗れない 73 歳の私には大変困っています。ご近所の人も大変困っています。何かいい方法はないでしょうか。毎日の事なので、本当に困っています。
			<p>八日市場と野栄が合併して、来年で 10 周年になるとのことですが、その間（毎年）さまざまなイベントが行われました。しかし、そのほとんどが八日市場地区に集中しているように思われます。「もともと八日市場のイベントだから」と言われればそれまでですが、その度に野栄地区にしてみれば「他人事」のような感覚の方も多いのではないのでしょうか？商工や観光も、八日市場地区（特に線路より上の方）ばかり力を入れているような気がします。でも、匝瑳市の観光資源は間違いなく「海」だと思うのです。たしかに、海水浴で賑わったのは昔の話で、現在は堀川浜以外遊泳禁止になってしまいました。原因は波消ブロックによる砂浜の浸食ですよね。こればかりは対処のしようがないと思いますが、このままでは、ただ「海があるだけ」になってしまいます。「望洋荘」もロケーションは良いのに遊泳禁止と老朽化で、夏でも昔の賑わいはありません。宿泊客が少なければ周辺の飲食店や水産問屋（小売）も潤いません。でも日本各地には泳げなくても「海が見える」というだけで人が集まるお宿はいくらでもあります。それだけ「海」には人を惹きつける魅力があるのです。もったいないと思いませんか？ということで、「望洋荘」の全面改装と吉崎浜周辺の観光施設の整備を提案します。</p> <p>－「望洋荘」－</p> <p>○築 40 年（おおむね）のため、（たぶん）老朽化しロビー周辺も暗く、内装も古めかしく、せつかくの旅行も到着した段階でガッカリ。</p> <p>○海のそば、しかも近くに飯岡、銚子といった漁港があるにもかかわらず、お食事にインパクト（目玉）がない。</p> <p>○泳げなくても、ゲートボールをしなくても、家族連れや若い方、シニア層、どんな客層の方々でものんびりくつろげる雰囲気（空間）が大事。（もちろんバリアフリー！）</p> <p>○宿泊しなくても、地元の人々がお料理を楽しみにできるようなレストラン。</p> <p>○スタッフ（特にフロントや客室係）は地元の若い人を積極的に採用し、接客についてのプロの研修を受けさせる。</p> <p>－「吉崎浜」－</p> <p>○サーファー客が多いとの事なので、帰り際に冷えた身体を温めることができる日帰り入浴施設（もちろんオーシャンビュー）に地元食材を使用したレストランを併設 など...</p> <p>もちろん資金面で厳しいかとは思いますが、人を呼ぶにはそろそろ思い切った改革も必要ではないでしょうか？</p> <p>あくまでも私個人の願いですが、もう一度賑やかな浜通りが見</p>

年齢	居住地区	性別	問 50 まちづくりに関する意見・提案
			たいものです。
-	-	-	観光や雇用拡大で経済成長し、人口増加・維持するために住みやすい環境を作る。まずは大都市から観光しやすいように高速道路が欲しい。
-	-	-	<p>匝瑳市には他の市に誇れる大きな店やお祭りがある。昔からの市で、伝統もある。東京へ行く高速バスや市バスも走っている。良いところはたくさんある。もっと行政の方で人口が増えるように若い人達が集まって来るような町づくりをお願いしたい（光町、横芝、松尾町の人達は結構匝瑳市に買い物、病院に来ている！）。</p> <p>最近 TV でどこかの市では、空き家などをリフォームして安めに売却する不動産があるのを見た。若夫婦で、ファミリーで越してくる人もいて、結構な人口増加になっているようだ。今のうちに対策して、歯止めをしなくては。もっともっと人口が減ってからでは遅い！がんばってください。</p>
-	-	-	新駅をつくってください。
-	-	-	<p>匝瑳市は年々人口が減り続けているので、出産・子育て支援を整備し、生産年齢層を着実に増やす必要がある。例えば、一定の上限年齢を決めて、その年齢内の子どもがいる世帯で、かつ低所得の世帯には単に補助金ではなく、市の発行する「保育クーポン」を配布し、使用用途を限定した事実上の金銭支援をする政策を提言したい。こうして最初のうちは歳出赤字となるだろうが、同時に市の産業や農家への支援をすることで、市内の生産年齢層は増え、市の産業に寄与する人口が増えれば、「保育クーポン」などの子育て支援金も利益につながっていく。このように、今の匝瑳市は、長期的な視点に立った政策に目を向けておらず、現に存在するもので、目先のやりくりをしているという傾向が強いが、そうではなく、「将来への投資」を目標に掲げ、別の政策も同時進行で行える体制を整えるべきだと考えた。</p>
-	-	-	婚活イベントの年齢制限に外れていると知った時点で、自分は市にとって相手にされていないのだと感じました。必要ない者の意見は参考にならないと思うので書きません。

IV アンケート調査票

匝瑳市総合計画後期基本計画策定のための 市民意識調査

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対し格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、現在、匝瑳市では、将来都市像として掲げた「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市」を実現するために推進している「匝瑳市総合計画中期基本計画」が平成 27 年度をもって計画終了となることから、平成 28 年度から平成 31 年度までを計画年度とする「匝瑳市総合計画後期基本計画」の策定を進めています。

本調査は、計画の策定にあたり、市内にお住まいの方の中から、2,000 名を無作為に抽出させていただき、ご意見をお聞かせ願いたく実施するものです。

皆様からの回答はすべて統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成 27 年 5 月

匝瑳市長 太田 安規

[記入上の注意]

- 1 回答は無記名でお願いします。
- 2 回答は、設問ごとに（1つに○）、（2つまで○）など、それぞれ指定されていますので、各設問の回答方法に従って回答してください。
○は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
- 3 ご記入いただいた調査票を 6 月 8 日（月）までに返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストへご投函ください。
- 4 調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

匝瑳市役所 企画課 企画調整班

電話：0479-73-0081 FAX：0479-72-1114

E-mail: k-kikaku@city.sosa.lg.jp

はじめに

問1 あなた自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。
(それぞれ1つに○)

(1) 性別	1 男性	2 女性	
(2) 年齢	1 10・20歳代 3 40歳代 5 60歳代	2 30歳代 4 50歳代 6 70歳以上	
(3) 職業	1 農林漁業 2 商工・サービス・飲食・自由業 3 会社員・団体職員・公務員 4 学生 5 家事(パートタイム含む) 6 無職 7 その他()		
(4) 居住地区	1 中央地区 4 匝瑳地区 7 飯高地区 10 椿海地区	2 豊栄地区 5 豊和地区 8 共興地区 11 野田地区	3 須賀地区 6 吉田地区 9 平和地区 12 栄地区
(5) 現在の地域に住んでいる状況	1 生まれてからずっと市内に住んでいる 2 匝瑳市の出身だが、市外での居住経験がある 3 県内の他の市町村出身である 4 県外の出身である		

問2 あなた自身、またはあなたが同居している家族のなかに、次の方はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 妊産婦・乳幼児(小学校入学前) | 2 小・中学生 |
| 3 介護を必要とする方(要介護認定者) | 4 障がいのある方 |
| 5 いずれもない | |

保健・医療・福祉について

問3 あなたは、現在、健康的な生活を送れていると感じていますか。（1つに○）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とても感じている | 2 ある程度感じている |
| 3 あまり感じていない | 4 まったく感じていない |

問4 あなたが「健康」のために行っているものは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 規則正しい食事に心がけている | 2 適度な運動を継続している |
| 3 ストレスを溜めないようにしている | 4 健康診断を欠かさず受診している |
| 5 特に何もしていない | 6 その他（ ） |

問5 市の健康増進への取組みで、何が重要と考えますか。（2つまで○）

- | |
|---------------------------------|
| 1 市民の健康意識を向上させる |
| 2 きめ細かい保健指導を行う（健康診査、個別指導など） |
| 3 スポーツや体力づくりに参加できる機会を充実させる |
| 4 活動拠点を整備する（保健センター、スポーツ施設の充実など） |
| 5 その他（ ） |

問6 匝瑳市は、子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

問7 市の子育て支援への取組みで、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- | |
|---|
| 1 地域でお互いに子育てを支え合う仕組みをつくる（ファミリーサポートセンターなど） |
| 2 保育所（園）の充実を図る（延長保育、夜間保育の実施、定員の拡大など） |
| 3 子どもの居場所を確保する（放課後児童クラブの拡大など） |
| 4 出産・子育てに係る経済支援を充実させる |
| 5 相談体制を強化する（子育て支援センターの整備など） |
| 6 子育て家庭同士や世代間の交流を促進する（つどいの広場など） |
| 7 その他（ ） |

問8 匝瑳市は、高齢者や障がいのある方にとって暮らしやすい地域だと思いますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

問9 高齢者や障がいのある方に対する施策として、何が重要と考えますか。
(3つまで○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 社会参加を促進する(生涯学習、地域活動、就労など) |
| 2 在宅福祉サービスを充実させる(訪問介護など) |
| 3 通所によるサービスを充実させる(デイサービス、機能訓練、生活訓練など) |
| 4 生活の場を確保する(入所施設、グループホームなど) |
| 5 地域での支え合いを充実させる(ボランティア活動など) |
| 6 経済的支援を充実させる(低所得者対策、家族介護支援など) |
| 7 その他(具体的に) |

問10 あなたの暮らす地区は、高齢者や障がいのある方、子育て家庭などを、お互いに支え合う雰囲気があると思いますか。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 あると思う | 2 ある程度あると思う |
| 3 あまりないと思う | 4 まったくないと思う |

問11 あなたは、現在の医療体制をどう感じていますか(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 とても不安を感じる | 2 多少不安を感じる |
| 3 あまり不安を感じない | 4 まったく不安を感じない |

問12 地域の医療環境への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 市民病院の機能強化を図る |
| 2 救急・休日・夜間医療の充実を図る |
| 3 在宅医療の充実を図る(往診・訪問看護など) |
| 4 医療従事者を確保する(医師・看護師など) |
| 5 地域の中核病院や診療所等の連携強化と役割分担を図る |
| 6 医療費の負担を軽減する |
| 7 その他() |

産業・経済について

問13 あなたは、匝瑳市について他の市町村の人に自慢したいことはありますか。
(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 はい →問 13-1 へ | 2 いいえ →問 14 へ |
|----------------|---------------|

問13-1 それはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 自然の豊かさや風景の美しさについて |
| 2 住んでいる人の人柄や人情について |
| 3 祭りや風習、伝統文化について |
| 4 地元の産業(農林水産業・商店街・工業)について |
| 5 生活のしやすさや利便性について |
| 6 その他() |

問14 あなたは、地元で採れた農水産物をすすんで食べたいと思いますか(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 とても食べたいと思う | 2 ある程度食べたいと思う |
| 3 あまり食べたいと思わない | 4 まったく食べたいと思わない |

問15 市の農林水産業振興への取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 生産性を向上させる(生産基盤の整備や作業の効率化など) |
| 2 担い手を育成していく(後継者の育成など) |
| 3 新たな経営体制を構築していく(経営規模の拡大や法人化など) |
| 4 販路を拡大する(大都市圏へのPRや契約販売、インターネット利用など) |
| 5 観光や商工業など他分野と連携していく(加工品の開発や観光農漁業など) |
| 6 地産地消を推進する(学校給食での使用や直売所の整備など) |
| 7 ブランド化に取り組む |
| 8 その他() |

問16 あなたは、主にどこで日常生活の買い物をしますか(1つに○)

- | | |
|----------|------------|
| 1 市内の商店 | 2 市内の大規模店舗 |
| 3 市内の他市町 | 4 県外 |

問17 市の商工業振興への取組みで、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- 1 利便性の高い商業拠点をつくる
- 2 既存商店や既存企業に対して経営支援を行う（経営改善指導や人材育成など）
- 3 地域と連携した活動を積極的に行う（地域通貨^{*}の導入、イベント開催など）
- 4 新規参入や起業を促進する（助成・指導など）
- 5 優良企業を積極的に誘致する
- 6 農林水産業や観光など他分野と連携していく（加工品の開発など）
- 7 その他（ ）

※地域通貨：ボランティア等の対価として地域内のみで利用できる「通貨」を発行し、「できること」と「してほしいこと（もの）」をお互いに交換するしくみ。

問18 あなたは、市の観光資源となりうるものは何だと思えますか。（自由記入）

問19 市の観光振興への取組みで、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- 1 観光施設を整備する（レクリエーション施設や自然を楽しむ施設など）
- 2 地域文化を生かしたイベントを充実させる
- 3 新たな観光スポット（ルート）を開発する
- 4 観光客の受け入れ体制を推進する（宿泊施設、観光案内所、二次交通の整備など）
- 5 大都市圏へのPRに力をいれる（ポスターやCM、イベント開催など）
- 6 農林水産業や商工業など他分野と連携していく（特産品の開発や滞在型農漁業の推進など）
- 7 その他（ ）

問20 あなたは、現在の就労状況について、どのように感じていますか（1つに○）

- 1 安心して働くことができている
- 2 将来が少し不安である
- 3 将来がとても不安である
- 4 働きたいが、働くことができない
- 5 働くつもりはない

問21 市の雇用対策として、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- 1 優良企業等の進出により地元での雇用拡大を図る
- 2 福祉や環境といった新しい分野での雇用・起業を支援する
- 3 公共事業等の拡大と地元事業者への発注を推進する
- 4 雇用に積極的な企業に対する経済的支援を行う
- 5 事業者に対する職場環境の改善に向けた啓発、指導を行う
- 6 求職者と求人事業者の紹介・あっせんを支援する
- 7 その他（ ）

生活環境について

問22 匝瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 ある程度思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

問23 あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。（2つまで○）

- 1 緑の保全や里山の保護など、自然環境と調和した環境
- 2 公園やレクリエーション施設など、いこいの場が整備されている環境
- 3 商業施設や公共交通機関など都市機能が充実している環境
- 4 交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境
- 5 道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境
- 6 その他（ ）

問24 あなたが住んでいる地区は、災害などに対して安全だと思えますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 とても安全だと思う | 2 ある程度安全だと思う |
| 3 あまり安全だと思わない | 4 まったく安全だと思わない |

問25 市の安全なまちづくりへの取組みで、何が重要と考えますか。（2つまで○）

- 1 災害を未然に防ぐための防災基盤の整備（治山治水対策など）
- 2 市民活動が活発に行われるよう促進する（自主防災組織、防犯活動など）
- 3 的確な情報提供や緊急時の体制を強化する（防災行政無線、危機管理体制など）
- 4 市民に対し、防災・防犯意識を啓発する（防災訓練、防犯教室など）
- 5 関係機関（警察、各種団体など）との連携を強化する
- 6 その他（ ）

問26 あなたが住んでいる地区は、市内および周辺地域への移動が便利な地域だと思いますか。（1つに○）

- | | | |
|---|-------------------|-----------|
| 1 | とても便利な地域だと思う | →問 27 へ |
| 2 | どちらかといえば便利な地域だと思う | →問 27 へ |
| 3 | どちらかといえば不便な地域だと思う | →問 26-1 へ |
| 4 | とても不便な地域だと思う | →問 26-1 へ |

問26-1 何が最も不便だと感じますか。（1つに○）

- | | |
|---|---|
| 1 | 自宅近くの生活道路の整備が遅れている |
| 2 | 幹線道路へ繋がる道路の整備が遅れている |
| 3 | 電車やバスなどの公共交通網が少ない |
| 4 | その他（ ） |

問27 あなたは、インターネットを利用してホームページを見たり、メールのやりとりをしていますか。（1つに○）

- | | | | | | |
|---|------------|-----------|---|------------|-----------|
| 1 | いつも利用している | →問 27-1 へ | 2 | ときどき利用している | →問 27-1 へ |
| 3 | あまり利用していない | →問 27-1 へ | 4 | まったく利用しない | →問 28 へ |

問27-1 インターネットを利用して、どのように感じていますか
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|---|
| 1 | 情報収集や情報発信が容易になった |
| 2 | 買い物が容易になった |
| 3 | コミュニケーションの範囲が広がった |
| 4 | 迷惑メールが増えた |
| 5 | 実際と違う情報が掲載されて困ったり、危険な目にあったりした |
| 6 | データや個人情報等が流出しないか心配だ |
| 7 | その他（ ） |

問28 あなたは、普段の生活で、環境に配慮した行動を行っていますか。（1つに○）

- | | | | |
|---|-----------|---|------------|
| 1 | いつも行っている | 2 | ある程度行っている |
| 3 | あまり行っていない | 4 | まったく行っていない |

問29 市の自然環境保全への取組みで、何が重要と考えますか。（2つまで○）

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 豊かな自然環境を壊さない土地利用を行う |
| 2 | 市民による環境美化活動を活性化させる |
| 3 | ごみ対策に力を入れる（ごみの分別・減少・再利用など） |
| 4 | 不法投棄をなくす（監視強化など） |
| 5 | 排水処理施設を計画的に整備する（下水道、集落排水、浄化槽設置など） |
| 6 | その他（
） |

教育・文化について

問30 あなたは、子どもの教育について、学校と家庭、地域との連携がとれていると思いますか（1つに○）

- | | | | |
|---|---------------|---|----------------|
| 1 | 十分連携していると思う | 2 | ある程度連携していると思う |
| 3 | あまり連携していないと思う | 4 | まったく連携していないと思う |

問31 学校が子どもたちにとって、安心して学ぶことができる場となっていると思いますか。（1つに○）

- | | | | |
|---|---------|---|----------|
| 1 | とても思う | 2 | ある程度思う |
| 3 | あまり思わない | 4 | まったく思わない |

問32 小・中学校運営において、何が重要な取組みと考えますか。（3つまで○）

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 地域と協力しながら子どもたちの健全育成を図る |
| 2 | 地域の人や保護者の意見を学校運営に反映させる |
| 3 | 学校がもつ資源を地域づくりに活用する（学校施設・教職員など） |
| 4 | 地域の人を持つ技能や経験を学校教育に活用する |
| 5 | 教育指導体制を強化し、基礎学力の向上を図る |
| 6 | 子どもたちの安全を守る体制を強化する |
| 7 | その他（
） |

問33 あなたの身近なところで、虐待や暴力、差別など人権を侵害する行為があると思いますか。（1つに○）

- | | | | |
|---|----------|---|-----------|
| 1 | かなりあると思う | 2 | ある程度あると思う |
| 3 | あまりないと思う | 4 | まったくないと思う |

問34 市の人権問題への取組みで、何が重要と考えますか。（2つまで○）

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 早期発見・早期対応できる体制を強化する（関係機関の連携など） |
| 2 | 学校や地域において人権侵害に対する意識の啓発をする（講演会など） |
| 3 | 気軽に相談できる体制を充実させる（相談窓口、相談員の充実など） |
| 4 | 人権に深く関わる人材（教員、医師、公務員、福祉関連など）の意識を向上させる |
| 5 | 人権侵害に対する救済に向けた施策を強化する（補償、条例整備など） |
| 6 | その他（ ） |

問35 あなたは、次の余暇活動に参加していますか。また今後参加したい活動は何ですか。（①～④の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○）

活 動 内 容	(1)現在参加していますか		(2)今後参加したいですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ
①市や地域のスポーツ・文化活動	1	2	1	2
②地域の伝統や文化を継承する活動	1	2	1	2
③他市町村や外国の方たちとの交流活動	1	2	1	2
④生涯学習としての習い事や趣味の活動	1	2	1	2

問36 市の生涯学習・スポーツ、文化活動への取組みで、何が重要と考えますか。（3つまで○）

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 生涯学習のプログラムを充実させる（地域の歴史・自然・文化など） |
| 2 | 芸術に触れる機会を充実させる（音楽・絵画・演劇など） |
| 3 | 活動拠点を整備・拡充させる（公民館の充実、学校施設の開放など） |
| 4 | 文化財や民俗資料などを収集・保存する（資料館の整備など） |
| 5 | 他地域との交流を深める（姉妹都市交流、海外派遣研修など） |
| 6 | 文化・スポーツの組織や活動を支援する（指導者の育成、活動費用の助成など） |
| 7 | その他（具体的に ） |

問37 あなたは、地域の伝統や文化に愛着を感じていますか。（1つに○）

- | | | | |
|---|-----------|---|------------|
| 1 | とても感じている | 2 | ある程度感じている |
| 3 | あまり感じていない | 4 | まったく感じていない |

行財政運営について

問38 あなたは、市の行財政運営に関心がありますか。（1つに○）

1 とてもある	2 ある程度ある
3 あまりない	4 まったくない

問39 あなたは、市の広報紙（広報そうさ）を見たことがありますか。（1つに○）

1 いつも見ている	2 ときどき見ている
3 あまり見ていない	4 まったく見ていない

問40 あなたは、市のホームページを見たことがありますか。（1つに○）

1 いつも見ている	2 ときどき見ている
3 あまり見ていない	4 まったく見ていない

問41 あなたは、まちづくりや地域づくりに参加していますか、また、今後参加したいと思いませんか。（①～⑧の(1)、(2)について、それぞれ1つずつに○）

活 動 内 容	(1) 現在参加 していますか		(2) 今後参 加したい ですか	
	はい	いいえ	はい	いいえ
① 行政運営への参加 (例 まちづくりご意見箱への投書、タウンミーティングへの参加など)	1	2	1	2
②地域づくり活動への参加 (例 地域行事、自治会・町内会活動など)	1	2	1	2
③福祉活動への参加 (例 育児・介護ボランティア、健康増進活動など)	1	2	1	2
④自然環境保全活動への参加 (例 美化活動、リサイクル活動など)	1	2	1	2
⑤教育活動への参加 (例 学校ボランティア、地域学習活動など)	1	2	1	2
⑥文化・スポーツ活動への参加 (例 地域スポーツクラブ、文化財保護活動など)	1	2	1	2
⑦地域振興活動への参加 (例 観光ボランティア、グリーンツーリズム*活動など)	1	2	1	2
⑧地域安全活動への参加 (例 消防団活動、防犯活動など)	1	2	1	2

※グリーンツーリズム：都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動。

問42 市の手続きや問合せ等で不都合を感じたことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 どこで手続きをしたら (どこに問い合わせをしたら) いいか、わからなかった
- 2 1つのことで何箇所も手続きをするために移動しなければならなかった
- 3 問い合わせ等をたらい回しにされた
- 4 その他 ()
- 5 特に不都合を感じたことはない

問43 市では現在、行財政改革に取り組んでいます。あなたは、市の行財政改革の取組みで、何が重要と考えますか。(3つまで○)

- 1 事務事業を合理化する(統廃合、民間委託など)
- 2 事務手続きを簡略化・スピード化する(窓口の総合化、電子化など)
- 3 施策・事業の評価・点検を行う(行政評価制度の導入など)
- 4 職員給与・定員の適正な管理を行う
- 5 職員の能力を向上させる(政策立案能力、職務遂行能力など)
- 6 市民との情報共有を推進する(積極的な情報開示など)
- 7 自主財源を確保する(税収増加策の実施など)
- 8 その他 ()

人口減少対策について

問44 全国的に人口減少時代に突入した中、本市においても人口減少がさらに加速することが予想されています。あなたは、人口減少社会について、どのように考えていますか。

- 1 人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき
- 2 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持すべき
- 3 人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき
- 4 人口減少は望ましくないが、仕方がない
- 5 人口減少は望ましい
- 6 人口が減少してもしなくてもどちらでもよい
- 7 わからない

問45 あなたは、これからも匝瑳市に住み続けたいと思いますか。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 住み続けたい | 2 どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらかといえば住み続けたくない | 4. 住み続けたくない |
| 5. どちらともいえない | |

付問① 問45で「1」もしくは「2」に回答された方にお聞きします。

その理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 自然環境がよいから | 2 住環境がよいから |
| 3 まちに愛着があるから | 4 医療・福祉サービスが充実しているから |
| 5 子どもを育てていくための環境がよいから | 6 治安がよいから |
| 7 両親や親戚が住んでいるから | 8 地域の人間関係がよいから |
| 9 通勤や通学に便利だから | 10 働きがいのある仕事があるから |
| 11 買い物や余暇活動に便利だから | 12 家賃や物価が安いから |
| 13 特に理由はない | 14 その他（ ） |

付問② 問45で「3」もしくは「4」に回答された方にお聞きします。

その理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 自然環境がよくないから | 2 住環境がよくないから |
| 3 まちに愛着がないから | 4 医療・福祉サービスが充実していないから |
| 5 子どもを育てていくための環境がよくないから | 6 治安がよくないから |
| 7 両親や親戚が遠くに住んでいるから | 8 地域の人間関係がよくないから |
| 9 通勤や通学に不便だから | 10 働きがいのある仕事がないから |
| 11 買い物や余暇活動に不便だから | 12 家賃や物価が高いから |
| 13 特に理由はない | 14 その他（ ） |

問46 あなたは、結婚していますか。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 結婚している | 2 独身（結婚したことがない） |
| 3 独身（離婚・死別） | |

問47 （結婚している、していないにかかわらず）10代から40代の方にお聞きします。
 子どもの数について、以下の①～④にご回答ください。

① 実際に持つかどうかは別として、あなたにとって理想の子どもの人数は何人ですか。	_____人
② 現在の子どもの人数は何人ですか。	_____人
③ 今後、持つつもりの子どもの人数は何人ですか。	_____人
④ ②と③を合計すると、子どもの数は何人ですか。	_____人

問48 人口減少に歯止めをかけるために、特に力を入れて取り組むべき施策は何だと思
 いますか。（〇は3つまで）

1 若者の働く場の確保と雇用の創出
2 利便性が高く、安全で快適な生活環境の整備
3 移住・定住に対する各種支援の充実や積極的な働きかけ
4 若者のUターン・Iターン促進に向けた取組の充実
5 結婚や出産に対する支援の充実
6 子育て家庭に対する支援の充実
7 まちに対する愛着や誇りの醸成
8 その他（ _____ ）
9 特になし、わからない

まちづくりの評価について

問49 以下の項目は、匝瑳市総合計画中期基本計画で掲げている基本施策です。それぞ
 れの施策について、あなたの満足度および重要度をお聞かせ下さい。
 （1～22の①満足度および②重要度、それぞれ1つずつに〇）

	①満足度（〇は1つ）					②重要度（〇は1つ）				
	満足	え ば ど ち ら か と い ま す	え ど ち ら か と い ま す	不 満	わ か ら な い	重 要	え ど ち ら か と い ま す	え ど ち ら か と い ま す	重 要 で は な い	わ か ら な い
1 健康・生きがいづくりの推進 （健康づくり活動の促進、相談支援体制の充 実、予防医療の推進など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 高齢者福祉の充実 （介護予防の推進と自立支援、介護・福祉サ ービスの充実など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	①満足度 (○は1つ)					②重要度 (○は1つ)				
	満足	えび どち らか とい え ば 満 足	ど ち ら か とい え ば 不 満	不 満	わ か ら な い	重 要	え び ど ち ら か とい え ば 重 要	ど ち ら か とい え ば 重 要 で は な い	重 要 で は な い	わ か ら な い
3 障がい者福祉の充実 (生活支援サービスの充実、療育・教育体制の充実、就労支援・社会参加促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 子育て・子育て支援の充実 (子育て家庭への支援の充実、仕事と家庭の両立支援の充実、児童虐待防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 医療体制の充実 (匠瑤市民病院の機能強化、広域医療圏における連携強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 地域福祉の推進 (福祉意識の醸成、低所得者等に対する支援の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 農林水産業の活性化 (生産経営基盤の強化、販路の拡大と消費者ニーズへの対応など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 商工業の活性化 (特色ある商店街の形成、企業立地の促進、経営基盤強化と起業支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 観光の活性化 (観光資源の整備と掘り起こし、体験・交流プログラムの充実、観光情報発信など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 産業間連携の推進と雇用・消費の場の創出 (農商工連携の促進、若者の就労・企業支援と雇用と創出など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 自然環境の保護と循環型社会の形成 (資源循環型社会に向けた取組みの推進、環境汚染および不法投棄等の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 市街地の活性化と交通網の整備 (地域特性に応じた拠点の育成・整備、公共交通機関の充実)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 住環境の整備 (快適で安全な都市基盤の整備、子育てしやすい住環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 安心・安全な地域づくりの推進 (防災対策の充実、防犯体制の強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 学校教育の充実 (生きる力を育む豊かな学校生活の充実、家庭・地域との連携強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16 生涯学習・生涯スポーツの推進 (生涯学習・生涯スポーツ施設の充実、青少年の健全育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	①満足度（○は1つ）					②重要度（○は1つ）				
	満足	えど どちらか とい	えど どちらか とい	不満	わ から ない	重要	えど どちらか とい	えど どちらか とい	重要 ではない	わ から ない
17 地域文化の振興 (芸術文化とふれあう機会の充実、伝統文化の継承促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18 コミュニティの育成と交流活動の促進 (地域づくり活動の活性化支援、国際交流・地域間交流の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19 男女共同参画の促進 (男女共同参画意識の醸成と推進体制の構築、人権侵害の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20 まちづくり情報共有の推進 (市民に役立つ情報提供の推進、市民と行政との協働によるまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21 行財政運営の効率化・高度化 (事務事業の合理化・効率化と経費節減、職員の資質向上の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22 広域行政の推進 (国・県、近隣自治体との連携強化)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

最 後 に

問50 匝瑳市の新しいまちづくりについてのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。